

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区

目 次

A-01	特記仕様書-1		A-21	矩計図-4	1/30	B-01	木造特記仕様書-1	-	C-01	外構配置図	1/100
A-02	特記仕様書-2		A-22	矩計図-5	1/30	B-02	木造特記仕様書-2	-	C-02	外構【宅内】詳細図	1/30
A-03	特記仕様書-3		A-23	準耐火リ スト ・ 詳細図	1/10	B-03	木造特記仕様書-3	-			
A-04	特記仕様書-4		A-24	平面詳細図-1	1/30	B-04	木造特記仕様書-4	-			
A-05	特記仕様書-5		A-25	平面詳細図-2	1/30	B-05	木造特記仕様書-5	-			
A-06	特記仕様書-6		A-26	展開図-1	1/30	B-06	木造特記仕様書-6	-			
A-07	特記仕様書-7		A-27	展開図-2	1/30	B-07	木造特記仕様書-7	-			
A-08	特記仕様書-8		A-28	展開図-3	1/30	B-08	木造特記仕様書-8	-			
A-09	付近見取・敷地求積・工区全体配置図		A-29	展開図-4	1/30	B-09	基礎伏図	1/50			
A-10	(B-1)計画概要・建物面積表・配置図		A-30	天井伏図・小屋裏換気計算	1/50	B-10	土台伏図・2階床伏図	1/50			
A-11	(B-2)計画概要・建物面積表・配置図		A-31	建具表-1	1/50	B-11	桁伏図・小屋伏図	1/50			
A-12	仕上表	-	A-32	建具表-2	1/50	B-12	軸組図-1	1/50			
A-13	性能評価項目表	-	A-33	家具図	1/10	B-13	軸組図-2	1/50			
A-14	平面図	1/50	A-34	キッチン詳細図	1/20	B-14	壁量計算表	-			
A-15	立面図-1	1/50	A-35	物干場詳細図	1/30						
A-16	立面図-2	1/50	A-36	部分詳細図	1/5						
A-17	屋根伏図	1/50	A-37	LVSチェック図	-						
A-18	矩計図-1	1/30									
A-19	矩計図-2	1/30									
A-20	矩計図-3	1/30									
						図面リスト	SCALE	-	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		
						株式会社 上田建築事務所			DATE	DATE R4. 03.24	A - 00
						SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区	SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			CHECKED BY	SHEET NO.
									DRAWN BY		

[illegible]

3 鋼杭地業

寸法、継手、性能等（種別：種類、性能） ※図示（4.4.3）
杭先端部形状 ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形
工 法
・特定埋込杭工法（4.4.4）
杭の根入れ深さ ※図示
杭の精度（4.3.5）（4.4.4）
水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・（ ）
杭の傾斜 ・1/100以内 ・（ ）
杭継手工法（4.3.6）（4.4.5）
・溶接継手
・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工 法 ※審査（評定又は大臣認定）を受けた工法 ・（ ）
検査 ※審査（評定又は大臣認定）により定められた項目 ・（ ）
施工 ※審査（評定又は大臣認定）された施工管理基準による ・（ ）
杭頭の処理 ・処理しない ・処理する（4.3.8）（4.4.6）
処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・（ ） ・図示
杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・（ ）

4 場所打ちコンクリート杭地業

工 法（4.5.1）
・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡底杭工法
鉄筋の種類、加工及び組立（帯筋、最小かぶり厚さ、鉄筋かごの補強、継手工法） ※図示（4.5.4）
コンクリート
セメントの種類 ・高炉セメントB種 **G** ・（ ）
設計基準強度（ ）N/mm² スランブ ・18cm ・（ ）cm
鋼管の材料 ・（ ） ・図示
杭の支持層への根入れ深さ ※図示（4.5.5）（4.5.6）
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・（ ）
杭の傾斜 ・1/100以内 ・（ ）
孔壁測定 ・行う（内容： ） ・行わない

⑤砂利及び砂地業

材 料（4.6.2）
砂利 ※再生クラッシャラン **G** ①切込砂利又は切込砕石
砂 ・シルト ・山砂、川砂又は砕砂
厚 さ ・60mm ①（100）mm
適用箇所
・基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ①図示

⑥捨コンクリート

捨コンクリートの厚さ（4.6.4）
①50mm ・（ ）mm
適用箇所（6.14.1）
・基礎梁下、土に接するスラブ下
①図示（ ）
コンクリートの種類（6.14.1）
・普通コンクリート ・（ ）
設計基準強度（6.14.1）
①18N/mm² ・（ ）N/mm²
スランブ（6.14.1）
①15cm ・18cm ・（ ）cm

⑦床下防湿層

施工範囲（4.6.5）
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） ・図示
防湿工法（4.6.2）
①ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上

④鉄筋の定着長さ

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

⑥各部配筋

7 圧接完了後の試験

①構造関係共通図（配筋標準図）3.1(b)による
・図示（5.3.4）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）（5.3.5）
①構造関係共通図（配筋標準図）表4.1による
・図示
・（ ）
柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
①無し
・有り 適用箇所（ ）
最小かぶり厚さ
・鉄筋径の1.5倍以上
・（ ）
軽量コンクリートで土に接する部分
①無し
・有り 適用箇所（ ）
・構造関係共通図（配筋標準図）表4.1に加える厚さ（ ）mm
・（ ）
耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等）
①無し
・有り 適用箇所（ ）
・構造関係共通図（配筋標準図）表4.1に加える厚さ（ ）mm
・（ ）
鉄筋相互のあき（機械式継手・溶接継手を除く）（5.3.5）（図5.3.6）
①構造関係共通図（配筋標準図）4.1による
・図示
・（ ）
各部配筋（5.3.7）
・構造関係共通図（配筋標準図）による
①図示
・（ ）
外観試験（5.4.10）
※行う（全数）
抜取試験
※超音波探傷試験
試験の箇所数等
・標準仕様書 5.4.10、5.4.11による ・（ ）
・引張試験
試験片の採取数は、1ロットに対して（※3本・ ）とする
試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする
試験片を採取した箇所の処置：ガス圧接

①コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度

普通コンクリートの設計基準強度（6.2.1～4）（表6.2.2）
設計基準強度（N/mm²） スランブ 適用箇所
①21 ①18 図示
・ ① ①
・ ① ①

軽量コンクリートの設計基準強度（6.2.1～4）（6.10.1～2）（表6.2.2）
設計基準強度（N/mm²） スランブ 適用箇所
・ ① ①
・ ① ①

類 別（6.2.1）（表6.2.1）
※Ⅰ類 ・Ⅱ類
種 類（6.3.1）（6.13.2）（表6.3.1）
・普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位（ ）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする。
・高炉セメントB種 **G** 使用部位（ ）
・フライアッシュセメントB種 **G** 使用部位（ ）
・
アルカリシリカ反応性による区分（6.3.1）
※A ・B ・再生骨材H
本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。
①混和剤（6.3.1）（6.3.2）
混和剤の種類
・標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・（ ）
・混和材
混和材の種類
・標準仕様書 6.3.1(4)(b)による ・（ ）

⑤混和材料

6 軽量コンクリート

7 無筋コンクリート

8 ひび割れ誘発目地、打継目地

⑨コンクリートの仕上り

10 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

⑪型枠

13 コンクリートの単位水量測定

種 別（6.10.2）（表6.10.1）
・1種 使用部位（ ） ・2種 使用部位（ ）
適用箇所（6.10.2）
・（ ） ・図示
適用箇所（6.14.1）
・標準仕様書 6.14.1(4) による箇所
・標準仕様書 6.14.1(4) 以外の箇所
・（ ） ・図示
設計基準強度（6.14.1）
・18（N/mm）² ・（ ）
スランブ（6.14.1）
・15cm ・18cm ・（ ）
目地寸法（6.6.4）（9.7.3）
・標準仕様書 9.7.3による ・（ ）
間隔・位置・形状（6.8.1）
・（ ） ・図示
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ（6.2.5）（6.6.6）（6.8.3）（表6.2.4）
種 別 適用箇所
①A種 スロー立ち上がり
①B種 基礎コンクリート・柱廻り（外周）
・C種
コンクリートの仕上りの平たんさ（表6.2.5）
・a種 ・b種 ・c種
・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）（6.8.1）
・20mm ・（ ）
・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm ・20mm ・（ ）
せき板の材料 **G** 及び厚さ（6.8.2）
・合板 ①12mm ・15mm（ ）
・（ ）
断熱材の兼用（6.8.2）
・行わない ・行う
M C R 工法用シート（6.8.2）
・用いる
打増し厚さ
・20mm ・（ ）
打増し範囲
・（ ） ・図示
・用いない
スリーブの材質（6.8.2）（表6.8.1）
・標準仕様書 6.8.2(9)(i)及び標準仕様書表6.8.1による ・（ ）
実施要領
・構造関係共通図（構造関係共通事項） 構－4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による
・（ ）

⑨防水工事

1 アスファルト防水

屋根保護防水（9.2.2～3）（9.2.5）（表9.2.3～6）
種 別 施工箇所 断熱材 **G** 絶縁用シート 立上り部の保護
・A－1
・A－2
・A－3
・B－1
・B－2
・B－3
・AⅠ－1
・AⅠ－2
・AⅠ－3
・BⅠ－1
・BⅠ－2
・BⅠ－3
厚さ ※25mm
・50mm
・
※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ
70g/㎡程度
・
断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること。
平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上（9.2.5）
・（ ）
床タイル張り ※水下 60mm 以上
・（ ）

⑤①鉄筋

②溶接金網

③鉄筋の継手

鉄筋の種類等（5.2.1）（表5.2.1）
種類の記号 呼び径（mm） 備 考
①SD295A D10,D13 図示
・SD345
・
・
形状等（5.2.2）
種 類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径（mm） 使用部位
①溶接金網 CD6 150×150φ6 浴室・外構（駐車ｽﾍﾞｰｽ）
・鉄筋格子
継手方法等（5.3.4）（5.5.2）（5.6.3）
部 位 継手方法 呼び径（mm）
柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手
耐力壁の鉄筋 ※重ね継手
その他の鉄筋（ ） ①重ね継手 D10,D13
主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ（5.3.4）
・構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(2) による
①構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(3) による
・図示
継手位置図
①構造関係共通図（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による
・図示

②コンクリートの類別

③セメント

④骨材

⑤混和材料

特記仕様書（建築工事編）A-02

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区

株式会社 上田建築事務所
SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

平成31年度版

高知県土木部建築課

令和2年7月改正

乾式保護材

窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。

金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化させたもの。

分類・規格

窯業系パネルⅠ類

窯業系パネルⅡ類

金属複合板

寸法（mm）

厚さ

幅

長さ

曲げ強さ

曲げモーメント

（スパン50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント）

（試験サイクル数）

吸水率（％）

20以下

20以下

1以下

吸水による長さ変化率（％）

0.07以下

0.07以下

0.01以下

防火性能

不燃

不燃

表面材は不燃

剛性（E×I）（N・cm）

（スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみが4mm以下となる剛性）

80000以上

耐衝撃性

おもり重量

1000g

500g

500g

残留変形量

残圧時の最大変形量

1/100以下

4/100以下

耐凍結融解性能

上記試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと

出荷時の含水率

10％以下

寸法の許容差

厚さ：－5％～＋10％

幅：±1％

屋根露出防水

（9.2.3）（表9.2.7～8）

種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

・D-1

・D-2

・D-3

・D-4

・DI-1

・DI-2

種類

・

・製造所の仕様による

・製造所の仕様による

厚さ

・25mm

・50mm

・

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合

（9.2.4）

ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示

・（）

屋内防水

（9.2.3）（表9.2.9）

種別

施工箇所

種別

施工箇所

・E-1

・E-2

保護層

・設ける（※図示）

・

防水層の下地のモルタル塗り

・適用する（施工範囲・図示）

・（）

（9.2.4）

防水層の下地立上り

・コンクリート打放しB種

・（）

（9.2.4）

屋上排水溝

・適用する（）

（9.2.5）

押え金物の材質及び形状寸法

※アルミニウム製

L-30×15×2.0（mm）程度

（9.3.2）

・（）

屋根露出防水

（9.3.2～3）（表9.3.1～3）

種別

施工箇所

改質アスファルトシート

断熱材

防湿層

・AS-T1

下層用

※非露出複層防水用R種

※2.5以上

・

・AS-T2

上層用

※露出複層防水用R種

※3.0以上

・

・AS-T3

下層用

※露出単層防水用R種

※4.0以上

・

・AS-T4

下層用

※非露出複層防水用R種

※1.5以上

・

・AS-J1

上層用

※露出複層防水用R種

※3.0以上

・

・AS-I-T1

下層用

※露出単層防水用R種

※4.0以上

・

・AS-I-J1

下層用

※非露出複層防水用R種

※1.5以上

・

上層用

※露出複層防水用R種

※2.0以上

・

3 合成高分子系

ルーフینگシート防水

防水層の種類

（9.4.2～3）（表9.4.1～3）

種別

施工箇所

ルーフینگシートの厚さ（mm）

断熱材

仕上塗料

防湿層

・S-F1

・

※1.2

・

・カラー

・シルバー

・S-F2

・

※2.0

・

・カラー

・シルバー

・S-M1

・

※1.5

・

・カラー

・シルバー

・S-M2

・

※1.5

・

・カラー

・シルバー

・S-M3

・

※1.2

・

・カラー

・シルバー

・S-I-F1

・

※1.2

・

・カラー

・シルバー

・S-I-F2

・

※2.0

・

・カラー

・シルバー

・S-I-M1

・

※1.5

・

・カラー

・シルバー

・S-I-M2

・

※1.5

・

・カラー

・シルバー

・S-C1

・

※1.0

・

・

・

S-F1、S-I-F1の場合

（9.4.4）

プレキャストコンクリート部材下地の目地処理

・（）

・図示

プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り

・（）

・図示

S-C1の保護層

（9.4.4）

平場

・モルタル塗り

塗り厚（・30mm

・（）

・保護コンクリート

厚さ（）mm

立上り部の保護モルタルの塗厚

※7mm以下

・（）

4 塗膜防水

防水層の種類

（9.5.3）（表9.5.1～2）

種別

施工箇所

備考

・X-1

・

仕上塗料塗り

・カラー

・X-2

・

・シルバー

・Y-1

※地下外壁防水

・

・Y-2

※屋内防水

・

Y-2の保護層

・設ける

5 ケイ酸質系

塗布防水

防水層の種類

（9.6.3）（表9.6.1～2）

種別

施工箇所

種別

施工箇所

※C-U1

・C-U1

6 FRP防水

防水層の種類

（9.7.2～3）（表9.7.1）

種別

施工箇所

備考

サイディング

MS-2

10×10程度

7 脱気装置

シーリング

（9.7.5）

シーリング面への仕上塗材仕上げ等

・行う

・行わない

接着性試験

※簡易接着性試験

・引張接着性試験（部位）

（9.7.5）

期間は（）年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。

9 防水保証期間

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

（11.1.3）（表11.1.1）

2 タイル

（11.2.2）（表11.2.7）

3 セメント mortar によるタイル張り

（11.2.7）（表11.2.3）

4 有機系接着剤によるタイル張り

（11.3.7）（表11.3.2）

1 表面仕上げ

（12.1.4）（表12.1.1～2）

2 木材

（12.2.1）（表12.2.1）

3 製材

（12.2.1）（表12.2.1）

機械加工

・A種

※B種

・C種

（12.1.4）（表12.1.1～2）

適用箇所（）

手加工

・H-A種

・H-B種

・H-C種

適用箇所（）

1 本工事に使用する木材は、高知県内産材（高知県内の森林から生産された木材）を使用するものとする。但し、これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。

2 設計書に「黒潮町産材」とあるものは原則黒潮町有林より生産された木材を使用することとし、原木が黒潮町産材であることを明確に証する資料（産地証明等）を提示すること。

ただし、内部造作材及び5m以上の長尺構造材（通し柱、登り梁）は例外とする。

その他これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。

日本農林規格（JAS）以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。

・代用樹種

※使用できない

・使用箇所（）

間伐材等の適用

・使用する（使用箇所）

（12.2.1）（表12.2.1）

木材の含水率

※A種

・B種

（以降の表に記載のある場合はその数値を優先する）

ホルムアルデヒド放散量

※「1（各章共通事項）.7（室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策）」による。

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

（12.2.1）

施工箇所

樹種

寸法（mm）

等級

形状

保存処理

材面の品質

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

（12.2.1）

施工箇所

樹種

寸法（mm）

等級

形状

保存処理

材面の品質

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

（12.2.1）

施工箇所

樹種

寸法（mm）

等級

形状

含水率

保存処理

材面の品質

※1等

※10％以下

※1等

※10％以下

※1等

※10％以下

・「製材の日本農林規格」以外の製材（下地材）

（12.2.1）

施工箇所

樹種

寸法（mm）

等級

形状

防虫処理

材面の品質

野物

杉

一等

・

造作材の場合

※A種

・「製材の日本農林規格」以外の製材（構造材）

施工箇所

樹種

寸法（mm）

等級

形状

防虫処理

材面の品質

土台・大引

桧

一等

・

柱・梁

桧

特一

・

垂木等

杉

特一

・

1 防虫処理（GL+1.0mの範囲内）とする

特記仕様書（建築工事編）A-03

平成31年度版

高知県土木部建築課

令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区

令和4年4月

令和2年7月改正

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株式会社 上田建築事務所

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

④造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材(12.2.1)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
				※1等・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材(12.2.1)

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
						※1等・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱(12.2.1)

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質

○「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材(12.2.1)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	含水率	見付け材面の品質
階段(蹴上・路面)	桧	35・15	※15%以下	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材(12.2.1)

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率	見付け材面の品質
					※15%以下	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱(12.2.1)

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率	見付け材面の品質
					※15%以下	

5造作用単板積層材

G

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材(12.2.1)

施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法(mm)	備考
	・塗装加工・天然木加工・加工しない(・1等・2等・3等)	・する・しない		

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材(12.2.1)

施工箇所	表面の品質	含水率	防虫処理	寸法(mm)	備考
	・塗装加工・天然木加工・加工しない(・1等・2等・3等)	※14%以下	・する・しない		

6CLT(直交集成板)

G

(12.2.1)

施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)

⑦合板等

G

・「合板の日本農林規格」による普通合板(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	その他の処理
	※5.5	※1類		広葉樹・1等※2等	・する	・難燃処理
	・	・2類		針葉樹※C-D	・しない	・防炎処理

○「合板の日本農林規格」による構造用合板(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	有効断面係数比	強度等級
床	28.0	・特類	※1級		※C-D	・する		
		※1類	※2級		・	・しない		
壁	9.0							
屋根	15.0							

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	防虫処理	備考
		・特類・1類		・する	
				・しない	

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理	その他の処理
	※4.2	・1類	・なら	・する	・難燃処理
	・3.2	・2類	・しおじ	・しない	・防炎処理
	・6.0				・しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	単板の樹種名	防虫処理	その他の処理
	※4.0	・1類	・F			・する	・難燃処理
	・	・2類	・F・W			・しない	・防炎処理
			・W				
			・S・W				

8接着剤

⑨防腐、防蟻処理

屋内に使用する接着剤のVOC対策は、「1(各章共通事項)・7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による。(12.2.2)

防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材適用部位()(12.3.1)

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
図示	・K2○K3※K4
	・K2・K3※K4

薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法
土台	薬剤処理
地盤面より1.0m迄の軸組み等	薬剤処理

薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理適用部位()

合法的に伐採された木材である証明書を提出する。

10合法性証明書

1長尺金属板葺

(13.2.2~3)(表13.2.1)

施工箇所	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	屋根葺形式
・	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帯(CGLCCR-20-AZ150)	※0.4	・立平葺
	・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帯(CGCCR-20-Z25)	・	・あり掛葺
			・心木なし瓦棒葺
			・横葺

下葺材料 ※アスファルトルーフィング 940(13.2.2)(表13.2.2)

・改質アスファルトルーフィング下葺材(・一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ)

雪止め・設置する(施工箇所・図示・)(13.2.3)

2折板葺

(13.3.2)(表13.2.1)

施工箇所	形式	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	形状(mm)	軒先面戸板耐火性能
・	※重ね形	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帯(CGLCCR-20-AZ150)	※0.6	※図示	※有り
	・はぜ締め形	・めつき鋼板及び銅帯(CGLCCR-20-AZ150)	・0.8	・山高()	・なし
	・かん合形	・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帯(CGCCR-20-Z25)		・山むり()	・なし

JIS G 3302以外のタイトフレームの表面処理(直接外気の影響を受けない屋内の場合)(表14.2.2)

・E種・F種

断熱材 ※有り(種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間)

・無し

3粘土瓦葺

(13.4.2)(13.4.3)

施工箇所	瓦の種類	寸法による区分	役物瓦の種類	産地
	※J型	※53A	・軒かわら・そでかわら・のしがわら・かんむりがわら	※高知県産
	・S形	・49A・49B	・半かわら・そでかわら・かんむりがわら	
	・F形	・40	・半かわら・そでかわら・かんむりがわら	

雪止め瓦 ※適用しない・適用する(13.4.2)

凍害試験 ・行う・行わない

棟補強用金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法 ※図示

下葺材料 ※アスファルトルーフィング 940(13.2.2)(表13.2.2)

・改質アスファルトルーフィング下葺材(・一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ)

桧木の留付け工法 ※図示(13.4.3)

棟の工法 ※7寸丸伏せ棟・F形用冠瓦伏せ棟・のし積み棟(13.4.3)

※高知県産の粘土瓦を使用するときは、JIS A 5208の規格については、寸法に関する部分は適用しない。また、粘土瓦の大きさは、高知県で生産されている粘土瓦の大きさとする。

といの材種 ・配管用銅管・表面処理銅板(13.5.2)(表13.5.1)

・硬質ポリ塩化ビニル管(※RF-VP G・VP)○銅板

防露材のホルムアルデヒド放散量(13.5.2)

※規制対象外・第三種

銅管製といの防露巻き(13.5.2~3)(表13.5.4)

※行う(施工箇所 ※標準仕様書表13.5.4による)

ルーフドレン

種別	材種	施工箇所
・ろく屋根用(・縦型・横型)		
・バルコニー用		
・バルコニー中継用		

④とい

⑤スレート葺き

④金属工事

1ステンレスの表面仕上

(14.2.1)

種別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)
※HL程度	
・鏡面仕上程度	
・No.2B程度	

(14.2.2)(表14.2.1)

種別	色合い	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)
・BB-1種	・標準色	
・BB-2種	・特注色	
・AC-1種		
・AC-2種		

陽極酸化被膜の着色方法 ※二次電解着色・三次電解着色(14.2.2)

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)
・溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
・電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

2アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.4.2)(表14.4.1)

野縁等の種類	屋外	・19形	※25形
	屋内	※19形	・25形

・屋外の軒天井、ピロティ天井等(14.4.3~4)

耐風圧性を考慮した補強 ※図示・()

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強箇所 ※図示・()

・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合 補強箇所 ※図示・()

・天井のふところが3mを超える場合 補強箇所 ※図示・()

・天井地下材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示・()

補強方法 ※図示・()

補強方法 ※図示・()

補強方法 ※図示・()

補強方法 ※図示・()

3鉄鋼の亜鉛めっき

(14.5.3)(表14.5.1)

種別	製法	形状	寸法(mm)	板厚(mm)	表面処理
・アルミニウム	・押出し	山形			・BB-1種
・	・ロール				・BB-2種
	・プレス	山形			・AC-1種
					・AC-2種

・

・

・

・

4軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 ※標準仕様書表14.5.1による・図示(14.5.3)(表14.5.1)

スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示・()

5軽量鉄骨壁下地

(14.6.2)(表14.2.1)

種別	製法	形状	寸法(mm)	板厚(mm)	表面処理
・アルミニウム	・押出し	山形			・BB-1種
・	・ロール				・BB-2種
	・プレス	山形			・AC-1種
					・AC-2種

・

・

・

・

6金属成形板張り

(14.6.3)

取付け用下地	※標準仕様書14.4による	・図示	(14.6.3)
伸縮調整継手	・設ける(施工箇所・図示・)		(14.6.3)

77M20以上製笠木

(14.7.2)(表14.7.1)

種類	・250形	・300形	・350形
表面処理	種別()種	色合い	・標準色
			・特注色

⑧手すり及びタラップ

(14.8.2)

手すり	○ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※HL程度・No.2B程度)	(14.8.2)
	・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっき()種	
タラップ	・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※研磨なし	(14.8.3)
	・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきA種	

特記仕様書(建築工事編) A-04

令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 B工区

令和4年4月

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株式会社 上田建築事務所

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

令和2年7月改正

平成31年度版

高知県土木部建築課

⑮左官工事

1モルタル塗り

モルタル・現場調査材料・既調査材料（ ）（15.3.2）
既製目地材・使用する（施工箇所： ）形状：（ ）（15.3.2）
床の目地・設ける（工法 ※押し目地 ）（15.3.5）
目地割り ※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）・（ ）
下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う

②床コンクリート直均し仕上げ

下表以外は表6.2.5及び15.4.2による（表6.2.5）（15.4.2）

施工箇所	平たんさ(mm)	備考
・フリーストップ（支柱調整式）範囲	・1mにつき10以下	・
・	・	・

3モルタルリング材塗り

・せっこう系（15.5.2）（表15.5.1）
・セメント系

④仕上塗材仕上げ

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量（15.6.2）
※規制対象外・第三種
内壁ALCパネルの形状 ※V形目地付き・（ ）（15.6.4）
仕上塗材の種類（15.6.2）（表15.6.1）

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状
○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ○外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・砂壁状 ○ゆず肌状（○吹付け・ローラー塗り） ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状（・吹付け・こて塗り） ・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り） ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性・適用する
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材L ・内装厚塗材G ・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・吹放し・凸部処理・平たん状 ・凹凸状・ひき起こし・かき落とし 吸放湿性・適用する 上塗材・適用する
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ゆず肌状・凸部処理・凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系・溶剤系・弱溶剤系 樹脂 アクリル系 外観 ※つやあり・つやなし ・メタリック
・軽量骨材仕上塗材	・吹付け軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・ ・	・砂壁状・平たん状

防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする

5マシック塗材塗り

種類・A種・B種（15.7.2）

6ロックール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・第三種（15.12.2）
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・第三種（15.12.2）
仕上げ吹付け厚さ(mm) ※図示・25・（ ）（15.12.3）

⑮建具工事

1防火戸

・（ ）・図示（16.1.3）

2見本の製作等

建具見本の製作・行う（建具符号： ）（16.1.4）
建具見本の程度・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組・行う（建具符号： ）（16.1.4）

3防犯建物部品

・適用する（ ）（16.1.6）

④アルミ樹脂製建具

性能値等（16.2.2）（表16.2.1）
・外部に面する建具の性能等級○A種（S-4、A-3、W-4）（建具符号： ）
・B種（S-5、A-3、W-4）（建具符号： ）
・C種（S-6、A-4、W-5）（建具符号： ）
・屋内の建具の性能等級（ ）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する 遮音性の等級（ ）（建具符号： ）
断熱ドアセット・断熱サッシ G・適用する 断熱性の等級（ ）（建具符号： ）
耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級（ ）（建具符号： ）
枠の見込み寸法・（ ）・図示
表面処理（16.2.4）
外部に面する建具 ※BB-1種・BB-2種（・標準色・特注色）
屋内の建具 ※BC-1種・BC-2種（・標準色・特注色）
結露水の処理方法・（ ）・図示
水切り板、ぜん板・（ ）・図示（16.2.5）

⑤網戸等

（16.2.3）

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス（SUS316）製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法 15mm

6樹脂製建具

性能値等（16.2.2）（16.3.2～5）（表16.3.1）
・外部に面する建具の性能等級・A種（S-4、A-4、W-4）（建具符号： ）
・B種（S-5、A-4、W-5）（建具符号： ）
・C種（S-6、A-4、W-5）（建具符号： ）
・屋内の建具の性能等級（ ）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する 遮音性の等級（ ）（建具符号： ）
外部に面する建具・T-A種・T-B種（16.3.2）（表16.3.3）
断熱ドアセット・断熱サッシ G・適用する 断熱性の等級（ ）（建具符号： ）
外部に面する建具・H-A種・H-B種・H-C種（16.3.2）（表16.3.4）
枠の見込み寸法・（ ）・図示
ガラス ※複層ガラス・（ ）（16.3.3）
表面色 ※標準色・特注色（16.3.4）
水切り板、ぜん板・（ ）・図示（16.3.5）

7鋼製建具

性能値等（16.2.2）（16.4.2）
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号： ）
外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4・S-5・S-6（表16.2.1）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する 遮音性の等級（ ）（建具符号： ）
断熱ドアセット・断熱サッシ G・適用する 断熱性の等級（ ）（建具符号： ）
耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級（ ）（建具符号： ）

8鋼製軽量建具

性能値等（16.2.2）（16.5.2）
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号： ）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する 遮音性の等級（ ）（建具符号： ）
断熱ドアセット・断熱サッシ G・適用する 断熱性の等級（ ）（建具符号： ）
耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級（ ）（建具符号： ）
鋼板 ※亜鉛めっき鋼板・ビニル被覆鋼板・カラー鋼板（16.5.3）
召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板・ステンレス・アルミニウム

9ステンレス製建具

性能値等（16.2.2）（16.4.2）（16.6.2）
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号： ）
外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4・S-5・S-6（表16.2.1）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する 遮音性の等級（ ）（建具符号： ）
断熱ドアセット・断熱サッシ G・適用する 断熱性の等級（ ）（建具符号： ）
耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級（ ）（建具符号： ）
表面仕上げ ※HL仕上げ・鏡面仕上げ・（ ）（16.6.4）
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ（16.6.5）

⑩木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ※B種・（ ）（16.7.2）
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量（16.7.2）
※規制対象外・第三種
○フラッシュ戸
・かまち戸 かまち樹種（ ）鏡板樹種（ ）（16.7.2～4）
・ふすま 種別（・I型・II型）（16.7.2～4）
ふすま紙上張り（押入等の裏側以外）（・鳥の子・新鳥の子又はビニル紙程度）
縁仕上げ（・塗り縁・生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリアー塗装））
・戸ぶすま（16.7.2～4）
・紙張り障子（16.7.2～4）
枠及びくづずりの材料・（ ）・図示（16.7.2）

⑪鍵

マスターキー・制作する・制作しない（16.8.4）
その他の鍵 ※各室3本1組・（ ）
鍵箱 ※有・無

12自動ドア開閉装置

自動ドア開閉装置の性能値等（16.9.2～3）（表16.9.1～4）

種類	防錆	検出装置の種類	凍結防止装置
・引き戸用駆動装置	・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	・適用する	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光电センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ
・多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置	・適用しない		・行う（適用箇所は建具表による） ・行わない

性能 ※標準仕様書表16.10.1による・（ ）（16.10.3）（表16.10.1）

13自閉式上吊り引戸装置

シャッターの種類・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m²（16.11.2）
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m²
・屋内用防火シャッター
・屋内用防煙シャッター
開閉方式の種類 ※上部電動式（手動併用）・上部手動式（16.11.2）（表16.11.1）
管理用シャッターのシャッターケース・設ける・設けない（16.11.2）
スラット及びシャッターケース用鋼板（16.11.3）
鋼板の種類・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12・（ ）

14重量シャッター

15軽量シャッター

開閉方式の種類 ※手動式・上部電動式（手動併用）（16.12.2）（表16.12.1）
耐風圧強度（ ）N/m²
スラット 形状・インターロッキング形・オーバーラッピング形（16.12.3～4）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）めっきの付着量（※Z06又はF06・）
・JIS G 3322（塗装溶融55%亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）めっきの付着量（※AZ90）

16オートヘッドドア

（16.13.2～3）

セクション材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

耐風圧性能による区分（・125・100・75・50）Pa

⑰ガラス

・合わせガラス（16.14.2）

品 種	構成種類	特性による種類
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・I類
・納入磨き合わせガラス	・納入磨き、フロート板合わせガラス ・納入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・II-1類・II-2類 ・III類

・強化ガラス（16.14.2）

品 種	種 類	特性による種類
※フロートガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類・III類
・型板ガラス	※型板強化ガラス	

・熱線吸収板ガラス（16.14.2）

品 種	特性による種類	色 調
※熱線吸収フロート板ガラス	・1種・2種	・ブルー・グレー・ブロンズ
・熱線吸収 納入磨き板ガラス		

○複層ガラス（16.14.2）

品 種	断熱性	日射取得性、日射遮蔽性	乾燥気体の種類
・断熱複層ガラス	・T1・T2・T3	・G	・空気
○日射熱遮へい複層ガラス	・T4・T5・T6	・S	・アルゴン

・熱線反射ガラス（16.14.2）

品 種	日射熱遮へい性	耐久性	ガラスの種類	色 調
※熱線反射ガラス	・1種	A種		・ブルー・グレー
・高性能熱線反射ガラス	・2種	・A種・B種		・ブロンズ
	・3種	B種		・シルバー

反射皮膜面 ※内面・外面
映像調整 ※行わない・行う（16.14.4）

・倍強度ガラス（16.14.2）

材料板ガラスによる種類の名称

色 調

※フロート倍強度ガラス

・熱線吸収倍強度ガラス・グレー・ブルー・ブロンズ・

・ガラスの留め材及び溝の大きさ（16.14.2～3）（図16.14.1）（9.7.1）

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	※シーリング材 ○ガスケット ※グレイジングチャンネル形・	※建具の製造所の仕様による ・図示 ・
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材・	
ステンレス製	※シーリング材・	
樹脂製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	

名 称 種 類 張り面 性能値

※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り・外張り 飛散防止率 D1

・

品質 JIS A5759による

18ガラス用フィルム

19サッシ取合間仕切板

※アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具に合わせ）
・鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 めっきの付着量Z12又はF12）

特記仕様書（建築工事編）A-05

平成31年度版 高知県土木部建築課

令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 B工区

令和4年4月

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号
株式会社 上田建築事務所
SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史
令和2年7月改正

20 ガラスブロック	(1 6 . 1 4 . 5)										
	表面形状	呼び寸法	厚 さ	色 調 ｸﾘｱ乳白	目地幅 (mm)		伸縮調整目地 (mm)	防火性能			
正方形	・ 125×125	80	・ ・ ・	※8～15	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以下 ・	※6m以下ごとに幅10～25	※無し ・有り				
	・ 160×160	・ 95 ・ 125	・ ・ ・	・ 15～25							
	・ 200×200	・ 95 ・ 125	・ ・ ・	・							
	・ 320×320	95	・ ・ ・								
長方形	・ 250×125	80	・ ・ ・								
	・ 320×160	95	・ ・ ・								
曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。											
壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける (形状 ※図示 ・) 化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材 質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸 法 ・ 図示 ・ () 形 状 ・ 図示 ・ ()											
21 付属電気設備	電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機0.4KW以上の場合は、機器附属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する。										
⑧ 塗装工事	① 材 料	屋内で使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による ・ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (1 8 . 1 . 3) ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所：)									
	② 素地ごしらえ	(1 8 . 2 . 2 ～ 7)									
	下地面等										
	種 別										
	木部										
	不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・ B種										
	透明塗料塗りの場合 ・ A種 ※B種										
	鉄鋼面										
	亜鉛めっき鋼面										
	モルタル面及びプラスター面										
	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面										
	コンクリート面 (DP) 及びALCパネル面										
	せっこうボード面及びその他ボード面										
	継目処理工法の場合 ※A種 ・ B種										
	継目処理工法以外 ・ A種 ※B種										
3 錆止め塗料塗り	塗料の種類 (1 8 . 3) 鉄鋼面錆止め塗料 EP-G以外 ※A種 鉛 ・ クロム7リ-錆止めペイント1種 EP-G ※B種 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料 EP-G以外 ※B種 EP-G ※C種										
④ 塗装	・ 合成樹脂調合ペイント塗り (S O P) (1 8 . 4) ・ クリアラッカー塗り (C L) (1 8 . 5) ・ アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り (N A D) (1 8 . 6) ・ 耐候性塗料塗り (D P) 鉄鋼面 ・ 亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料の等級 () 級 (1 8 . 7) コンクリート面及び押出成形セメント板面 工程の種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (1 8 . 8) ・ つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (E P - G) (1 8 . 9) ・ 合成樹脂エマルションペイント塗り (E P) (1 8 . 9) ・ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (E P - T) (1 8 . 1 0) ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (U C) (1 8 . 1 1) ・ オイルステイン塗り (O S) (・ 水性 ・ 油性) (1 8 . 1 2) ⊖ 木材保護塗料塗り (W P) (1 8 . 1 3)										
5 床用防じん塗料塗り	材質 水性アクリル系樹脂塗料 (※標準色 ・) 仕上種別 コーティング (ローラー刷毛塗り) 塗布量 主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする										
⑨ 内装工事	① 接着剤	壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による									
	② ビニル床シート G	(1 9 . 2 . 2 ～ 3)									
	種類の記号										
	施工箇所										
	色 柄										
	特殊機能										
	厚さ (mm)										
	※FS										
	・ 無地 ・ マーブル柄										
	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重										
	⊖CF										
	洗面・トイレ										
	・ 柄物										
	・ 防滑性 ・ 耐薬品性										
	⊖1.8										
再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で 15%以上使用されていること。 (P F の場合を除く) 目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法 ・ () 帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1x10 ¹¹ Ω程度											
3 ビニル床タイル G	(1 9 . 2 . 2)										
種類の記号											
施工箇所											
色 柄											
寸法 (mm)											
特殊機能											
厚さ (mm)											
・ F T											
・ 無地 ・ 柄物											
・ 帯電防止 ・ 防滑性											
※2.0											
・ K T											
・ 無地 ・ 柄物											
・ 帯電防止 ・ 防滑性											
※2.0											
・ F O A											
・ 無地 ・ 柄物											
・ 帯電防止 ・ 防滑性											
・											
・ 無地 ・ 柄物											
・ 帯電防止 ・ 防滑性											
・											
再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で 15%以上使用されていること。 帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1x10 ¹¹ Ω程度											
⑩ ビニル幅木	5 ゴム床タイル										
	6 カーペット敷き G										
	材質の種類 ※軟質 ・ 硬質 (1 9 . 2 . 2) 高さ (mm) ・ 60 ・ 75 ・ 100 ⊙45 厚さ (mm) ※1.5以上 ・ () 色 柄 () ・ フラット ・ 凹凸 (1 9 . 2 . 2) 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm) () ・ 織じゆうたん (1 9 . 3 . 2 ～ 3) (表 1 9 . 3 . 1)										
	種 別										
	バイル形状										
	帯電性										
	織り方										
	色柄等										
	備 考										
	・ A種										
	・ カットバイル										
	※人体帯電圧 3kv以下										
	・ ウィルトンカーペット										
	・ 無地										
	・ B種										
・ ループバイル											
・ ダブ ルフェースカーペット											
・ 柄物											
・ C種											
・ カット、ループ併用											
・ 7キスミスターカーペット (標準品)											
接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ () 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ()											
・ タフテッドカーペット											
バイル形状											
バイル長さ (mm)											
工 法											
帯電性											
備 考											
・ カットバイル											
※5～7											
・											
・ 全面接着工法											
※人体帯電圧 3kv以下											
・ ループバイル											
※4～6											
・											
・ グリッパー工法											
・											
・ カット、ループ併用											
・											
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ()											
・ ニードルパンチカーペット											
厚さ (mm) () 帯電性 ※人体帯電圧 3kv 以下 ・ ()											
・ タイルカーペット											
バイル形状											
種別											
施工箇所											
寸法 (mm)											
総厚さ (mm)											
備 考											
※ループバイル											
※第一種											
・ 第二種											
・											
・ カットバイル											
・ カット、ループ併用											
帯電性 ※人体帯電圧 3kv 以下 ・ () タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・ 模様流し 階段部分 ※模様流し ・ 市松敷き											
見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、種類、形状等 ※図示 ・)											
(1 9 . 4 . 2) (1 9 . 4 . 3) (表 1 9 . 4 . 4 ～ 8)											
種 別											
施工箇所											
仕上げる種類											
・ 厚膜型塗床材											
弾性カルシウム樹脂系塗床											
※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ											
・ 厚膜型塗床材											
エポキシ樹脂塗床											
・ 薄膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル工法 (※平滑 ・ 防滑)											
・ 薄膜型塗床材											
※平滑仕上げ											
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 (1 9 . 4 . 2) ※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による											
単層フローリング G (1 9 . 5 . 2 ～ 6) (表 1 9 . 5 . 1 ～ 5)											
種類の記号											
樹 種											
厚さ (mm)											
大きさ (mm)											
間伐材等の適用											
工 法											
仕上塗装											
⊖フローリングボード 1等											
※なら ⊖桧											
※15 ・ 12 ・ 18											
幅 75 長さ 500 以上											
・											
・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法											
※塗装品 ・ 無塗装品											
・ フローリングブロック 1等											
※なら ・											
※15 ・											
※303×303											
・											
・ 接着工法											
※塗装品 ・ 無塗装品											
複合フローリング G											
種類の記号											
樹 種											
種 別											
厚さ (mm)											
間伐材等の適用											
工 法											
仕上塗装											
・ 天然木化粧複合フローリング											
※なら ・											
・ A種 ・ B種 ※C種											
・ 15 ・ 12											
・											
・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法 緩衝材 ※合成樹脂発泡シート											
※塗装品 ・ 無塗装品											
ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による											
種 別 ・ A種 ⊖B種 ・ C種 ・ D種 (畳床：) (1 9 . 6 . 2) (表 1 9 . 6 . 1) 下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン G) () ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による											
畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。 畳表 高知県土佐畳検査協会の合格品使用 (3種表の2等以上) ※適用する ・ 適用しない 畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。											
(1 9 . 7 . 2) (表 1 9 . 7 . 1)											
種 類											
JISの記号											
厚さ (mm)、規格等											
・ 硬質木毛セメント板 G											
HW											
・ 15 ・ 20 ・ 25											
・											
・ 中質木毛セメント板 G											
MW											
・ 15 ・ 20 ・ 25											
・											
・ 普通木毛セメント板 G											
NW											
・ 15 ・ 20 ・ 25											
・											
・ 硬質木片セメント板 G											
H F											
・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21											
・											
・ 普通木片セメント板 G											
N F											
・ 30											
・ けい酸カルシウム板											
0.8 F K 1.0 F K											
タイプ2 (無石棉) ・ 6 ・ 8											
・ ロックウール化粧吸音板											
D R											
※フランクタイプ (※ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・) (不燃)											
・ ロックウール吸音ボード1号											
R W - B											
※25 ・ 凹凸タイプ (※ 12 (不燃) ・ 15 ・)											
・ グラスウール吸音ボード32K											
G W - B											
※25 (ガラスクロス包) ・											
⊖せっこうボード											
G B - R											
※12.5 (不燃) ⊖15 (不燃) ・ 9.5											
・ 不燃積層せっこうボード											
G B - N C											
9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様)											
⊖シーリングせっこうボード											
G B - S											
12.5 (・ 不燃 ・ 準不燃) ⊖9.5											
・ 強化せっこうボード											
G B - F											
・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)											
・ せっこうラスボード											
G B - L											
9.5											
・ 化粧せっこうボード (木目)											
G B - D											
12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (※胚目 ・ 板目) 専用下地材有り											
・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)											
G B - D (T)											
9.5 (準不燃)											
・ 普通合板 G											
・ 生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度) ・ 不透明塗料塗り (しな合板程度)											
・ 天然木化粧合板 G											
・ 特殊加工化粧合板 G											
・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装											
JIS K 6903 による 厚さ1.2											
・ メラミン樹脂化粧板											
・ ポリエステル樹脂化粧板											
・ ミディアムデンシティファイバーボード G											
G - M D F											
・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 無研磨 ・ 研磨											
・ 単板張りパーティクルボード G											
・ 無研磨板 ・ 研磨板											
・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・											
・ 化粧パーティクルボード G											
・ 単板オーバーレイ ・ フラッシュオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・											
・ ハードボード (素地) G											
H B											
・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード)											
・ ハードボード (化粧) G											
・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7											
・ インシュレーションボード G											
A - I B T - I B											
A 級 ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18											
・ 火山性ガラス質複層板 化粧加工K2 密度A1											
・ 6 ・ 9 ・ 12											
遮音シール材 ・ 適用する (・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド) (1 9 . 7 . 2) 合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による (表 1 9 . 7 . 3) 合板類の張付け ・ A種 ※B種 せっこうボードの目地工法 ・ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法											
ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による (1 9 . 8 . 2)											
施工箇所											
壁紙の種類											
紙											
繊維											
ガラス繊維											
無機質											
その他											
防火性能											
備 考											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											
・											

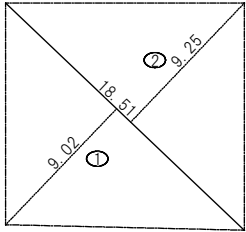
[illegible]

舗装工事	24 耐震スリット	<table><tr><th>方 向</th><th>タ イ プ</th><th>耐火性能</th><th>防水性能</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・垂直方向</td><td>※完全（全貫通型）</td><td>・耐火型</td><td>・有り</td><td></td></tr><tr><td>・水平方向</td><td>・</td><td>・非耐火型</td><td>・無し</td><td></td></tr></table> 目地（目地材の材質は標準仕様書表9.7.1）による） <table><tr><th>目 地</th><th>内 壁</th><th>外 壁</th></tr><tr><td>目地材</td><td>シーリング材（見え掛かり部のみ）</td><td>シーリング材（見え掛かり部のみ）</td></tr><tr><td>目地寸法（mm）</td><td>※幅 20 × 深さ 10</td><td>※幅 20 × 深さ 10</td></tr></table>	方 向	タ イ プ	耐火性能	防水性能	備 考	・垂直方向	※完全（全貫通型）	・耐火型	・有り		・水平方向	・	・非耐火型	・無し		目 地	内 壁	外 壁	目地材	シーリング材（見え掛かり部のみ）	シーリング材（見え掛かり部のみ）	目地寸法（mm）	※幅 20 × 深さ 10	※幅 20 × 深さ 10	④コンクリート舗装	構成及び厚さ ・（ ） ①図示 （22.5.2） 寒冷地の縁部立下り寸法等 ・（ ） ①図示 早強ポルトランドセメント ・使用する （22.5.3） 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ																									
	方 向	タ イ プ	耐火性能	防水性能	備 考																																																
	・垂直方向	※完全（全貫通型）	・耐火型	・有り																																																	
	・水平方向	・	・非耐火型	・無し																																																	
	目 地	内 壁	外 壁																																																		
	目地材	シーリング材（見え掛かり部のみ）	シーリング材（見え掛かり部のみ）																																																		
	目地寸法（mm）	※幅 20 × 深さ 10	※幅 20 × 深さ 10																																																		
	25 止水板	形 式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ※図示	5 カラー舗装	構成及び厚さ ・（ ） ①図示 （22.6.2） 舗装の種類 区 分 ※加熱系アスファルト混合物 ・車道及び駐車場 ・石油樹脂系混合物 ・歩行者用通路 ・常温系ニート工法 ・車路及び歩行者用通路 ・常温系塗布工法 ・車路及び歩行者用通路 加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材 ・自然石 （22.6.3） 配 合 （22.6.4） 加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 （ ） ニート工法及び塗布工法の配合等 （ ） 加熱系アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない （22.6.6）																																																	
	26 エキスパンション ジョイント金物	材 質 ・アルミニウム ・ステンレス クリアランス ・50 ・100 ・150 耐火性能 ・有り（ ） ・無し	6 透水性 アスファルト舗装	構成及び厚さ ・（ ） ①図示 （22.7.2） 舗装材料 （22.7.3） 車道部 ※改質アスファルトⅠ型 ・（ ） 歩道部 ※ストレートアスファルト ・（ ） 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない （22.7.6）																																																	
	②⑦ ステンレス流し台	・BL製品（トラフ付） ①一般型（水封50mm以上のトラフ付）	7 ブロック系舗装	（22.8.2～3）																																																	
28 吊り戸棚	・BL製品 ・一般型 ・公共住宅型	<table><tr><th>舗 装</th><th>種 類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・コンクリート 平板舗装</td><td>※普通平板（N） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）</td><td>※300角 ・</td><td>※60 ・</td><td>目地材 ※砂 ・モルタル クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td></tr><tr><td>・インターロッキング ブロック舗装</td><td>※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）</td><td></td><td>車道部 ※80・ 歩道部 ※60・</td><td>曲げ強度（N/mm²）車道部 ※5.0・ 歩道部 ※3.0・ 着色及び表面加工※標準品 ・</td></tr><tr><td>・舗石舗装</td><td>※小舗石（花崗岩） ・ 形状 ・角石 ・板石 ・割石</td><td></td><td>※80～100</td><td>施工方法 ※うろこ張り ・ クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 基層及び厚さ ※コンクリート舗装（ ）mm ・アスファルト舗装（ ）mm</td></tr></table> コンクリート平板舗装、インターロッキングブロック舗装の歩道部は、原則再生材料を用いた舗装用ブロック ㊦ とする。ただし、調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする。	舗 装	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備 考	・コンクリート 平板舗装	※普通平板（N） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）	※300角 ・	※60 ・	目地材 ※砂 ・モルタル クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し	・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）		車道部 ※80・ 歩道部 ※60・	曲げ強度（N/mm ² ）車道部 ※5.0・ 歩道部 ※3.0・ 着色及び表面加工※標準品 ・	・舗石舗装	※小舗石（花崗岩） ・ 形状 ・角石 ・板石 ・割石		※80～100	施工方法 ※うろこ張り ・ クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 基層及び厚さ ※コンクリート舗装（ ）mm ・アスファルト舗装（ ）mm																															
舗 装	種 類		寸法(mm)	厚さ(mm)	備 考																																																
・コンクリート 平板舗装	※普通平板（N） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）		※300角 ・	※60 ・	目地材 ※砂 ・モルタル クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																																																
・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）			車道部 ※80・ 歩道部 ※60・	曲げ強度（N/mm ² ）車道部 ※5.0・ 歩道部 ※3.0・ 着色及び表面加工※標準品 ・																																																
・舗石舗装	※小舗石（花崗岩） ・ 形状 ・角石 ・板石 ・割石		※80～100	施工方法 ※うろこ張り ・ クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 基層及び厚さ ※コンクリート舗装（ ）mm ・アスファルト舗装（ ）mm																																																	
29 水切り棚	・一般型（材種はステンレス鋼又はアルミニウム合金製）	8 保水性歩行用 ブロック及び床タイル	製品の許容値																																																		
⑩ コンロ台	・BL製品 ①一般型 ・公共住宅型	⑨ 砂利敷き	<table><tr><th rowspan="2">形 状</th><th rowspan="2">変 形</th><th colspan="2">長辺寸法（mm）</th><th colspan="3">短辺寸法（mm）</th><th rowspan="2">厚さ （mm）</th><th rowspan="2">曲げ強さ （N/cm²）</th></tr><tr><th>300未満</th><th>300以上</th><th>150以下</th><th>300以下</th><th>500以下</th></tr><tr><td rowspan="2">・ブロック形状</td><td>そり</td><td>1.5以内</td><td></td><td>±1.5</td><td>±2.0</td><td>—</td><td>±2.0</td><td>500以上</td></tr><tr><td>ねじれ</td><td>1.5以内</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・タイル形状</td><td>そり</td><td>1.2以内</td><td>1.5以内</td><td>±1.5</td><td>±1.5</td><td>±1.5</td><td>±1.5</td><td>120以上</td></tr><tr><td>ねじれ</td><td>1.2以内</td><td>1.5以内</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	形 状	変 形	長辺寸法（mm）		短辺寸法（mm）			厚さ （mm）	曲げ強さ （N/cm ² ）	300未満	300以上	150以下	300以下	500以下	・ブロック形状	そり	1.5以内		±1.5	±2.0	—	±2.0	500以上	ねじれ	1.5以内	—						・タイル形状	そり	1.2以内	1.5以内	±1.5	±1.5	±1.5	±1.5	120以上	ねじれ	1.2以内	1.5以内							
形 状	変 形		長辺寸法（mm）			短辺寸法（mm）			厚さ （mm）	曲げ強さ （N/cm ² ）																																											
		300未満	300以上	150以下	300以下	500以下																																															
・ブロック形状	そり	1.5以内		±1.5	±2.0	—	±2.0	500以上																																													
	ねじれ	1.5以内	—																																																		
・タイル形状	そり	1.2以内	1.5以内	±1.5	±1.5	±1.5	±1.5	120以上																																													
	ねじれ	1.2以内	1.5以内																																																		
33 プレキャストコンクリート	取付け方法 ・（ ） ①図示 （20.3.4）	10 路面表示用塗料	耐凍害性及び耐薬品性 JIS A 5209 の試験において、ひび割れ及びきじ又はうわぐすりにはがれ等の表面の異常の無いこと 耐摩耗性 施ゆう 0.1g 以下 無ゆう 0.5g 以下 保水性（吸水率） 体積比 15% 以上 製品の許容値																																																		
34 間知石及びコンクリート 間知ブロック積み	<table><tr><th colspan="2">材 種</th><th>種 類</th><th>質量区分</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・間知石</td><td>・花こう岩 ・凝灰岩</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・コンクリート間知ブロック</td><td></td><td></td><td>・A ・B</td><td></td></tr></table> 積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・（ ） ①図示 伸縮調整目地 材種及び厚さ ・（ ） ①図示 （20.4.2～3）	材 種		種 類	質量区分	備 考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩				・コンクリート間知ブロック			・A ・B			①路 床 路床の材料 ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示による （22.2.2） ・凍上抑制層 ※再生クラッシャー ㊦ ・クラッシャー ・切込み砂利 ・砂 厚さは図示による ・フィルター層 ※砂 厚さは図示による 単位面積質量 60g/m ² 以上 路床安定処理 ・行う （22.2.2～3）（表22.2.1） ※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（ ） ・消石灰（ ） 添加量 kg/m ³ （目標CBR ※3 以上 ・ ） ・ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m ² 以上 厚さ（mm） 0.5～1.0 引張強さ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上 透水係数 1.5×10 ⁻¹ cm/sec 以上 盛土に用いる材料 （22.2.3）（表3.2.1） ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ㊦ 試験 砂の粒度試験 ※行う ・行わない （22.2.5） 路床土の支持力比（CBR）試験 ※行う ・行わない 路床の締固め度の試験 ※行う ・行わない 現場CBR試験 ※行う ・行わない																																			
材 種		種 類	質量区分	備 考																																																	
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩																																																				
・コンクリート間知ブロック			・A ・B																																																		
②路 盤	厚 さ ・（ ） ①図示 （22.3.2～3）（表22.3.1） 材 料 ・砕石（・クラッシャー ・粒度調整砕石） ※再生材 ㊦ （・クラッシャー ・粒度調整砕石） ・クラッシャー鉄鋼スラグ ㊦ ・粒度調整鉄鋼スラグ ㊦ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ㊦ 構成及び厚さ ・（ ） ①図示 （22.4.2～3） 材 料 アスファルト ・再生アスファルト ㊦ （・60～80 ・80～100） ・ストレートアスファルト 骨 材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 ㊦ 加熱アスファルト混合物等の種類 （22.4.4）（表22.4.4） <table><tr><th>区 分</th><th>※一般地域</th><th>・寒冷地域</th></tr><tr><td>表 層</td><td>※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）</td><td>密粒度アスファルト混合物（13F）</td></tr><tr><td>基 層</td><td>粗粒度アスファルト混合物（20）</td><td></td></tr></table> シールコート用の乳剤の種類 ・PK-1 ・PK-2 （22.4.3） アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない （22.4.6）	区 分	※一般地域	・寒冷地域	表 層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	密粒度アスファルト混合物（13F）	基 層	粗粒度アスファルト混合物（20）																																												
区 分	※一般地域	・寒冷地域																																																			
表 層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	密粒度アスファルト混合物（13F）																																																			
基 層	粗粒度アスファルト混合物（20）																																																				
3 アスファルト舗装	構成及び厚さ ・（ ） ①図示 （22.4.2～3） 材 料 アスファルト ・再生アスファルト ㊦ （・60～80 ・80～100） ・ストレートアスファルト 骨 材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 ㊦ 加熱アスファルト混合物等の種類 （22.4.4）（表22.4.4） <table><tr><th>区 分</th><th>※一般地域</th><th>・寒冷地域</th></tr><tr><td>表 層</td><td>※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）</td><td>密粒度アスファルト混合物（13F）</td></tr><tr><td>基 層</td><td>粗粒度アスファルト混合物（20）</td><td></td></tr></table> シールコート用の乳剤の種類 ・PK-1 ・PK-2 （22.4.3） アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない （22.4.6）	区 分	※一般地域	・寒冷地域	表 層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	密粒度アスファルト混合物（13F）	基 層	粗粒度アスファルト混合物（20）																																												
区 分	※一般地域	・寒冷地域																																																			
表 層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	密粒度アスファルト混合物（13F）																																																			
基 層	粗粒度アスファルト混合物（20）																																																				

特記仕様書（建築工事編）A-08				平成31年度版 高知県土木部建築課			
令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 B工区				令和4年4月			
株式会社 上田建築事務所 SUBMITTED BY 一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号							
令和2年7月改正							

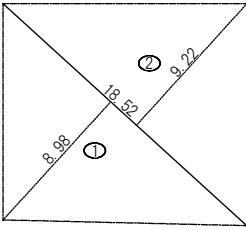


附近見取図



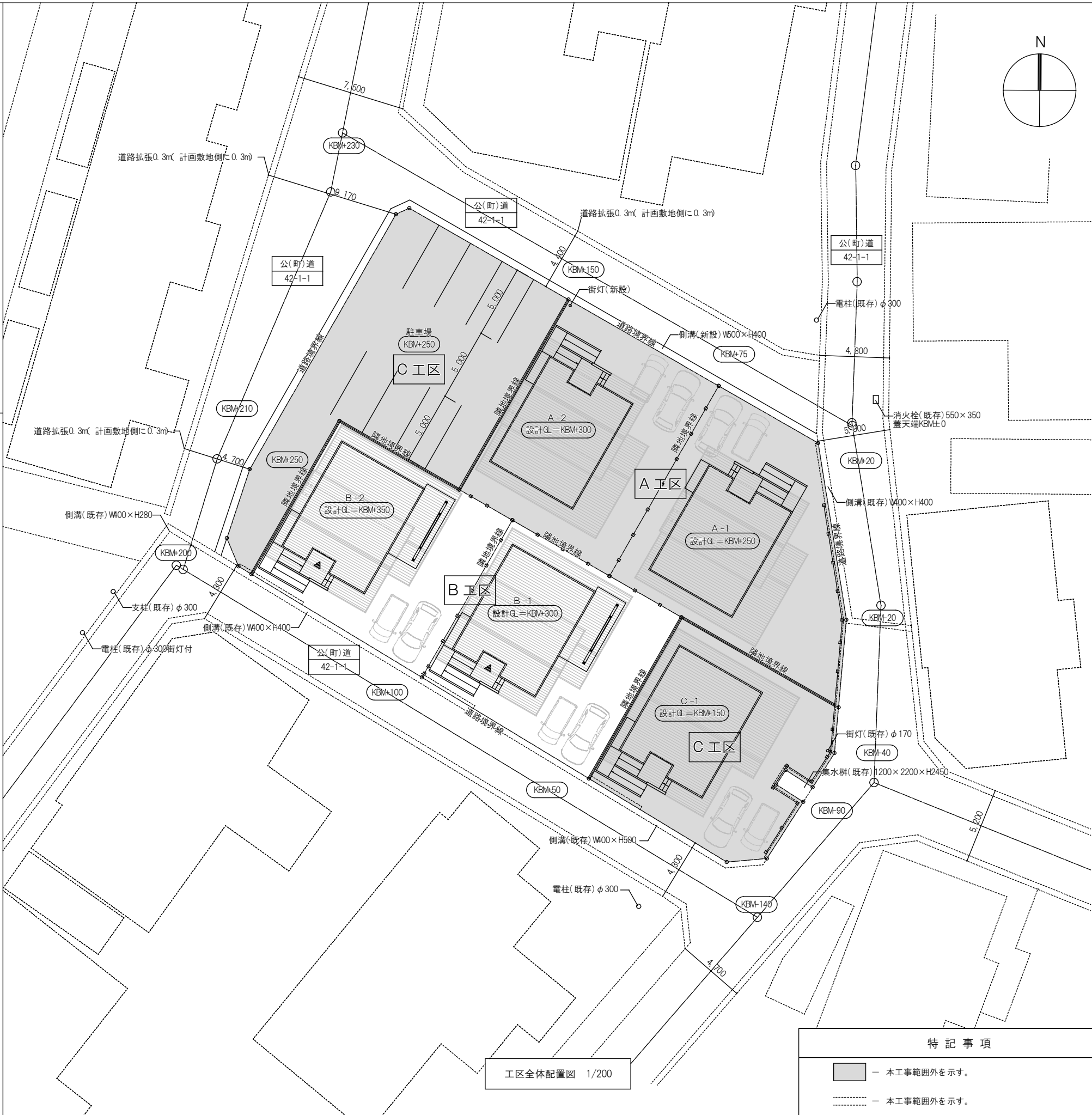
B-1 敷地求積図 1/300

B-1 敷地求積表					
番号	底辺	高さ	倍面積	面積	積
1	18.51	9.02	166.9602	83.48010	
2	18.51	9.25	171.2175	85.60875	
合計				169.08885	
敷地面積				169.08	m²



B-2 敷地求積図 1/300

B-2 敷地求積表					
番号	底辺	高さ	倍面積	面積	積
1	18.52	8.98	166.3096	83.15480	
2	18.52	9.22	170.7544	85.37720	
合計				168.53200	
敷地面積				168.53	m²



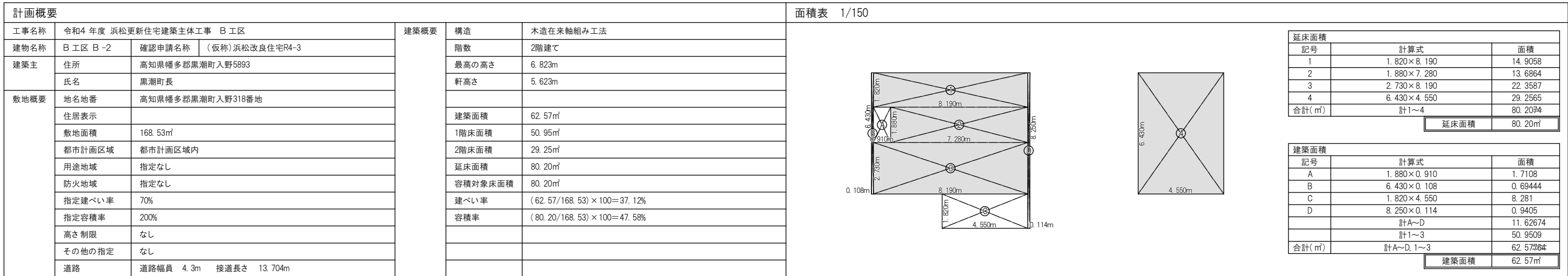
工区全体配置図 1/200

特記事項

— 本工事範囲外を示す。

— 本工事範囲外を示す。

計画概要				面積表 1/150	
工事名称	令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区		建築概要	構造	木造在来軸組み工法
建物名称	B 工区 B -2	確認申請名称	(仮称)浜松改良住宅R4-3	階数	2階建て
建築主	住所	高知県幡多郡黒潮町入野5893		最高の高さ	6.823m
	氏名	黒潮町長		軒高さ	5.623m
敷地概要	地名地番	高知県幡多郡黒潮町入野318番地			
	住居表示			建築面積	62.57㎡
	敷地面積	168.53㎡		1階床面積	50.95㎡
	都市計画区域	都市計画区域内		2階床面積	29.25㎡
	用途地域	指定なし		延床面積	80.20㎡
	防火地域	指定なし		容積対象床面積	80.20㎡
	指定建ぺい率	70%		建ぺい率	(62.57/168.53) × 100 = 37.12%
	指定容積率	200%		容積率	(80.20/168.53) × 100 = 47.58%
	高さ制限	なし			
	その他の指定	なし			
道路	道路幅員	4.3m	接道長さ	13.704m	



延床面積			
記号	計算式	面積	
1	1.820 × 8.190	14.9058	
2	1.880 × 7.280	13.6864	
3	2.730 × 8.190	22.3587	
4	6.430 × 4.550	29.2565	
合計(㎡)	計1～4	80.2074	
		延床面積	80.20㎡

建築面積			
記号	計算式	面積	
A	1.880 × 0.910	1.7108	
B	6.430 × 0.108	0.69444	
C	1.820 × 4.550	8.281	
D	8.250 × 0.114	0.9405	
	計A～D	11.62674	
	計1～3	50.9509	
合計(㎡)	計A～D, 1～3	62.5734	
		建築面積	62.57㎡

配置図 1/100

特記事項

■ — 本工事範囲外を示す。

----- — 本工事範囲外を示す。

(B -1)計画概要・建物面積表・配置図

SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区

SCALE A2 1:100 A3 1:141

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株式会社 上田建築事務所

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

DATE DATE R4. 04 02

CHECKED BY DRAWN BY

A - 11 SHEET NO.

外 部 仕 上 表									
屋 根 A (4. 5寸 勾配)	㊶	化粧スレート葺き (30分準耐火仕様)	通 気	㊸	小屋裏換気役物 (既製品) ※その他雨押え: カラーガルバニウム鋼板t0. 4(既製品)	物 干 場	㊱	床 モルタル金鍍押え	
		アスファルトルーフィング 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)		㊹	棟換気役物 (既製品) ※その他棟包み: カラーガルバニウム鋼板t0. 35(既製品)	2 階 手 摺	㊲	杉t45 巾120(防腐処理材) WP 塗	
屋 根 B (2. 5寸 勾配)	㊷	化粧スレート葺き (30分準耐火仕様)	桁 鼻	㊺	カラーQ.t0. 35～0. 4	物 干 し 金 物	㊳	7は自在物干金物※勾配天井仕様 (既製品)	
		アスファルトルーフィング 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)	破 風 板	㊻	杉t35 巾180(防腐処理材) WP 塗				
軒 天	㊼	化粧野地板 杉t15厘い実加工、構造用合板 t15捨張	鏡 板	㊼	杉t15縦羽目 働き巾W05 目地押さえt18*30 WP 塗	備 考			
外 壁	㊽	窯業系サイディング 張り t16. 0(45分準耐火仕様)	堅 目 地	㊾	杉90*60(防腐処理材) WP 塗 *底目地 カラーQ.t0. 35～0. 4	【 塗装色: 参考品番】 外部WP 塗: 黒(焼杉風) マセル値: 3. 6RP 2. 3 / 0. 0 内部WP 塗: グレア マセル値:			
		通気胴縁21*45@455、透湿防水シート 張り	根 廻 り	㊿	基礎コンクリート打ち 放し (補修共)				
樋	㊿	カラーガルバニウム鋼板 半丸120程度・ 堅樋φ75	水 切	㊽	土台水切 カラーQ.t0. 35(既製品)				
小 庇 (D=240)	㊾	ガルバニウム鋼板t0. 35～0. 4平葺き	ポ ー チ	㊾	床 磁器質タイル150角 モルタル下地				
		板庇: 杉(防腐処理材) t35 WP 塗	外 部 階 段・ スロープ	㊿	床 モルタル金鍍押え *外構図参照				

使 用 材 料 表		
認 定 番 号	化粧スレート葺き （ 30分準耐火仕様）	告示第1358号 第五第1号-ロ（1） NM-9567
	窯業系サイディング張り t16. 0 （ 45分準耐火仕様）	QF045BE-9226
	GB-R(石膏ボード) t12. 5 t15. 0	NM-8619
	GB-S(シジメ 石膏ボード) t9. 5	NM-9639
	ビニルクロス	NM認 定 品

内 部 仕 上 表																	
	室 名		床		巾 木		壁			廻 縁		天 井 仕 上		床 高 / 天 井 高	備 考		
1 階	玄 関	㊲	磁器質タイル150角		㊲	木製桧 H=65 WP 塗	㊲	ビニルクロス張り		㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	ビニルクロス張り		CH: 2, 220	・ 下足箱  ・ アングル框: マル調Lアングル L21*21程度 ・ 手掛兼用見切: 桧(小節)45*75R加工、H2, 200 WP 塗	
			下地: モルタル 35程度					下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t15. 0				
	1 階 廊 下	㊲	桧フローリング t15(塗装品)		㊲	木製桧 H=45 WP 塗	㊲	ビニルクロス張り		㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	ビニルクロス張り		CH: 2, 200		
			下地: 構造用合板t28					下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t15. 0				
	台 所	㊲	桧フローリング t15(塗装品)		㊲	木製桧 H=45 WP 塗	㊲	ビニルクロス張り	㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	ビニルクロス張り		CH: ≒2, 804	・ キッチン (流し 台L=1, 800, コロ台L=700, レンジ フット(プ-ス型)L=750, 水切棚)
			下地: 構造用合板t28											下地: GB-R t15. 0			
	居 間	㊲	桧フローリング t15 WX 磨き		㊲	木製桧 H=45 WP 塗	㊲	ビニルクロス張り		㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	㊲	ビニルクロス張り		CH: ≒2, 804	・ カタレール(W) ・ クラキャップ
			下地: 構造用合板t28					下地: GB-R t15. 0						下地: GB-R t12. 5			
	和 室	㊲	スタロ量t55(B種)		㊲	畳寄せ25*50	㊲	ビニルクロス張り		㊲	木製廻縁 10*25	㊲	㊲	ビニルクロス張り		CH: 2, 200	・ 長押: 桧(小節)L=1, 500WP 塗、木製フック計4組(丸喜金属: Jフック MHW-200同等 色ウォルナット) ・ カタレール(W) ・ クラキャップ
			下地: 構造用合板t28					下地: GB-R t15. 0						下地: GB-R t15. 0			
ト イ レ	㊲	OFシートt1. 8張り		㊲	ビニル巾木 H=45	㊲	ビニルクロス張り		㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	㊲	ビニルクロス張り		CH: 2, 100	・ 洋便器(機械設備工事) ・ L型手摺(機械設備工事) ※下地補強は本工事 ・ タオル掛(機械設備工事) ・ 天井換気扇(機械設備工事)	
		下地: 構造用合板t12. 0捨張、構造用合板t28					下地: GB-R t15. 0						下地: GB-R t15. 0				
洗面・脱衣室	㊲	OFシートt1. 8張り		㊲	ビニル巾木 H=45	㊲	ビニルクロス張り		㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	㊲	ビニルクロス張り		CH: 2, 100	・ 床下点検口600角 ・ 洗面化粧台W=750(機械設備工事) ・ 洗濯機パン(機械設備工事) ・ タオル掛け(機械設備工事)	
		下地: 構造用合板t12. 0捨張、構造用合板t28					下地: GB-R t15. 0						下地: GB-R t15. 0				
浴 室		*1416規格 仕上・下地材共 難燃以上 (性能評価「 9. 高齢者等への配慮」対応型)				㊲	GB-R t15. 0素地					㊲	GB-R t15. 0素地		CH: 2, 100	・ エコバス1416タイプ(機械設備工事)	
階 段	㊲	踏面 桧板(集成材) t35 WP 塗 蹴上 桧板(集成材) t15 WP 塗		㊲	木製桧 H=45 WP 塗	㊲	ビニルクロス張り		㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	㊲	㊲	ビニルクロス張り		CH: 2, 100	・ 手摺: 21*45桧(小節)WP 塗 ・ 笠木: 桧(小節)t=25WP 塗
							下地: GB-R t15. 0							下地: GB-R t12. 5			
2 階 廊 下	㊲	桧フローリング t15(塗装品)		㊲	木製桧 H=45 WP 塗	㊲	ビニルクロス張り		㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	㊲	㊲	ビニルクロス張り		CH: 2, 200	・ カタレール(W)
		下地: 構造用合板t28					下地: GB-R t15. 0							下地: GB-R t12. 5			
洋室1・2	㊲	桧フローリング t15(塗装品)		㊲	木製桧 H=45 WP 塗	㊲	ビニルクロス張り		㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	㊲	㊲	ビニルクロス張り		CH: 2, 400	・ カタレール(W) ・ クラキャップ
		下地: 構造用合板t28					下地: GB-R t15. 0							下地: GB-R t12. 5			
押 入	㊲	珣合板t15. 0		㊲	雑巾摺り 10*15	㊲	ビニルクロス張り		㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	㊲	㊲	ビニルクロス張り		CH: 2, 200	・ 中段D=750 ・ 枕棚D=450
		下地: 構造用合板t28					下地: GB-R t15. 0							下地: GB-R t15. 0			
物 入 1・2	㊲	珣合板t15. 0		㊲	雑巾摺り 10*15	㊲	ビニルクロス張り		㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	㊲	㊲	ビニルクロス張り		CH: 2, 200	・ (物入1) 可動棚 
		下地: 構造用合板t28					下地: GB-R t15. 0							下地: 台所 GB-R t12. 5			
クローゼット1・2	㊲	珣合板t15. 0		㊲	雑巾摺り 10*15	㊲	ビニルクロス張り		㊲	クロス見切 (フケ: C-3T同等)	㊲	㊲	㊲	ビニルクロス張り		CH: 2, 200	・ SUSパイプ φ32 ・ 枕棚D=500 ・ (クローゼット1) 天井点検口450角
		下地: 構造用合板t28					下地: GB-R t15. 0							下地: GB-R t12. 5			

2.火災時の安全 感知警報装置（設備工事）		
種 類	設 置 場 所	種 別
住宅用火災警報器	居間・和室 階段・洋室1・洋室2	光電式煙感仕警器（無線式連動型）
住宅用火災警報器	台所	定温式煙感仕警器（無線式連動型）

3.劣化の軽減		
項 目		内 容
外壁の軸組等の防蟻処理	外壁の構造	外壁通気構造（通気層巾21mm）
	柱の腐蝕・小径	桧 135mm・120mm・105mm
	Qより1m以内の軸材	薬剤処理（木材保存協会認定防腐剤又は2071対策境界認定防腐・防蟻剤を現場塗布）
	床構造用合板	薬剤処理（木材保存協会認定防腐剤又は2071対策境界認定防腐・防蟻剤を現場塗布）
土台の防腐・防蟻		外壁下端の水切を設置（カ-Q通気水切り 有効換気面積83.83cm2/m） 桧
地盤の防蟻		鉄筋エクリートベタ基礎（t150）
浴室・脱衣室の防水	浴室	浴室エポ1416タイプ
	脱衣室	防水上有効な仕上（床：フロア 壁天井：ビニルクロス）
基礎高さ		地盤面から基礎天端まで400mm
床下防湿・換気	防湿方法 換気方法	エクリートスラブt150、ポリエチレンフィルム0.15 基礎パッキング（有効換気面積101.76cm2/m 高さ20mm）
2階小屋裏換気	換気方法	
下屋小屋裏換気	換気方法	

4．維持管理				
項 目		内 容		
専用配管	排水・給水・給湯・ガス管	エクリート内に埋め込まない		
地中埋設管	排水・給水・給湯・ガス管	地中埋設配管上にエクリートを打設しない		
専用配管の清掃処置	全体	清掃口・及び清掃可能なトラップを設置		
排水管の性状等	全体 たわみ・抜け	VP管を使用し内部は平滑とする 接着固定を行い、支持金物を設置		
配管点検口	主要接合部の点検措置	露出配管及び点検口の設置		
基礎貫通部の配管		さや管方式		
部 位	排水管の清掃措置	接合部の点検措置		
		排水 管	給 湯 管	排 水 管
トイレ	排水マシに接続	露出	-	取り外し可能
システムキッチン	清掃可能なトラップ	キッチン外扉	キッチン外扉	キッチン外扉
洗面化粧台	清掃可能なトラップ	キッチン外扉	キッチン外扉	キッチン外扉
洗濯機用水栓・排水	清掃可能なトラップ	露出	露出	点検口
浴室	清掃可能なトラップ	点検口	点検口	点検口
給湯器	-	露出	露出	-

5.温熱環境	
項 目	内 容
地域の区分	6 地域
断熱工法の種別	充填断熱工法

断熱性能の確保	
項 目	内 容
断熱材の施工方法	隙間なく充填
外壁上下端部と天井・屋根の取合い部	気流止め枠材
間仕切り壁と天井・床の取合い部	気流止め枠材

開口部断熱性能		
項 目	内 容	熱貫流率
窓	A1は樹脂製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層16mm	2.17
装飾窓	A1は樹脂製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層16mm	2.00
勝手口戸（台所）	A1は樹脂製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層12mm	2.43
玄関引戸	金属製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層12mm	3.22

6.空気環境	
項 目	内 容
使用建材	製材等、特定建材、その他の建材
居室の内装の仕上げ材	全てF☆☆☆☆の建材を使用
天井裏の下地材等	全てF☆☆☆☆の建材を使用
換気方式	第3種 給気口+排気機
風量	換気階数 0.5回/h 以上の換気量
圧力	機外静圧≧必要静圧
居室出入口の通気措置	換気ルトとなるドアはアダプカト（10mm以上） 引き戸・スライド戸・折れ戸

8.音環境	
項 目	内 容
開口部遮音性能	居室の外壁に設ける開口部は全てT-1とする

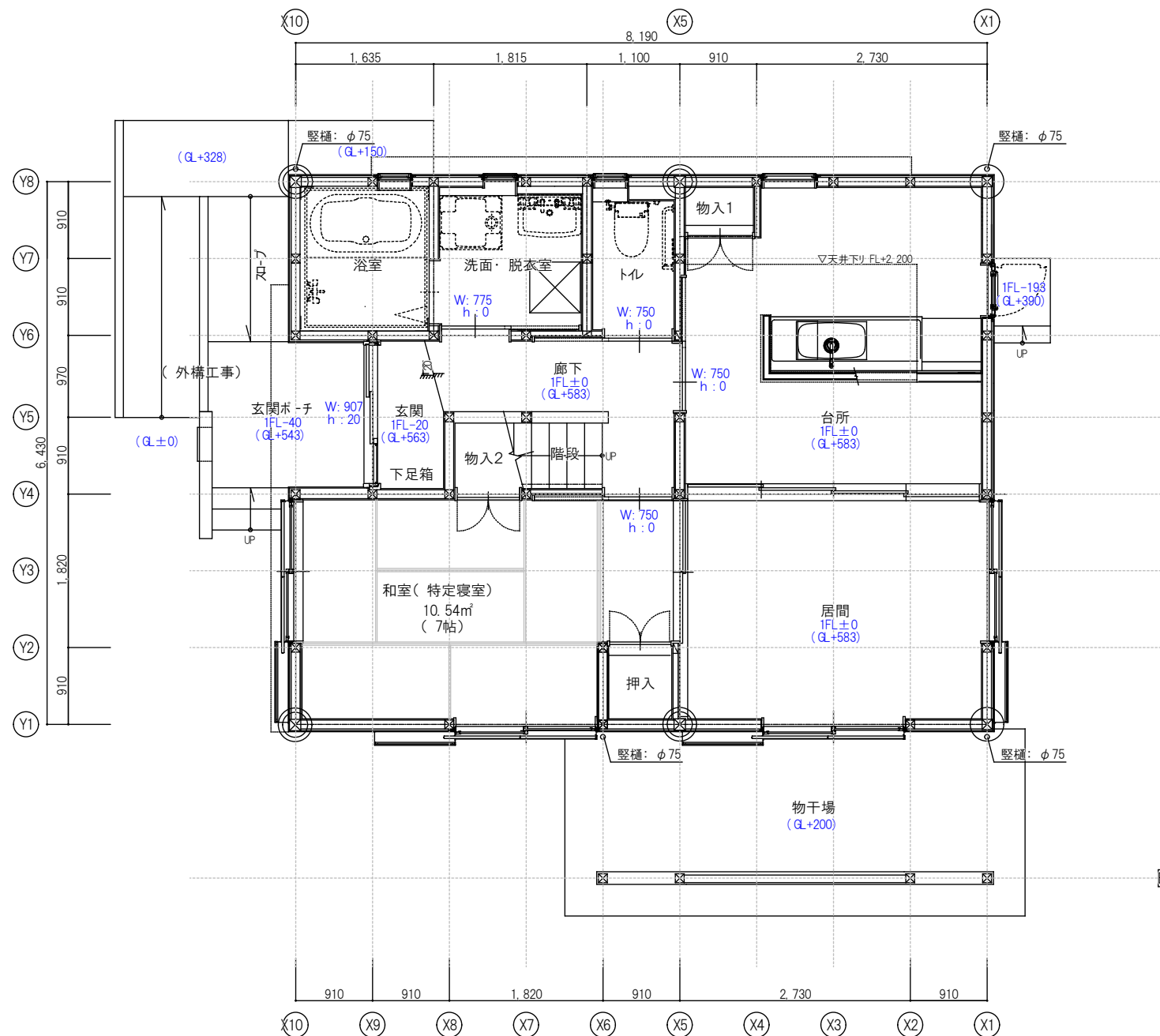
9.高齢者等配慮			
項 目	内 容	項 目	内 容
特定寝室	特定寝室：1階和室（内法面積：10.54㎡）	手摺	階段手摺：片側手摺
特定寝室と同一階の室	玄関 台所 居間 トイレ 洗面・脱衣室 浴室		踏み面先端からの高さ：720mm
段差	玄関出入口 くつずりと玄関外側：20mm		便所手摺：有り
	玄関出入口 くつずりと玄関土間：0mm		浴室手摺：有り（浴室出入口・浴槽出入口）
	玄関上がり かまち：20mm		玄関手摺：有り
	浴室出入口：20mm以下		脱衣室手摺：設置可能
階段	けあげ（R）：198.7mm	転倒防止手摺	バルコニー腰壁高さ：900mm,1100mm 手摺高さ：1200mm,1300mm
	踏み面（T）：210mm		2階窓台高さ：800mm以上
	勾配（R/T）：0.946		2階廊下腰壁高さ
	勾配（R×2+T）：607.4		
	けこみ寸法：15mm けこみ板：有り		
	階段の型式：直階段		
	最上段の通路への食い込み：無し		
	最下段の通路への突出：無し		
	すべり止め：有り（踏み面と同一面）		
	段鼻の出：有り		

断熱材の種類と厚さ			
部 位	材 料	厚 さ	備 考
屋根	該当なし		
天井	高性能グラスウール 密度16kg/㎡	105mm	
壁	高性能グラスウール 密度16kg/㎡	105mm	
床（外気に接する部分）	グラスウール 密度32kg/㎡	80mm	
床（その他の部分）	グラスウール 密度32kg/㎡	80mm	
土間床等の外周部	該当なし ※UB床下部は、断熱構造化とする		

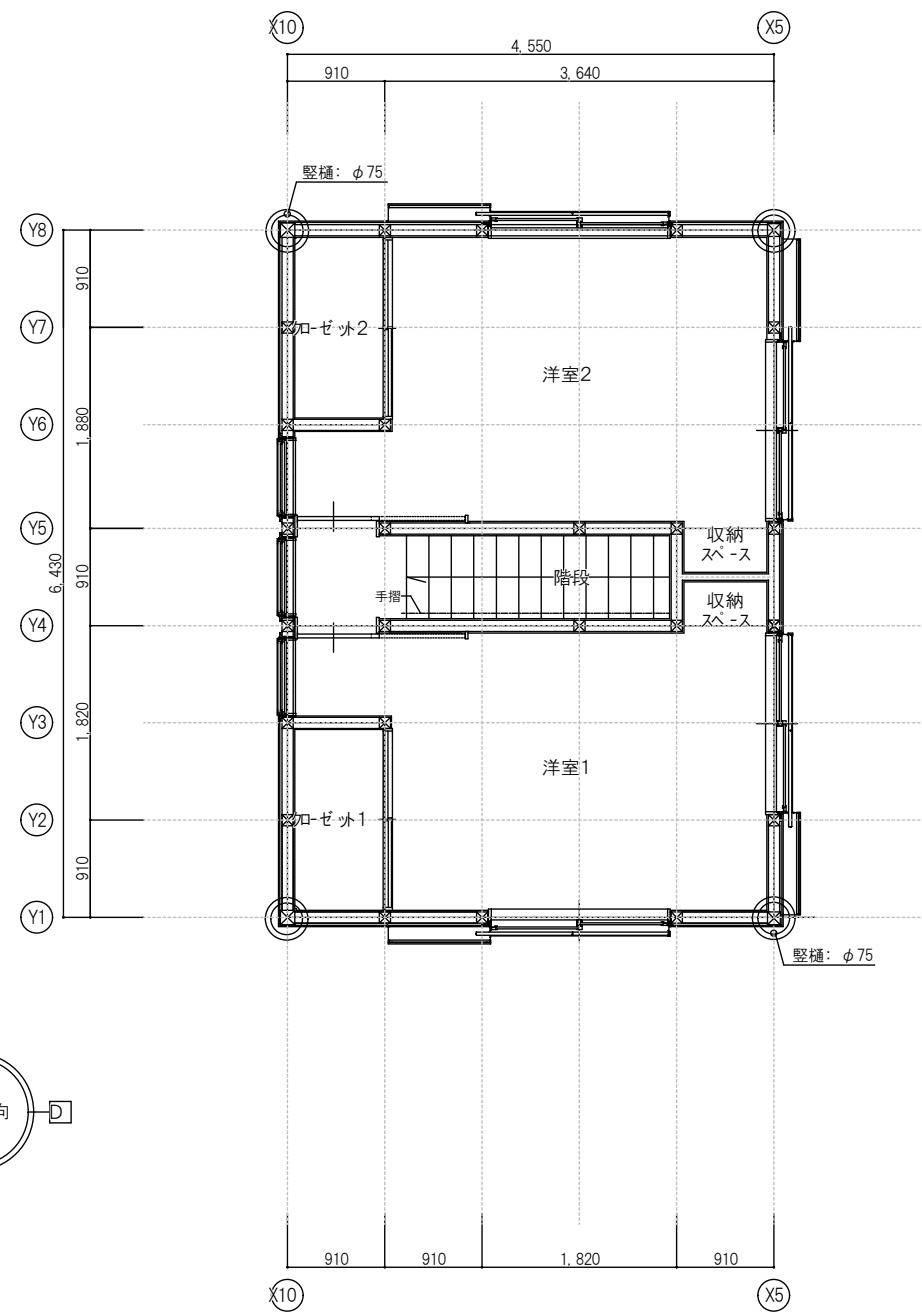
内部結露防止対策	
項 目	内 容
防湿層の設置	防湿フィルム JI SA6930 A種 厚0.15
通気層の設置	外壁通気構造
	天井小屋裏換気
	床下に換気口
防風層の設置	透湿防水シート JI SA6111 厚0.16

日射遮蔽	
項 目	内 容
開口部の日射侵入対策	LOWE複層ガラス（日射遮蔽型）
	日射取得率：

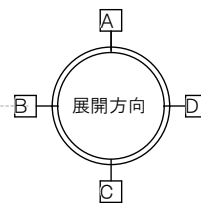
局所換気対策		
項 目	機 械 換 気	換 気 窓
台所	有	有
浴室	有	有
トイレ	有	有



1階 平面図 S: 1/50



2階 平面図 S: 1/50

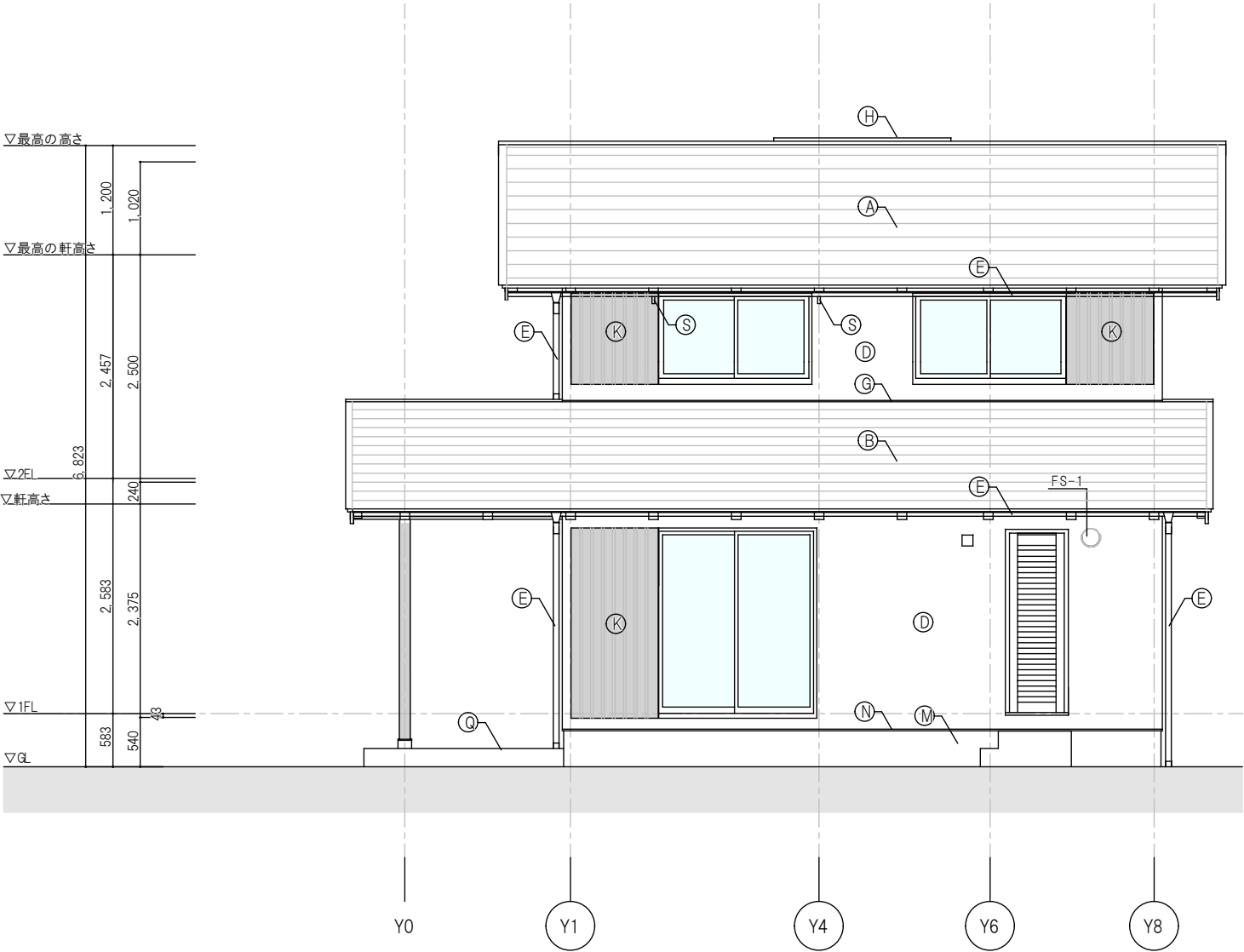


凡 例		面 積 表			
⊗	通し 柱 135*135	⊗	床下点検口	1階 床面積	50.950㎡
⊗	通し 柱 120*120	W: 000 h: 0	出入口有効幅員 出入口段差	2階 床面積	29.257㎡
⊗	管柱 105*105			延床面積	80.207㎡

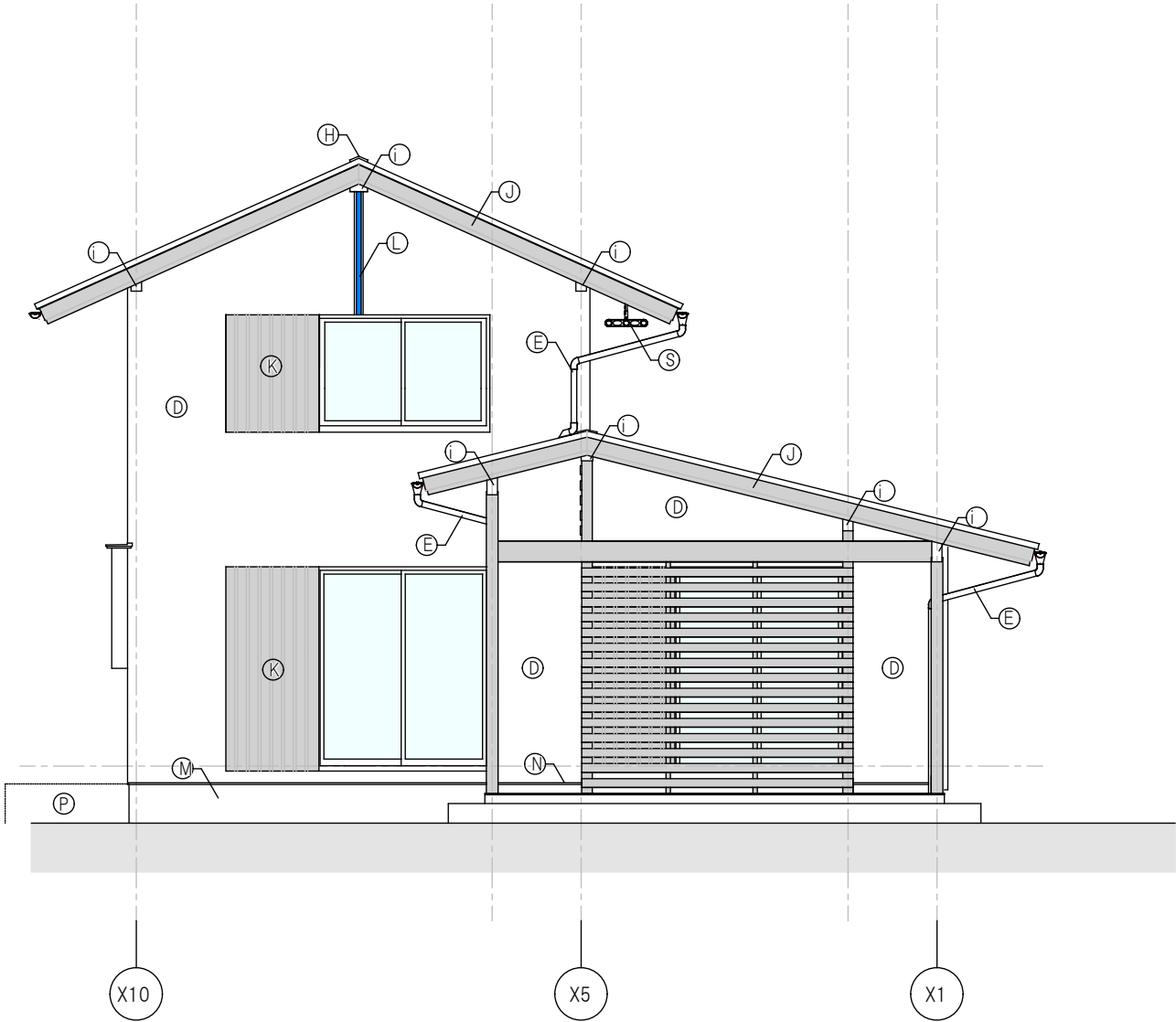
左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)

2階建てタイプ		平面図	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE R4. 03.24	A - 14
		SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区		株式会社 上田 建築 事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	

外 部 仕 上 表									
屋 根 A (4.5寸勾配)	A	化粧スレート葺き(30分準耐火仕様) アスファルトフリング 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)	通 気	G	小屋裏換気役物(既製品) ※その他雨押え: カ-ガルバ-コ-ル鋼板t0.4(既製品)	物 干 場	Q	床 モ-ラル金鍍押え	
				H	棟換気役物(既製品) ※その他棟包み: カ-ガルバ-コ-ル鋼板t0.35(既製品)	2 階 手 摺	R	杉t45 巾120(防腐処理材) WP 塗	
屋 根 B (2.5寸勾配)	B	化粧スレート葺き(30分準耐火仕様) アスファルトフリング 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)	桁 鼻	I	カ-GLt0.35~0.4	物 干 し 金 物	S	7/16自在物干金物※勾配天井仕様(既製品)	
			破 風 板	J	杉t35 巾180(防腐処理材) WP 塗				
軒 天	C	化粧野地板 杉t15雁い実加工、構造用合板 t15捨張	鏡 板	K	杉t15縦羽目 働き巾W05 目地押さえt18*30 WP 塗	備 考			
外 壁	D	窯業系サイディング 張り t16.0(45分準耐火仕様) 通気胴縁21*45@455、透湿防水シート 張り	堅 目 地	L	杉90*60(防腐処理材) WP 塗 *底目地 カ-GLt0.35~0.4	【 塗装色: 参考品番】 外部WP 塗: 黒(焼杉風) モ-ル値: 3.6RP 2.3 / 0.0 内部WP 塗: グ- 木-値:			
			根 廻 り	M	基礎コ-グ-ト打ち 放し(補修共)				
樋	E	カ-ガルバ-コ-ル鋼板 半丸120程度・ 樋樋φ75	水 切	N	土台水切 カ-GLt0.35(既製品)				
小 庇 (D=240)	F	ガルバ-コ-ル鋼板t0.35~0.4平葺き 板底: 杉(防腐処理材) t35 WP 塗	ポ ー チ	O	床 磁器質タイル50角 モ-ラル下地				
			外 部 階 段・スロ-プ	P	床 モ-ラル金鍍押え *外構図参照				

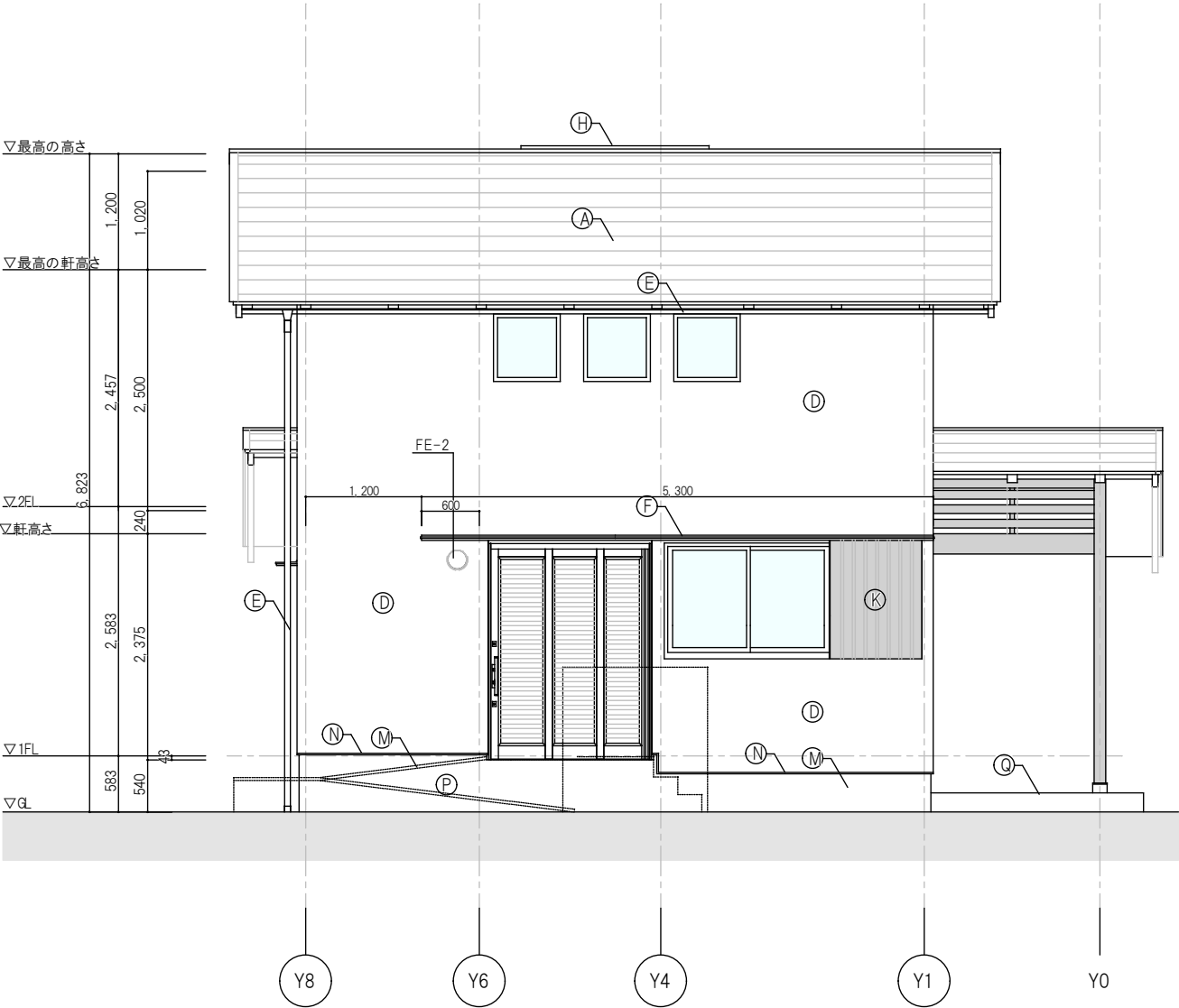


(X1)-立面図 S: 1/50

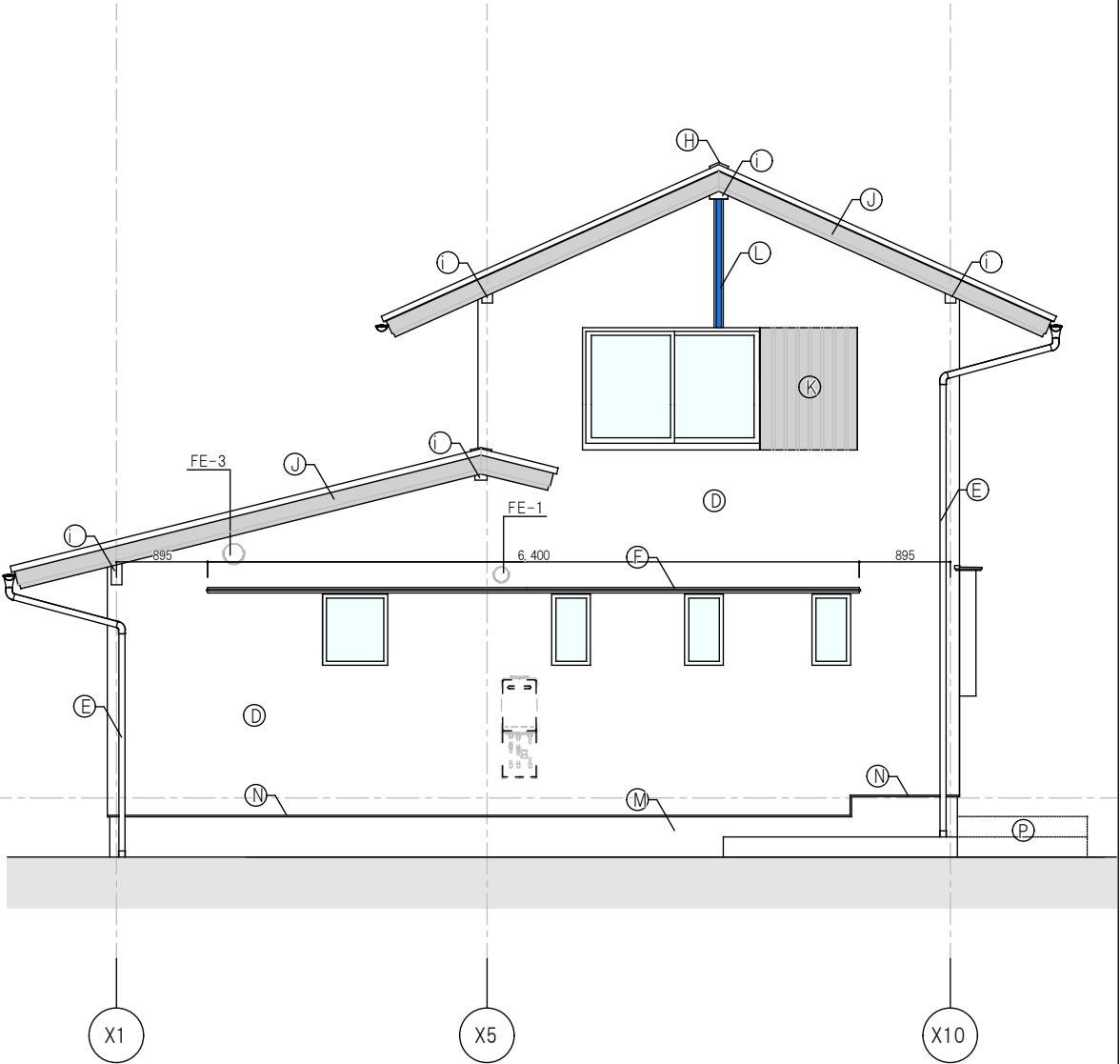


(Y1)-立面図 S: 1/50

外 部 仕 上 表									
屋 根 A (4.5寸勾配)	㊶	化粧スレート葺き(30分準耐火仕様) アスファルトフイグ 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)	通 気	㊸	小屋裏換気役物(既製品) ※その他雨押え: カガルバ コル鋼板t0.4(既製品)	物 干 場	㊹	床 モルタル金鍍押え	
				㊺	棟換気役物(既製品) ※その他棟包み: カガルバ コル鋼板t0.35(既製品)	2 階 手 摺	㊻	杉t45 巾120(防腐処理材) WP 塗	
屋 根 B (2.5寸勾配)	㊷	化粧スレート葺き(30分準耐火仕様) アスファルトフイグ 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)	桁 鼻	㊼	カガルt0.35~0.4	物 干 し 金 物	㊽	7に自在物干金物※勾配天井仕様(既製品)	
			破 風 板	㊾	杉t35 巾180(防腐処理材) WP 塗				
軒 天	㊸	化粧野地板 杉t15隠い実加工、構造用合板 t15捨張	鏡 板	㊿	杉t15縦羽目 働き巾M05 目地押さえt18*30 WP 塗	備 考			
外 壁	㊹	窯業系サイディング 張り t16.0(45分準耐火仕様) 通気胴縁21*45@455、透湿防水シート 張り	堅 目 地	㊽	杉90*60(防腐処理材) WP 塗 *底目地 カガルt0.35~0.4	【 塗装色:参考品番】 外部WP 塗: 黒(焼杉風) マル値: 3.6PP 2.3 / 0.0 内部WP 塗: クリア マル値:			
			根 廻 り	㊾	基礎コンクリート打ち放し(補修共)				
樋	㊺	カガルバ コル鋼板 半丸120程度 堅樋φ75	水 切	㊿	土台水切 カガルt0.35(既製品)				
小 庇 (D=240)	㊻	ガルバ コル鋼板t0.35~0.4平葺き 板庇: 杉(防腐処理材) t35 WP 塗	ポ ー チ	㊽	床 磁器質タイル150角 マル下地				
			外 部 階 段・スロ ー プ	㊾	床 モルタル金鍍押え *外構図参照				



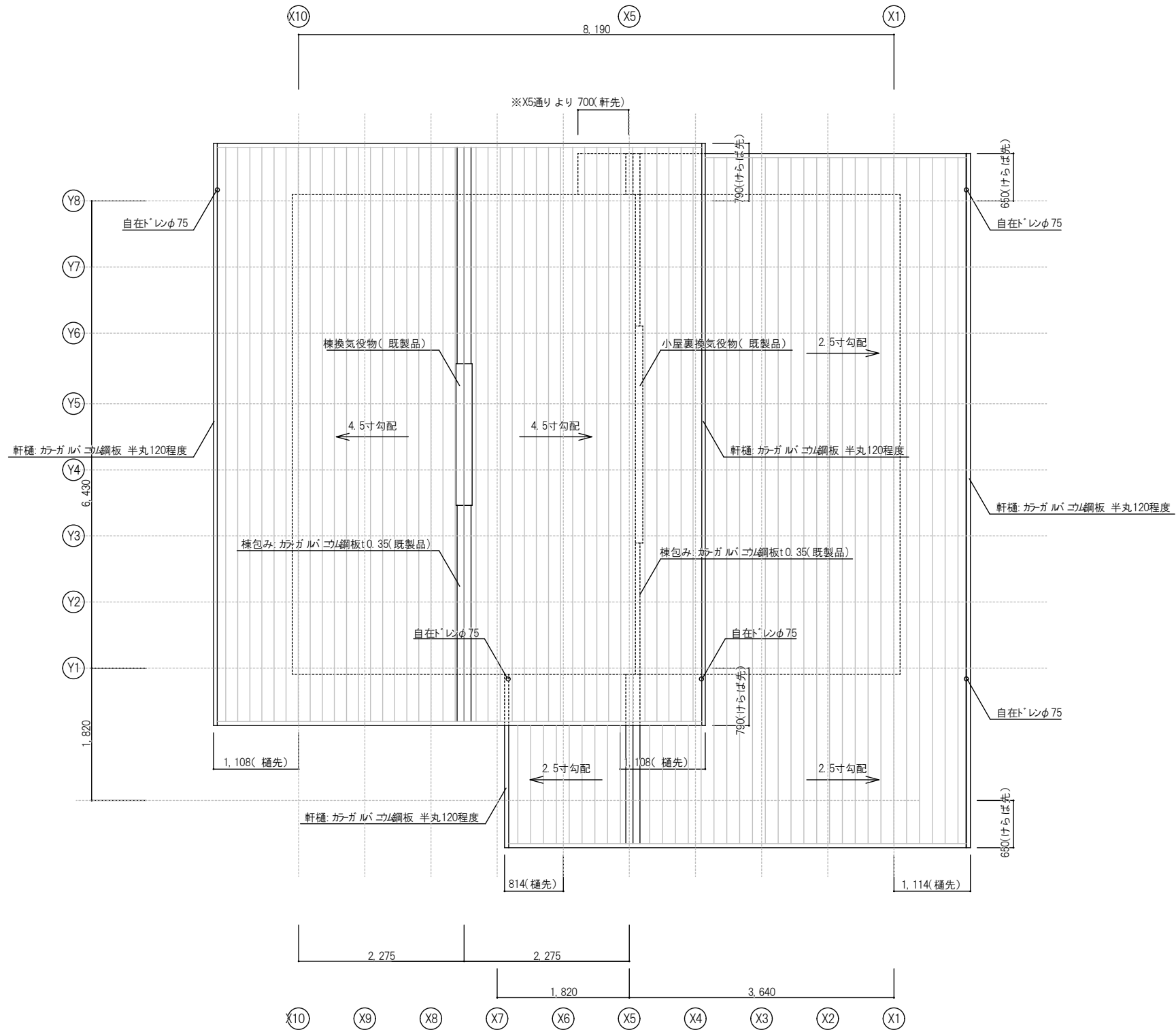
X10-立面図 S: 1/50



X8-立面図 S: 1/50

左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)

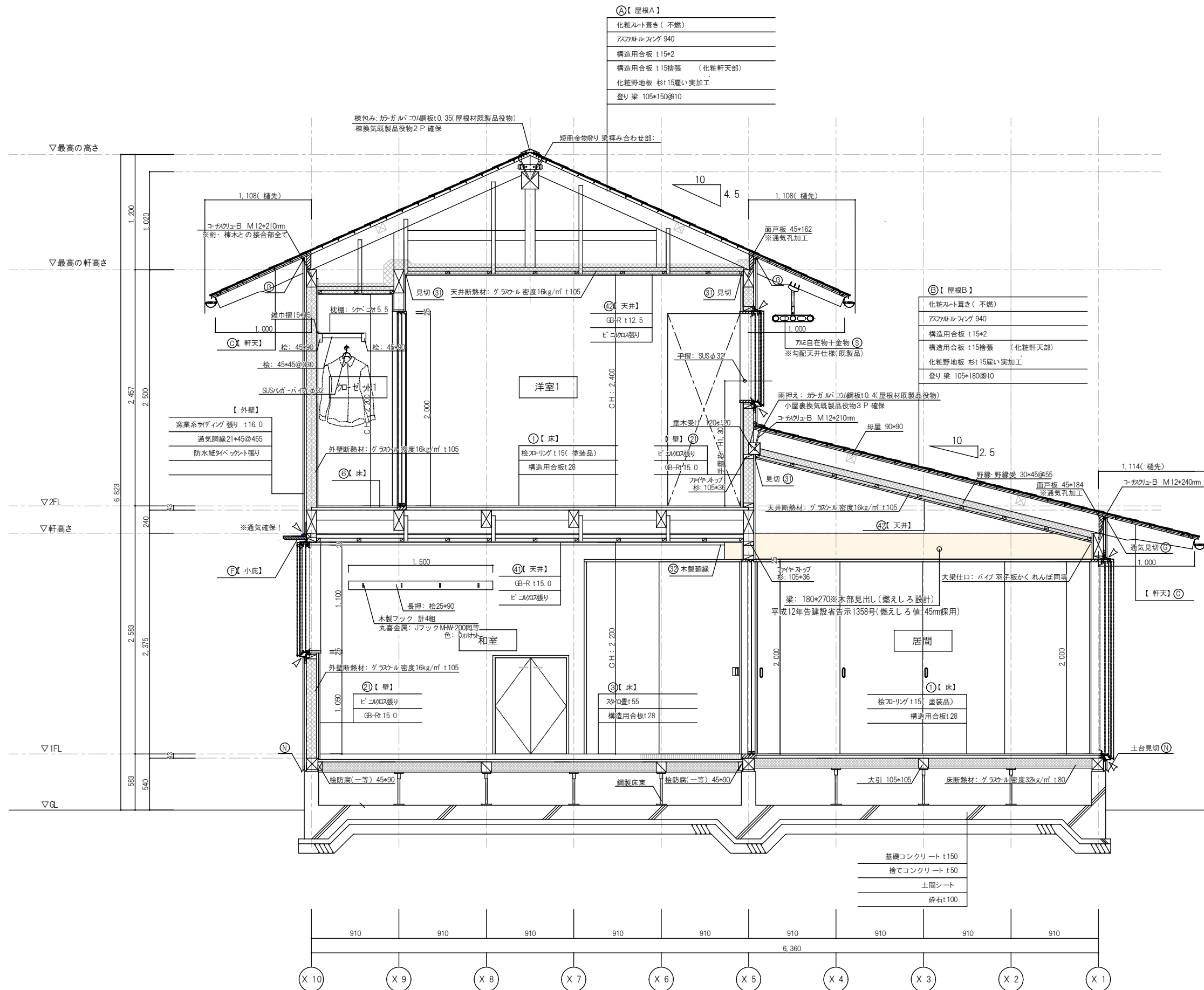
2階建てタイプ	立面図-2	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE R4. 03 24	A - 16
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区		株式会社 上田 建築 事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			



屋根伏図 S: 1/50

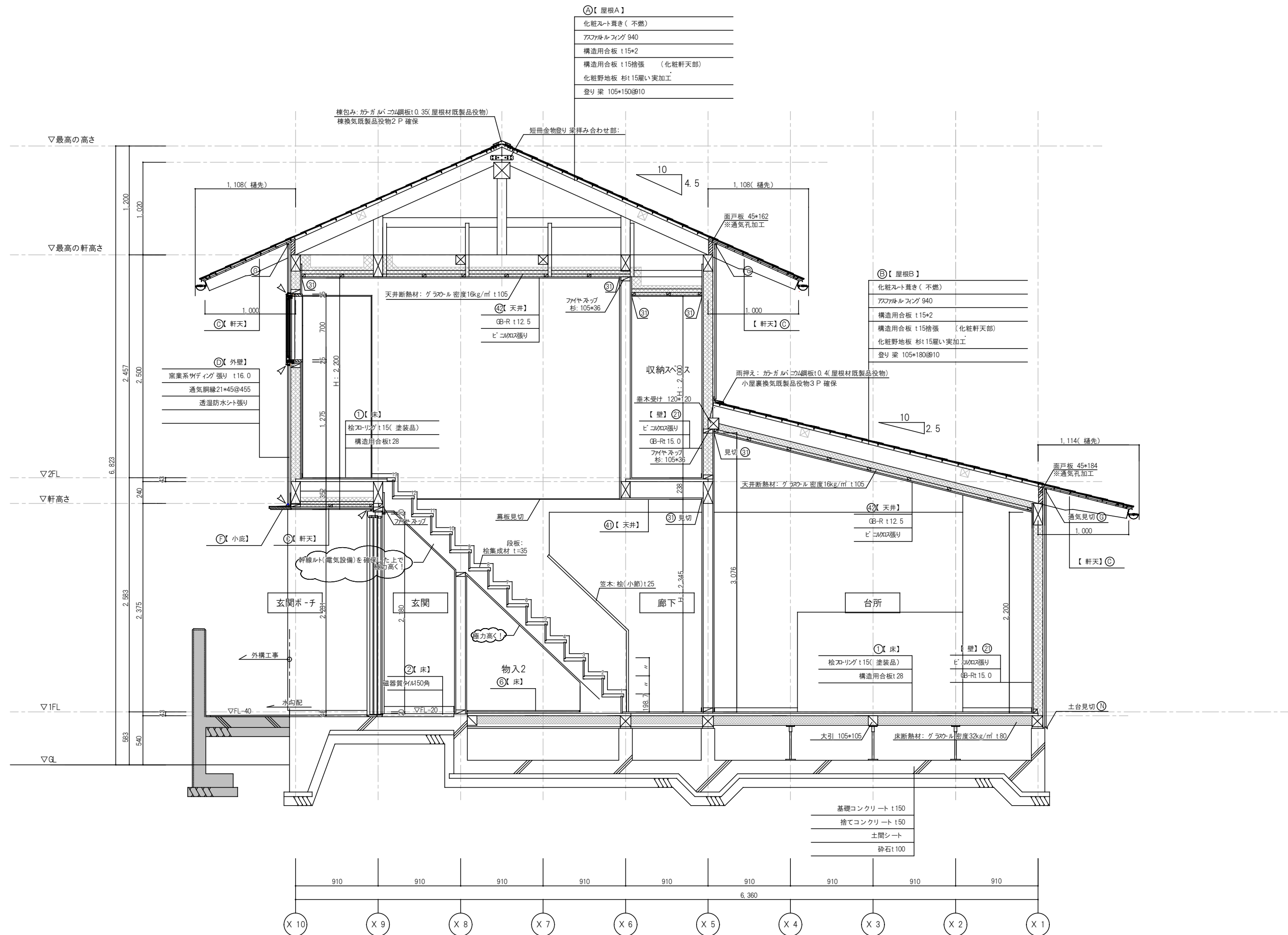
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

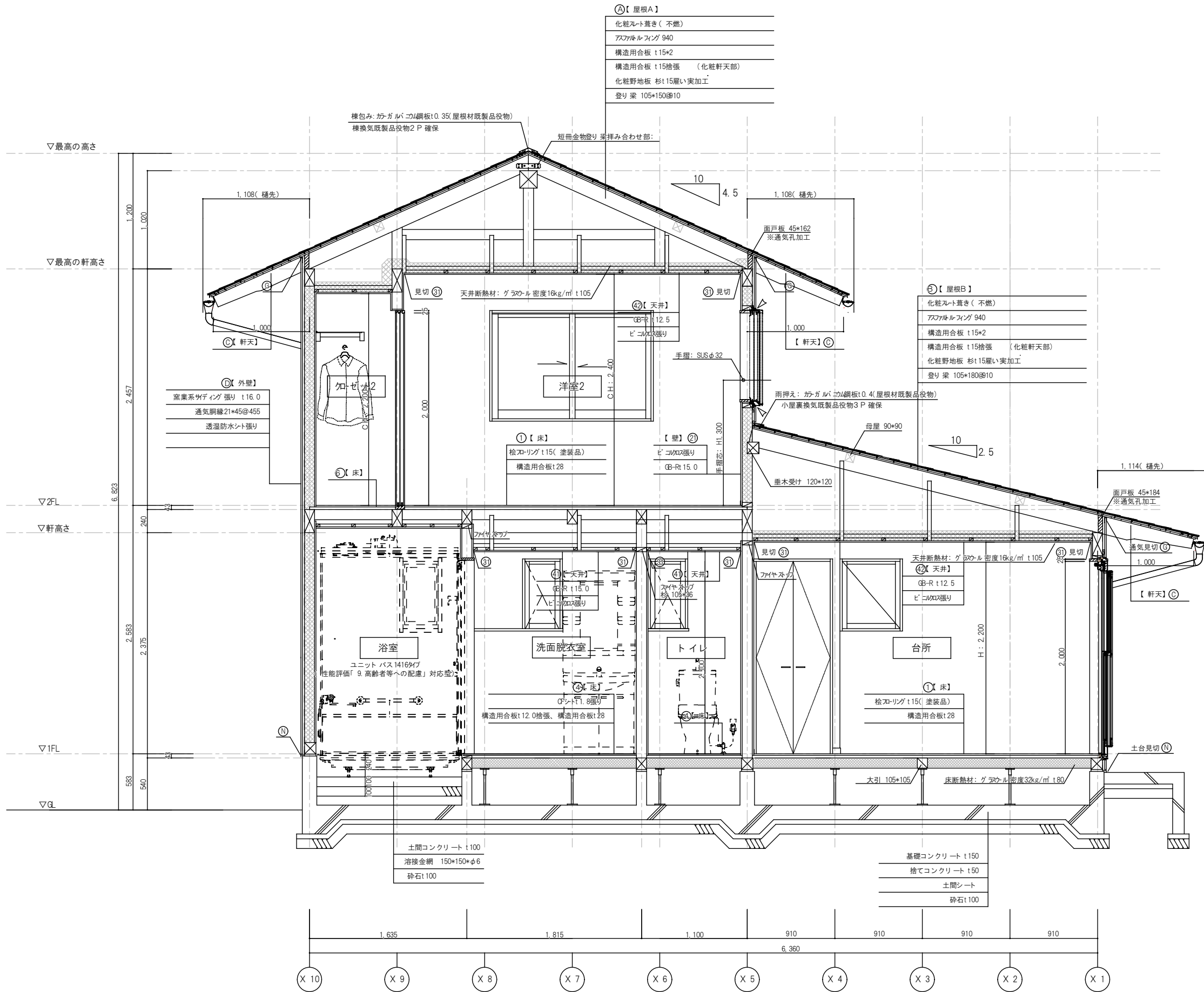
2階建てタイプ	屋根伏図	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE R4. 03.24	A - 17
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区		株式会社 上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			



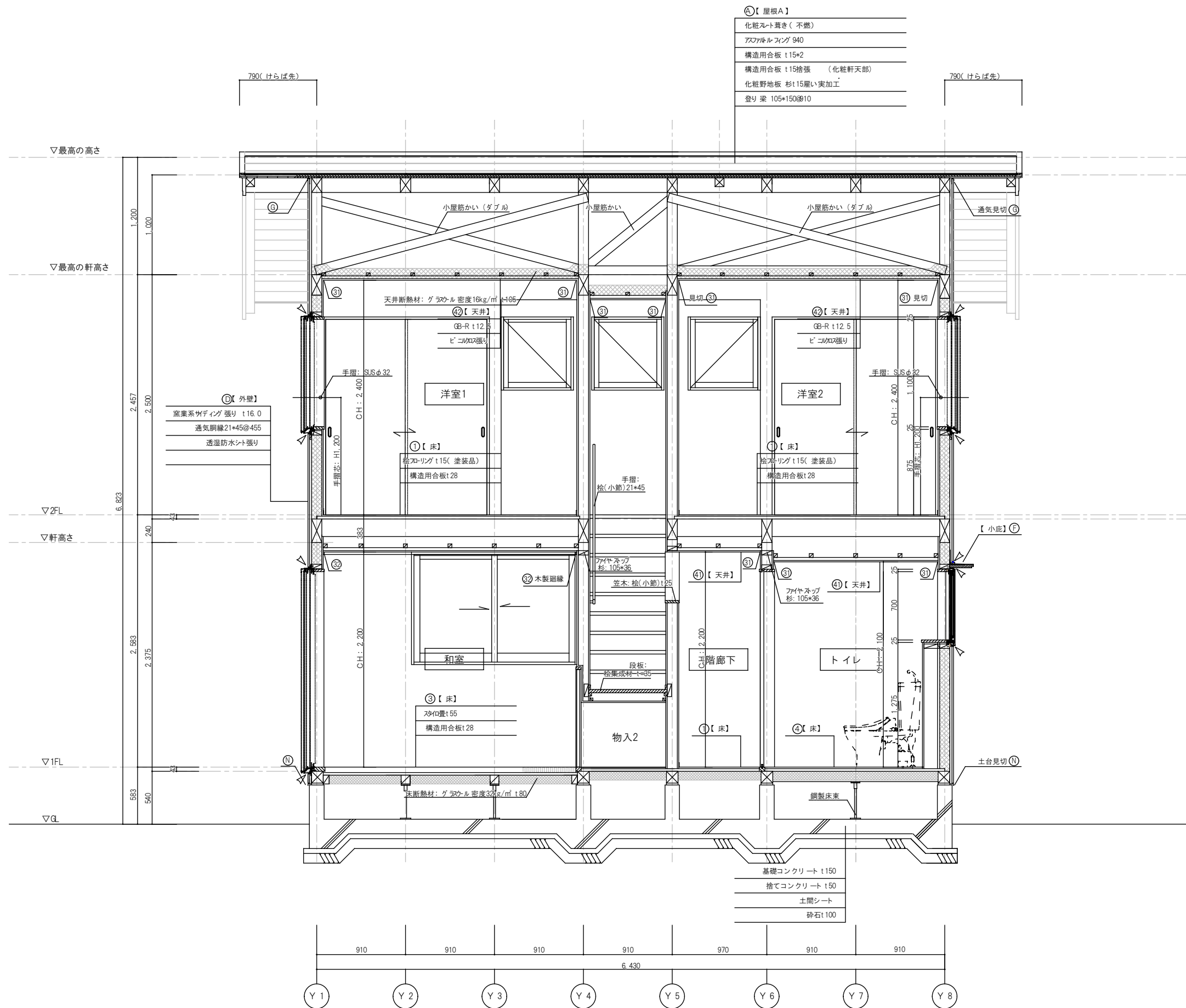
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

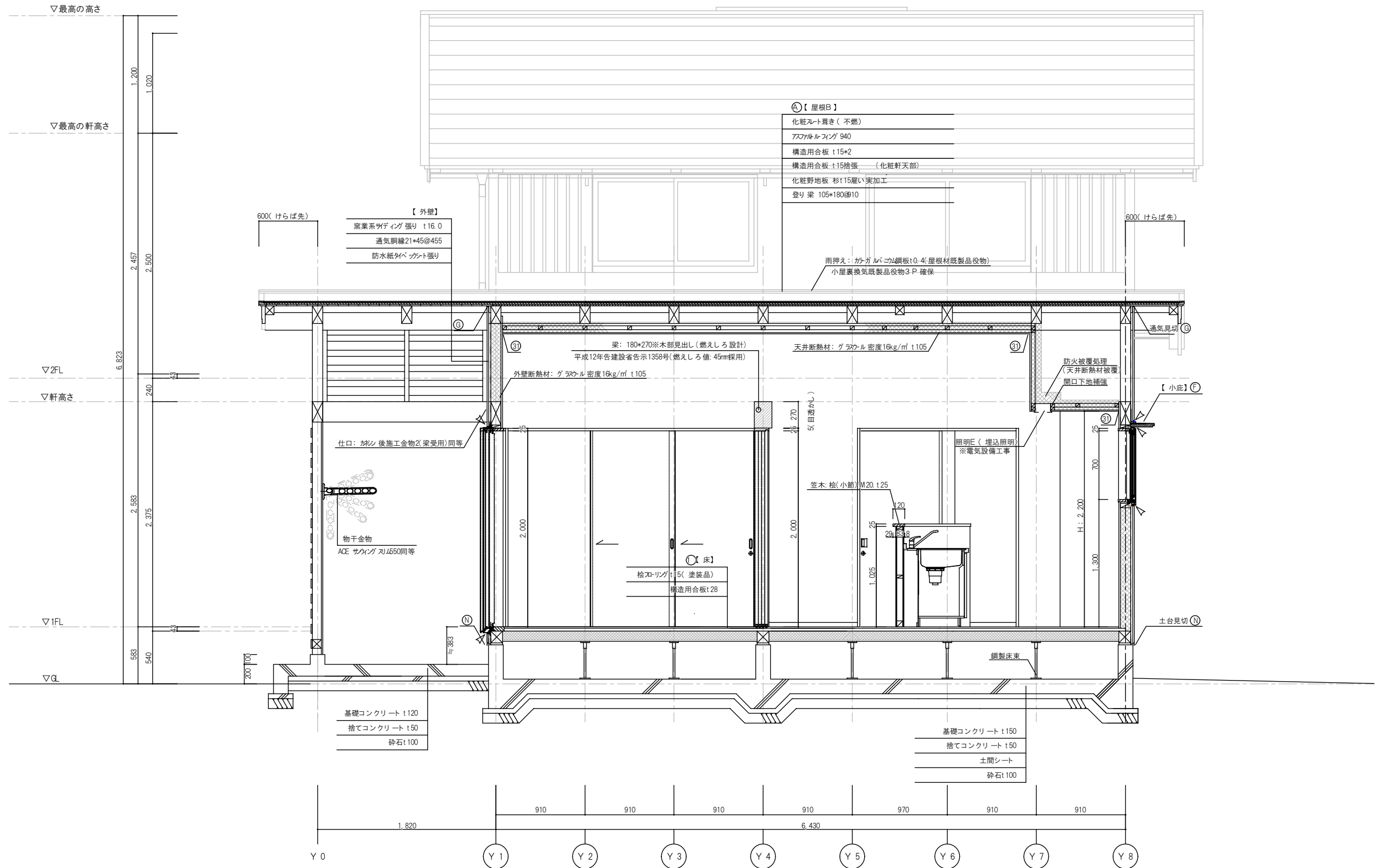
2階建てタイプ	矩計図-1	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE R4 03 24	A - 18
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区		株式会社 上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			





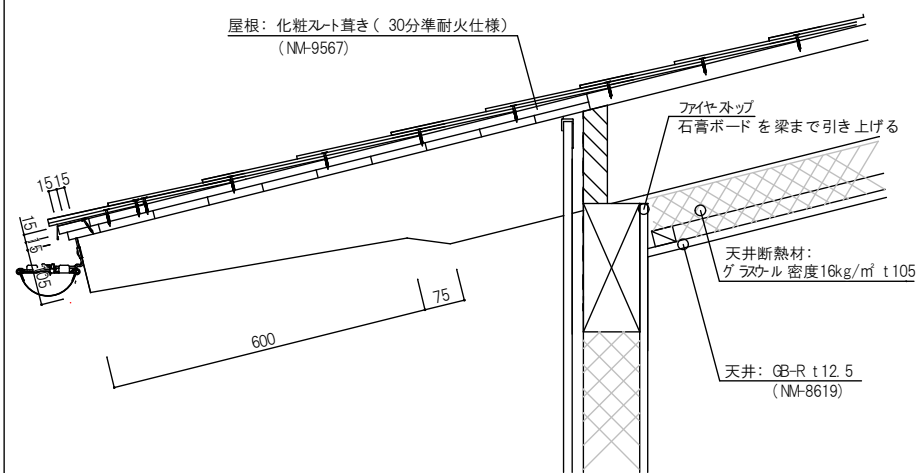
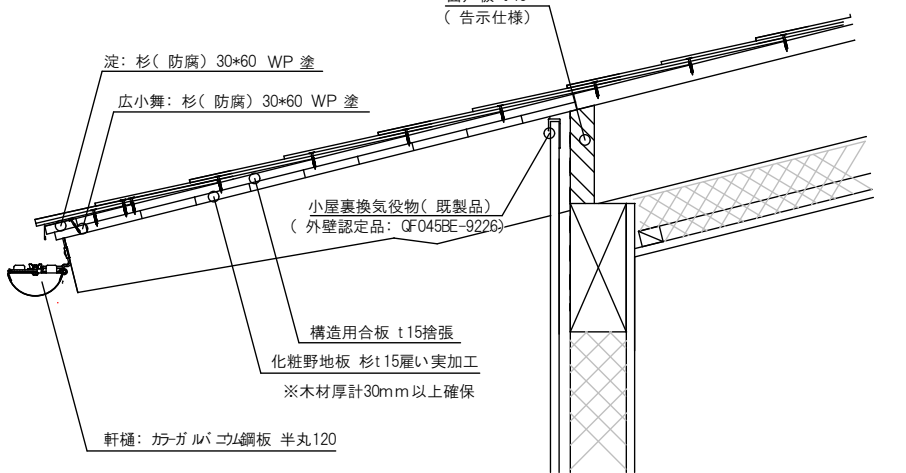
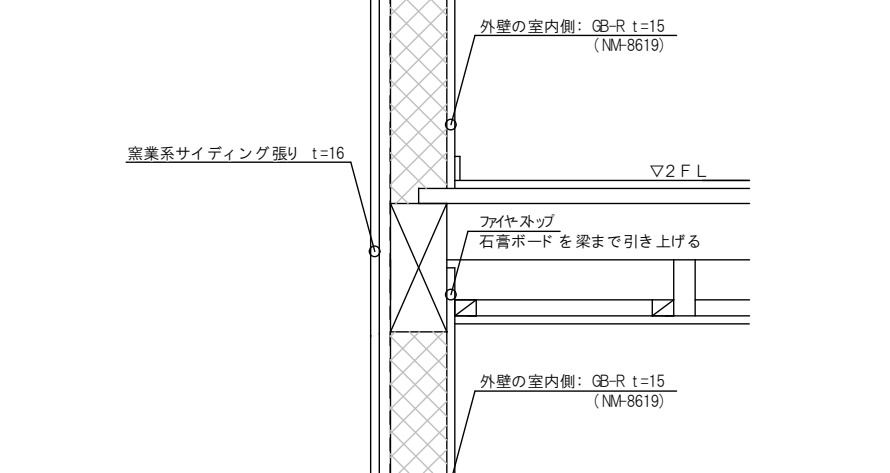
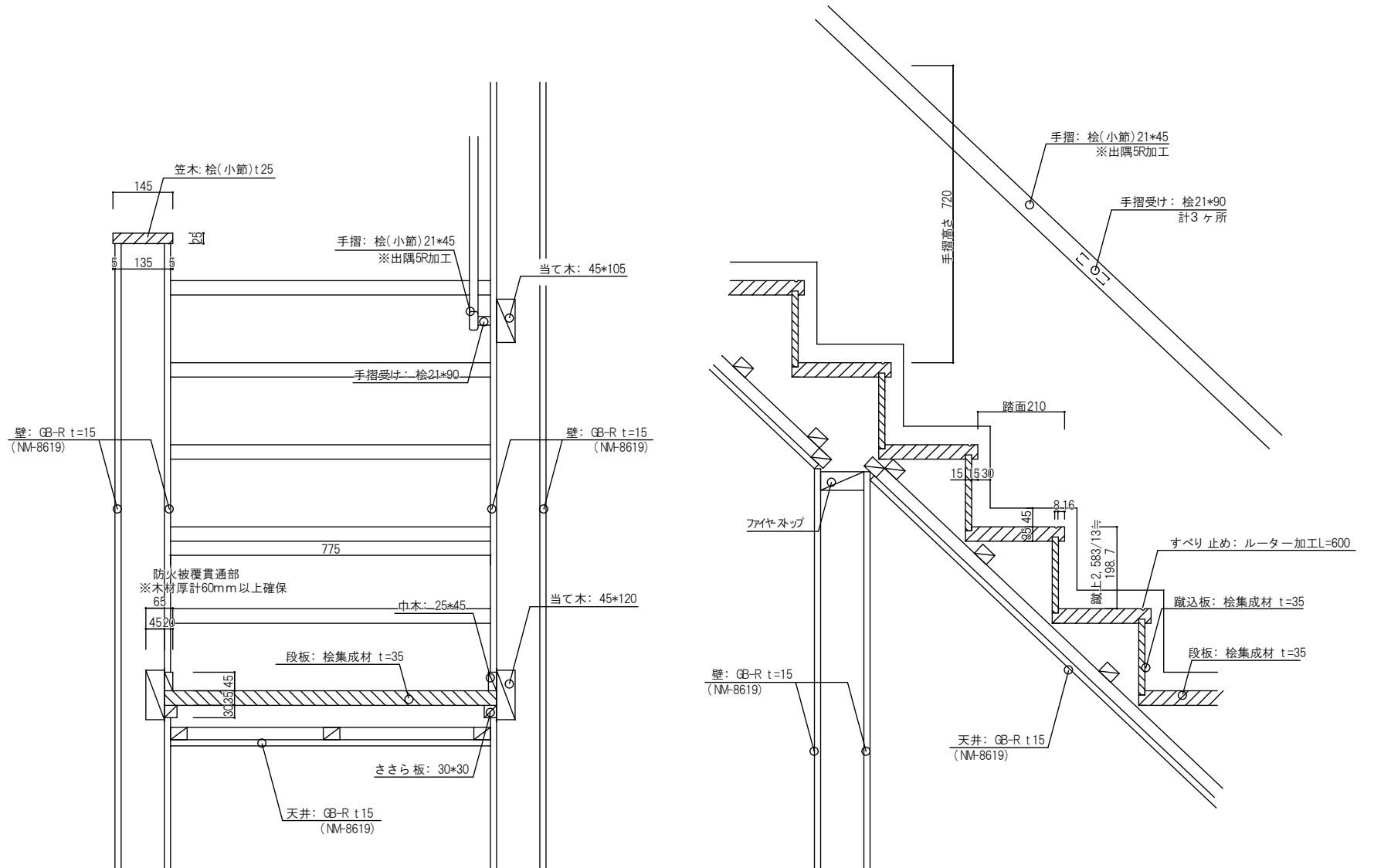
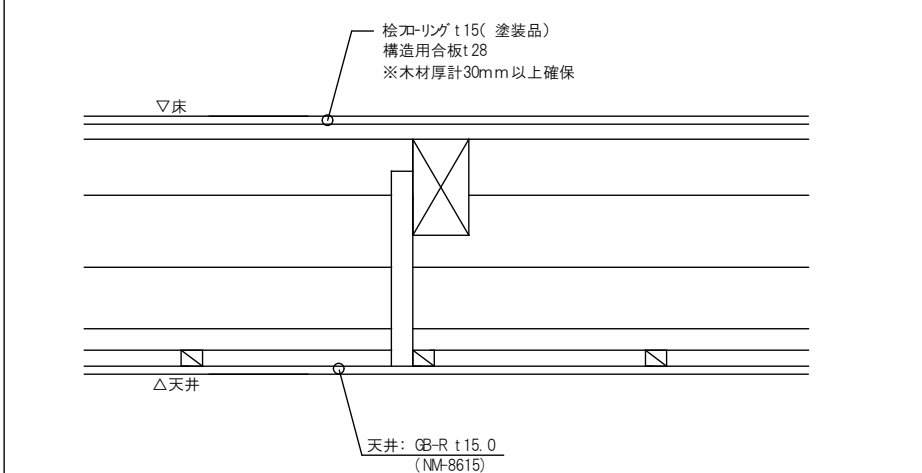
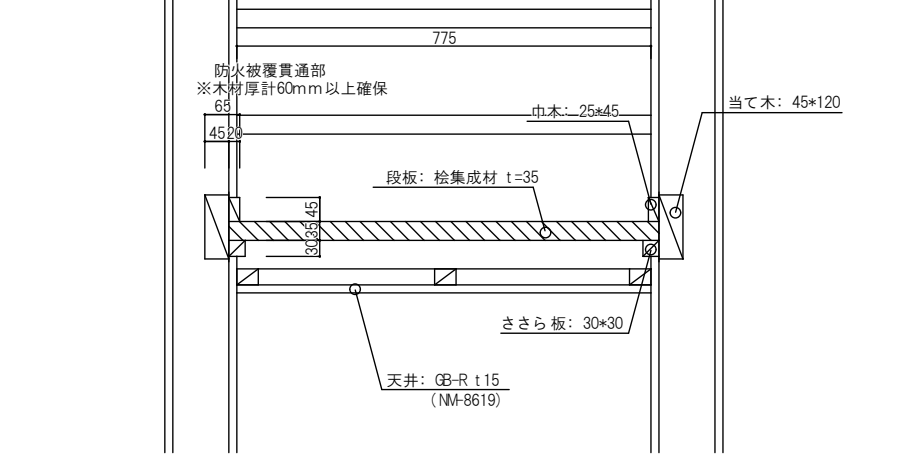
左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)

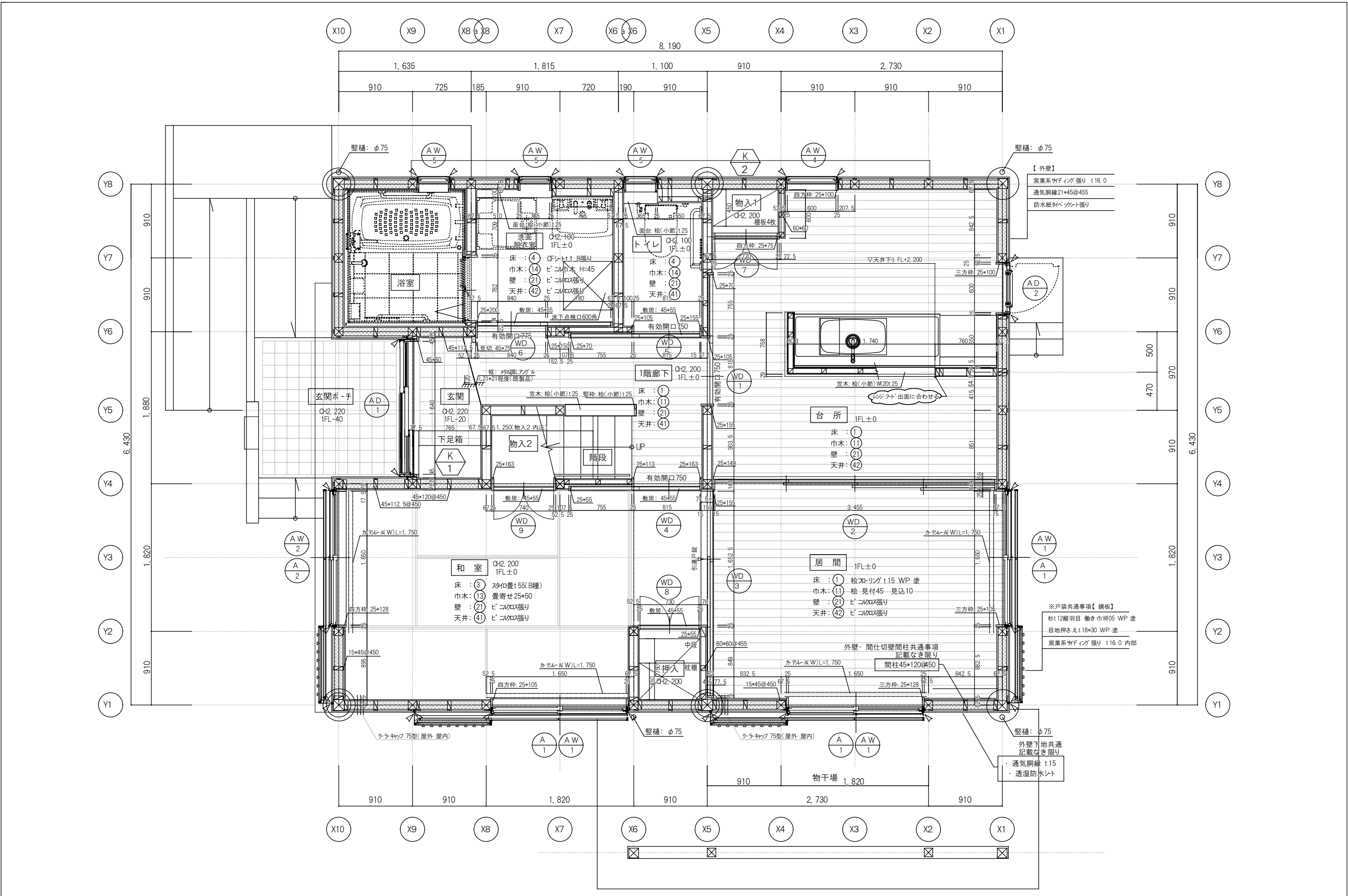




左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)

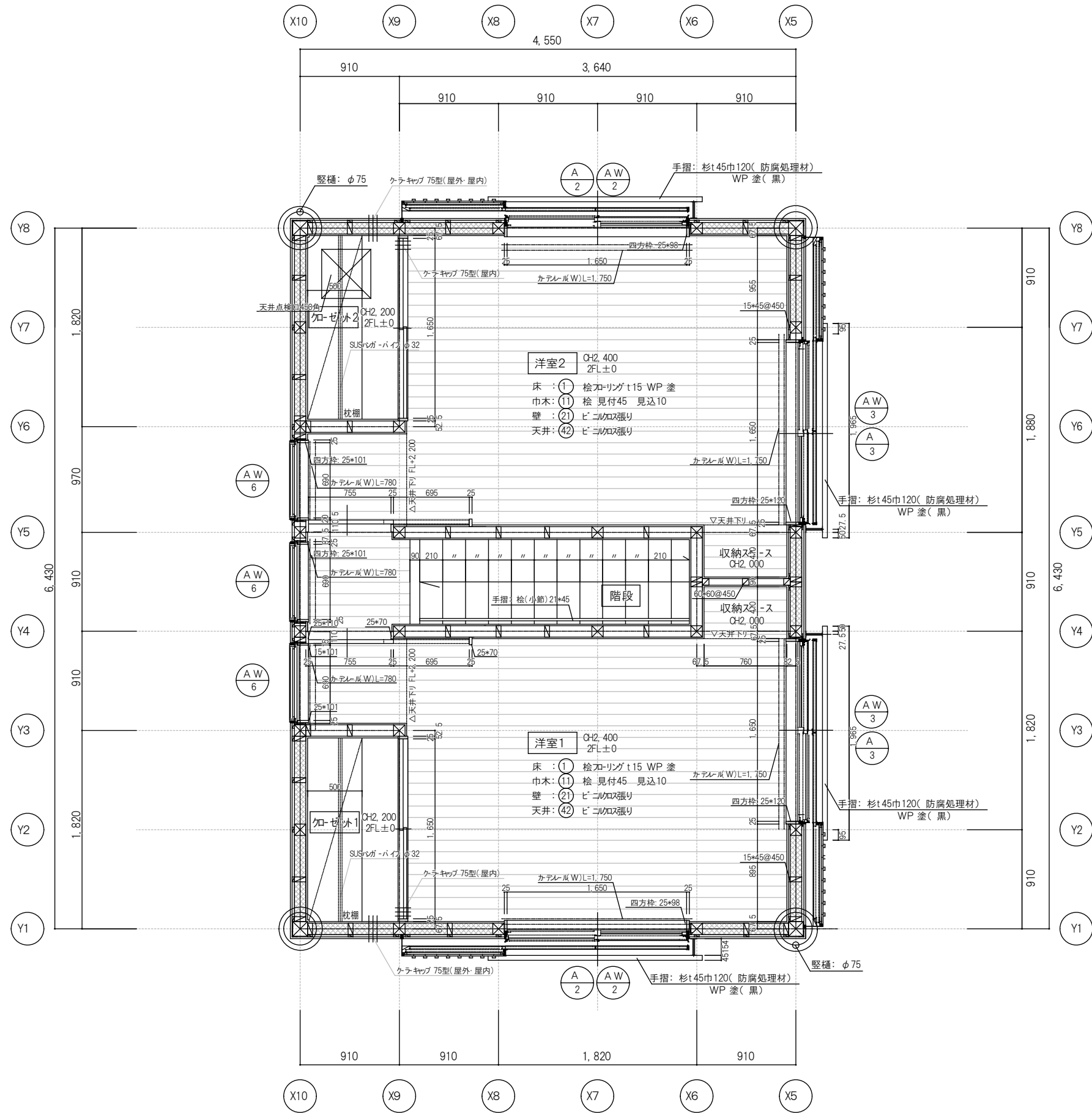
2階建てタイプ	矩計図-5	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE R4. 03. 22	A - 22
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区		株式会社 上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			

部 位		屋 根		軒 裏		外 壁	
認定番号又は告示		30分準耐火	告示第1358号 第5第1号-ロ (1)	45分準耐火 告示第1358号、 H16告示789号 準耐火構造45分 仕様(ホ)		45分準耐火 QF045BE-9226	
形状・寸法							
部 位		階 段 (木 造)					
認定番号又は告示		30分準耐火 告示第1358号 第6 号三号-ロ					
形状・寸法							
部 位		床 (1階除く)					
認定番号又は告示		45分準耐火	告示第1358号 第3第三号-イ (3) 、 (2)				
形状・寸法							
2階建てタイプ		準耐火リスト・詳細図		SCALE A2 1:10 A3 1:14		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	
		SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区		株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所		DATE . . . DATE R4 03 22	
				SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		CHECKED BY DRAWN BY A - 23 SHEET NO.	



左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)

2階建てタイプ		平面詳細図-1		SCALE	A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		DATE	DATE	A - 24
注1) 内部造作材は特記なき場合は桧(無節)WP 塗とする		SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区		株式会社 上田建築事務所		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		CHECKED BY	DRAWN BY	



2階 平面詳細図 S: 1/30

左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)

2階建てタイプ

注1) 内部造作材は特記なき場合は桧(無節)WP 塗とする

平面詳細図-2

SCALE A2 1:30 A3 1:42

SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株式会社 上田建築事務所

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

DATE

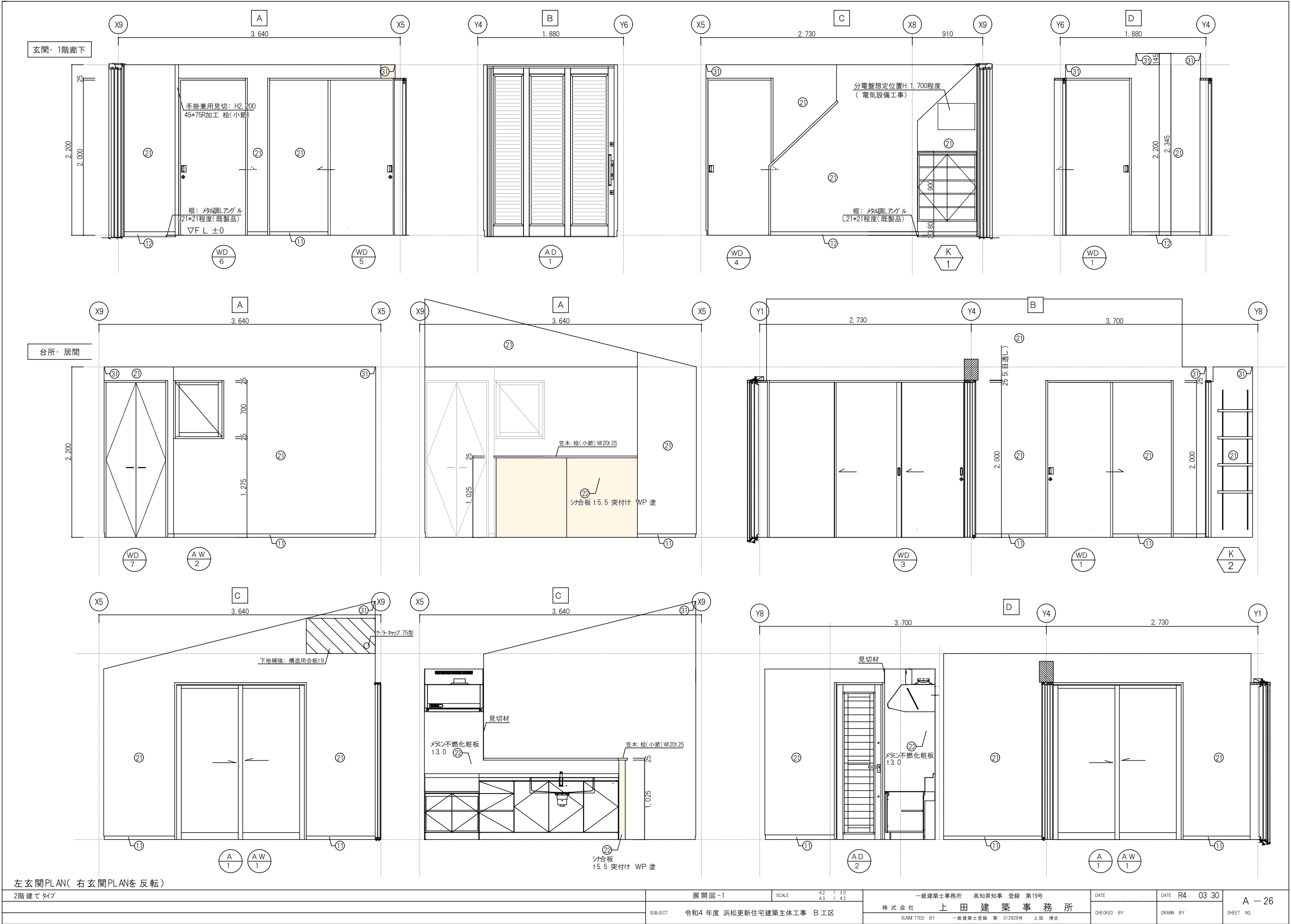
DATE

CHECKED BY

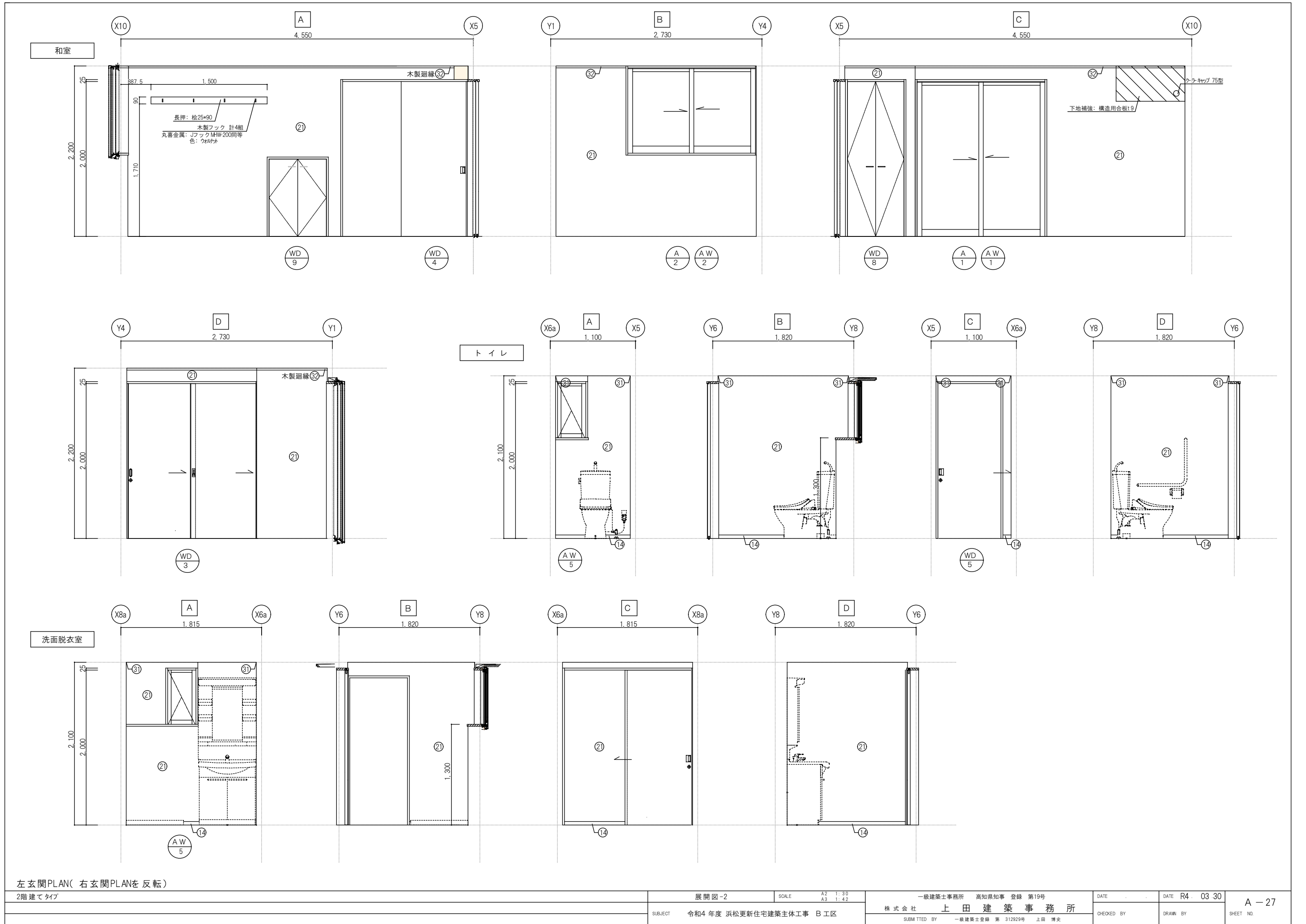
DRAWN BY

A - 25

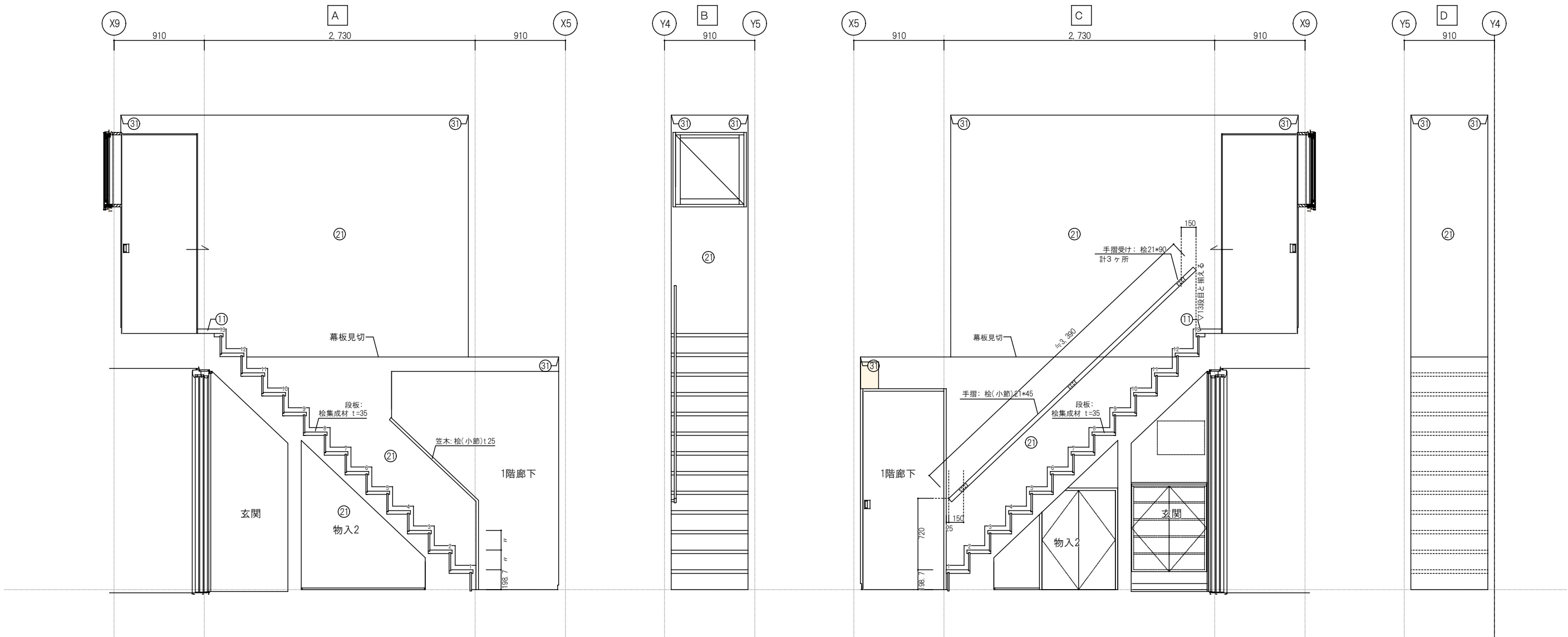
SHEET NO.



左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)



階段



左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

2階建てタイプ

展開図-3

SCALE A2 1:30 A3 1:42

SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 B工区

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株式会社 上田建築事務所

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

DATE

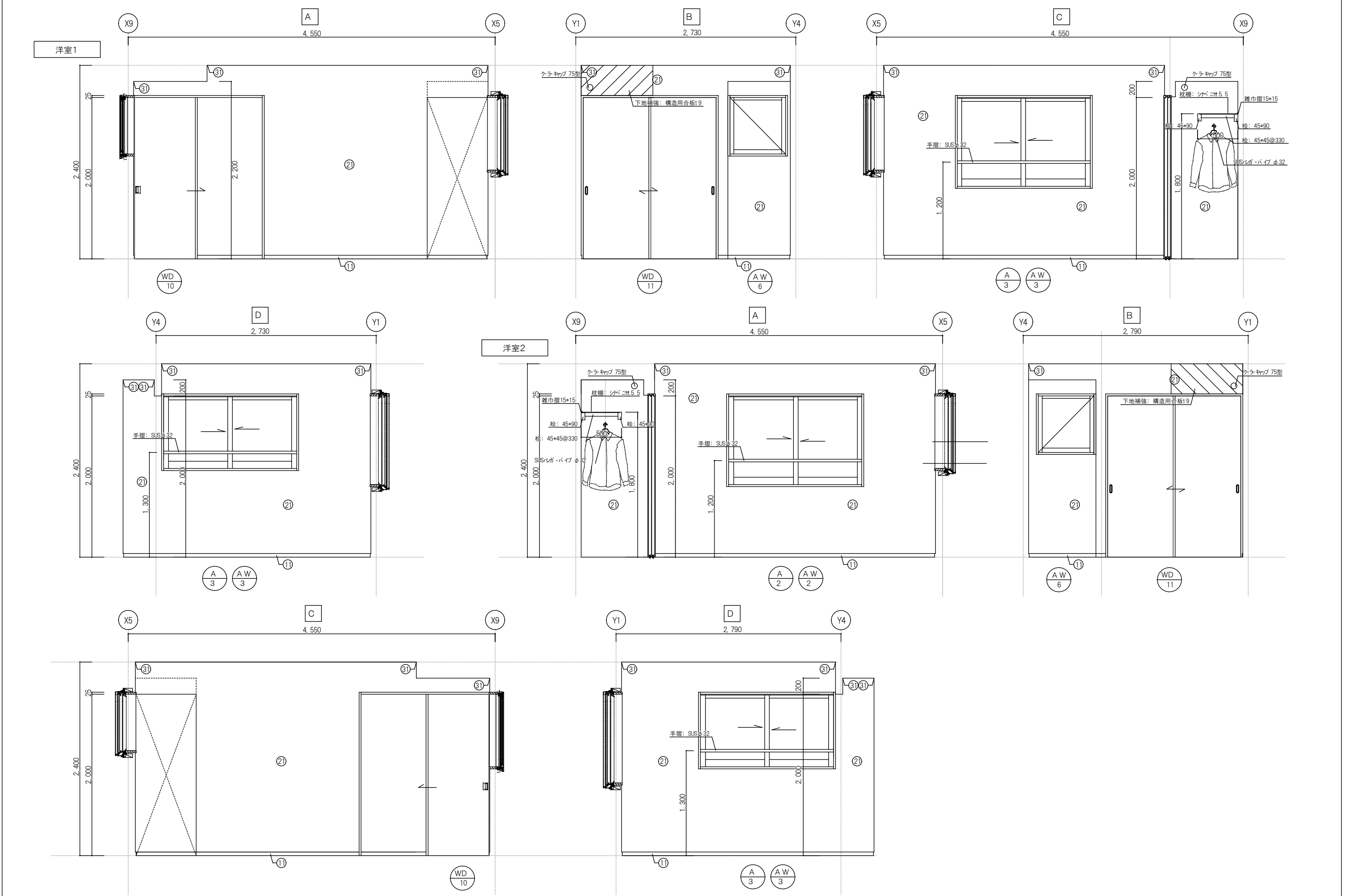
DATE R4.03.30

CHECKED BY

DRAWN BY

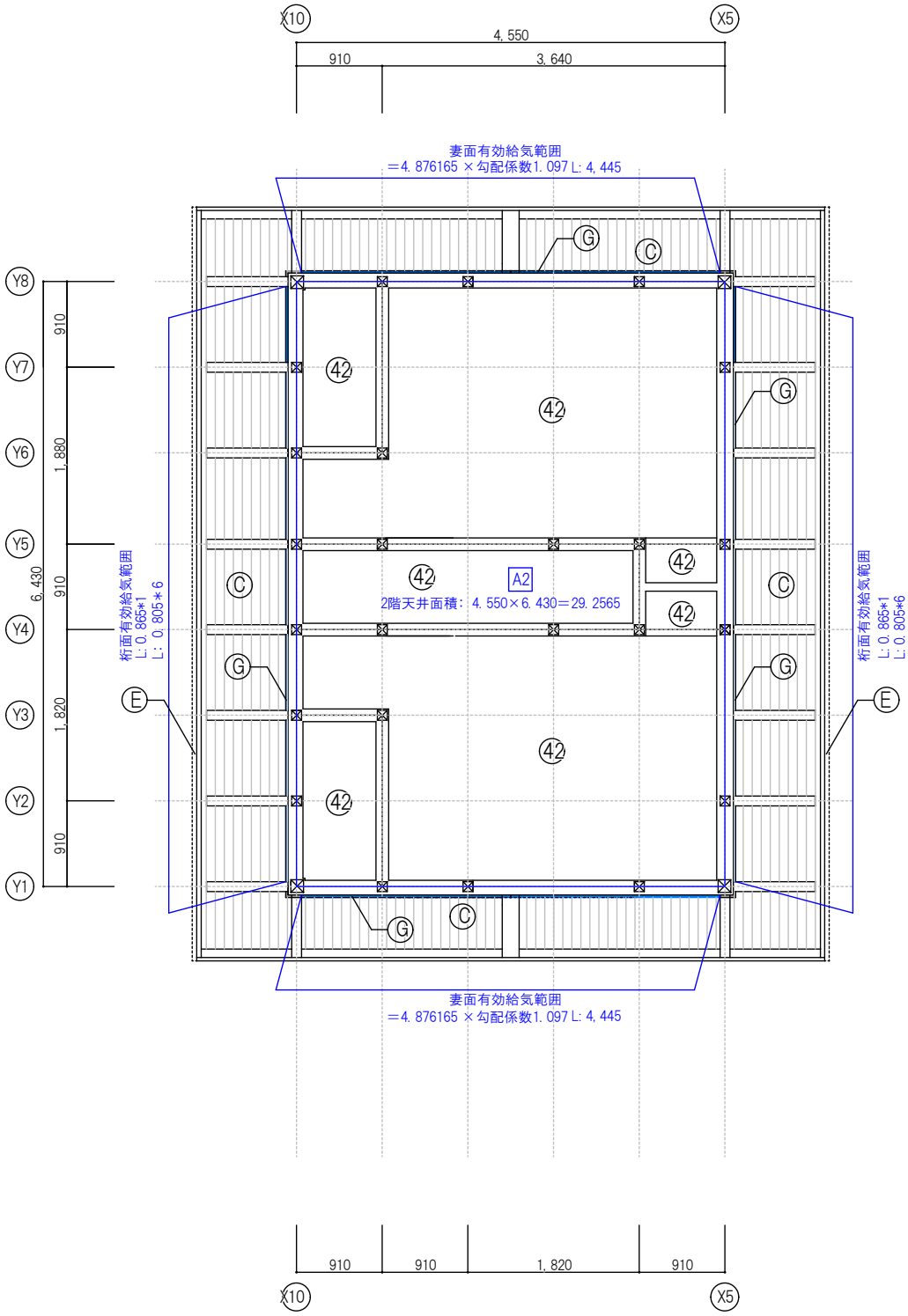
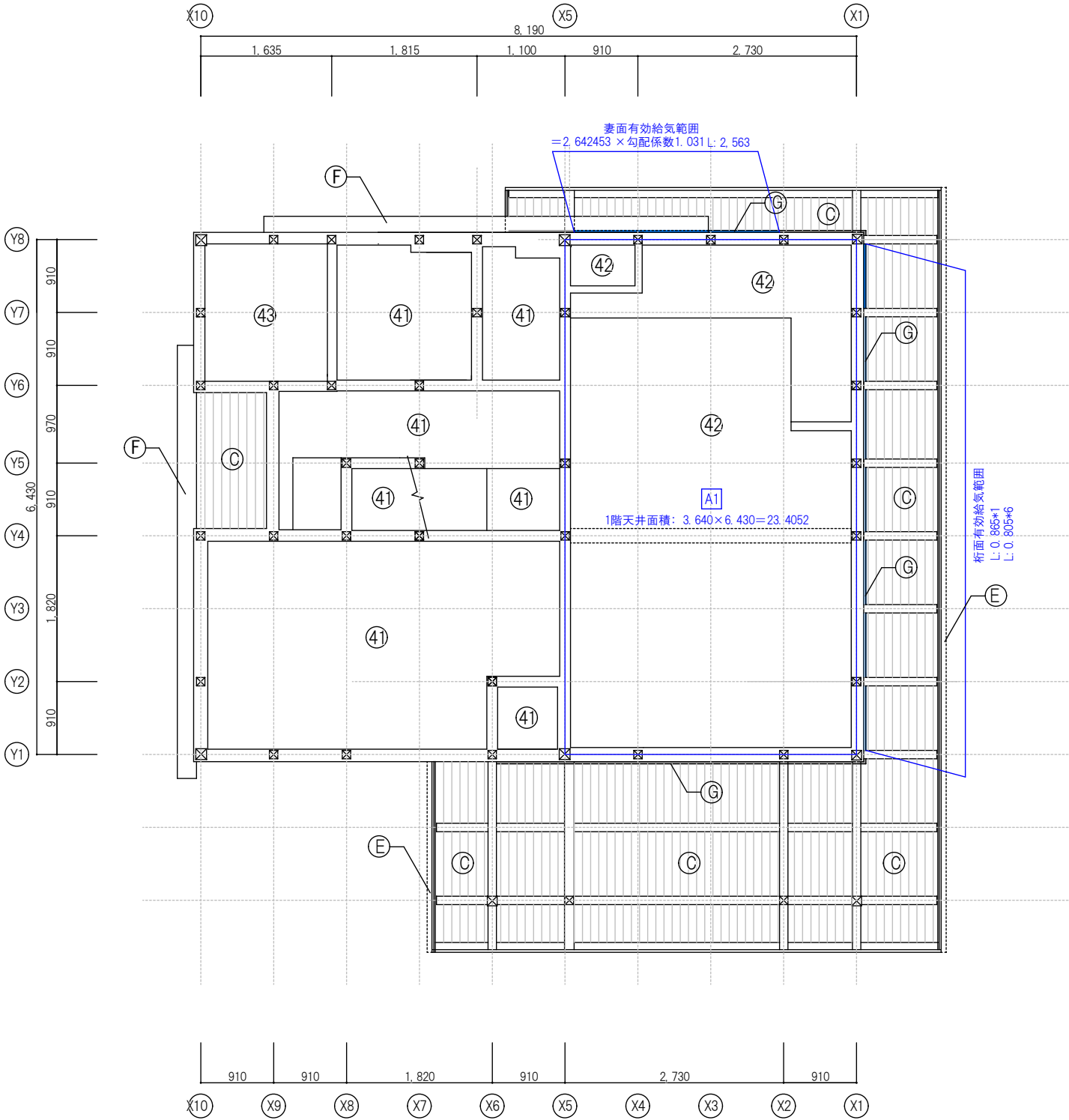
A-28

SHEET NO.



小屋裏換気口判定表								
換気種類			面積 (cm ²)	長さ (m)	単位開口面積 (cm ² /m)	数量	有効面積 (cm ²)	天井面積 (cm ²)
A1	㊦	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.805		32.7	6	157.941	234052
	㊦	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.865		32.7	1	28.2855	
	㊦	給気：壁通気見切り縁（素面）	2.642453		32.7	1	86.4082131	
		排気：雨押え換気口	2.988		60.0	1	179.28	
A2	㊦	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.805		32.7	12	315.882	292565
	㊦	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.865		32.7	2	56.571	
	㊦	給気：壁通気見切り縁（素面）	4.87616		32.7	2	318.900864	
		排気：棟換気口	1.948		120.0	1	233.76	
							有効面積合計 /天井面積 =0.00116484675	判 定
							272.6347131/ 234052	≥0.001111=1/900 *OK
							179.28/234052 =0.000765	≥0.000625=1/1600 *OK
							691.353864/ 292565	≥0.001111=1/900 *OK
							=0.00236307782	*OK
							233.76/292565 =0.000799	≥0.000625=1/1600 *OK

外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表		
軒 天	㊦	化粧野地板 杉t15覆い実加工、構造用合板 t15捨張	天 井	㊴1	ビニルクロス張り
樋	㊦	カラーガルバコル鋼板 半丸105程度・壁樋φ75			下地：GB-R t15.0
小 庇 (D=240)	㊦	ガルバコル鋼板t0.35 平葺き（色：銀黒つや消し）		㊴2	ビニルクロス張り
		野地板 桧t35 WP 塗			下地：GB-R t12.5
通 気	㊦	712製通気見切り 縁 21mm厚用（色：黒）		㊴3	GB-R t15.0素地



建具工事特記仕様書				キープラン											
共通事項 1) 制作に当たっては、前もって、担当者と打合わせの上行う事。 2) ガラス押えシールは外部建具をポリサルファイド系、内部建具をシリコン系とする。 3) 金物は見本品提出の上決定する。 (程度については指定金物同等品以上とする。) 4) 網戸は特記なき限りSUS網張りとする。 5) アルミサッシと額縁等のチリ寸法については打ち合せを行う事。 6) 表面仕上材はF-★★★★認定品又は同等品を使用する事。 7) 表面仕上材の塗装はF-★★★★認定品を使用する事。 8) 上記以外の表面仕上材も含む。 (桧材等無垢材は高知県内産を優先して使用する事。合法木材にて) 木製建具 1) 木材の等級・含水率及び樹種 イ) 雨がかり部分の建具の框は桎目を使用すること。 ロ) 建具が雨がかりでなければ、12.1.7による集成材を使用することができる。 ハ) 等級は一般共通事項16.7.1の表のC種とする。 但し、見付面が50mmを越える材では、建具材の日本農林規格第3条の節については、生節である限り見付面の1／3以下のもので互いに150mm以上隔ったものについてはその材全面についてないものと見なす。 2) 木製引違い扉の敷居溝には堅木(サクラ材厚6mm)を埋め込む事。															

符号		場所	数量	A W 5 トイレ・洗面脱衣室・浴室		3	A W 6 2階廊下・洋室1・洋室2		3																				
		405 770				730 770				熱貫流率: 2.00W/(㎡・K)																			
呼称		03607				06907																							
塗装																													
硝子		型板複層ガラス LowE3+A16+FL3				透明複層ガラス LowE3+A16+FL3																							
構造形式		7mm樹脂複合サッシ 縦すべり出し窓				7mm樹脂複合サッシ 二り出し窓																							
金物		付属金物一式				付属金物一式																							
符号		場所	数量	WD 1 台所⇄1階廊下		1	WD 2 台所⇄居間		1	WD 3 居間⇄和室		1	WD 4 台所⇄1階廊下		1	WD 5 1階廊下⇄トイレ		1											
		25 W815 H2,000 900 吊車 側勝ち 掘込引手 15 36 大手 側勝ち				W882.5 3,455 25 H2,000 900 掘込引手 (台所側3か所、居間側3か所)				25 1,652.5 65 W871.3 H2,000 900 引違戸錠 (和室側1か所) 掘込引手 (居間側2か所、和室側1か所) サタン錠錠				W815 25 H2,000 900 吊車 側勝ち 掘込引手 15 36 大手 側勝ち				W815 25 H2,000 900 吊車 側勝ち 掘込引手 15 36 大手 側勝ち				※収納時、引き残し 65							
見込		36				30				30				36				36											
塗装																													
構造形式		木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0				木製フラッシュ戸 4枚引違い戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0				木製フラッシュ戸 2枚引込み戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0				木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0				木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0											
金物		掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハガ-レル(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部ストップ(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400)				掘込引手(参考: KAWAJUN PK-900) 埋込Vレール: 9mm 上部ストップ(参考: 丸喜金属スバ-フリ-ストップ-S-204) 戸車				引違戸錠: 掘込角引手付捻錠(参考: BEST#500N-105) 掘込引手(参考: KAWAJUN PK-900) サタン錠錠(参考: KAWAJUN KM-19) 埋込Vレール: 9mm 上部ストップ(参考: 丸喜金属スバ-フリ-ストップ-S-204) 戸車				掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハガ-レル(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部ストップ(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400)				掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハガ-レル(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部ストップ(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400) サタン錠錠(参考: KAWAJUN KM-19 表示錠) 明かり窓(参考: BI DOOR VP-15)											
符号		場所	数量	WD 6 1階廊下⇄洗面脱衣室		1	WD 7 物入1		1	WD 8 押入		1	WD 9 物入2		1	WD 10 2階廊下⇄洋室1・2		2	WD 11 クロ-ゼット1・2		2								
		25 W840 H2,000 900 吊車 側勝ち 掘込引手 15 36 大手 側勝ち				W770 H2,000 900 3 130				W730 H2,000 900 3 130				W740 H1,000 900 3 130				W755 25 H2,000 900 吊車 側勝ち 掘込引手 15 36 大手 側勝ち				1,650 W812.5 25 H2,000 900 3 130				※収納時、引き残し 65			
見込		36				30				30				36				30											
塗装																													
構造形式		木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0				木製フラッシュ戸 両開き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り				木製フラッシュ戸 両開き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り				木製フラッシュ戸 両開き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り				木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0				木製フラッシュ戸 2枚引違戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0							
金物		掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハガ-レル(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部ストップ(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400) サタン錠錠(参考: KAWAJUN KM-19)				木製把手(参考: 丸喜金属 タモ丸棒ハット 100) 吊元: スライド 丁番				木製把手(参考: 丸喜金属 タモ丸棒ハット 100) 吊元: スライド 丁番				木製把手(参考: 丸喜金属 タモ丸棒ハット 100) 吊元: スライド 丁番				掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハガ-レル(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部ストップ(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400)				掘込引手(参考: KAWAJUN PK-900) 埋込Vレール: 9mm 上部ストップ(参考: 丸喜金属スバ-フリ-ストップ-S-204) 戸車							
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転) 注) 姿図は右玄関PLANにて作成										建具表-2		SCALE A2 1:30 A3 1:42		一般建築士事務所 高知県知事 登録 第19号				DATE		DATE R4-03-24		A-32							
SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区														株式会社 上田建築事務所				CHECKED BY		DRAWN BY		SHEET NO.							

符号場所数量			K1 下足箱	1
			765 5(スラ) 755 5(スラ) 扉: 合板下地の上、ポリ合板 ▽玄関土間 正面図 400 壁面補強(木工事) アルミダボレル 900 200 ▽玄関土間 側面図 天板: 桧集成材t15 OP塗装 内部: ポリ合板 断面詳細図 S: 1/3 765 400 平面図 手すり: テーパー加工 扉: 合板下地の上、ポリ合板 天板: 桧集成材t15 OP塗装	
金物			吊元: スラット 丁番 可動棚: アルミダボレル	
符号	場所	数量	K2 可動棚	1
			450 ▽1 FL 側面図 805 450 平面図 棚板: ポリ合板t30	
金物			棚板材質: ポリフラスコ合板 t = 4.0 棚柱: L1, 820×4本 棚受共 ACE棚柱SP-1820WT同等	
左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転) 注) 姿図は右玄関PLANにて作成			家具図	SCALE A2 1:10 A3 1:14
			SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史
			DATE . . .	DATE . . .
			CHECKED BY	DRAWN BY
			A - 33 SHEET NO.	

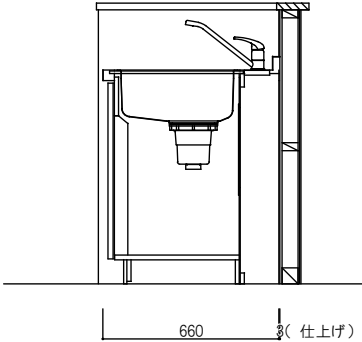
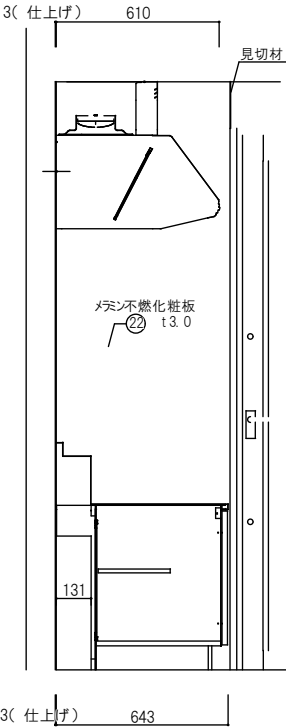
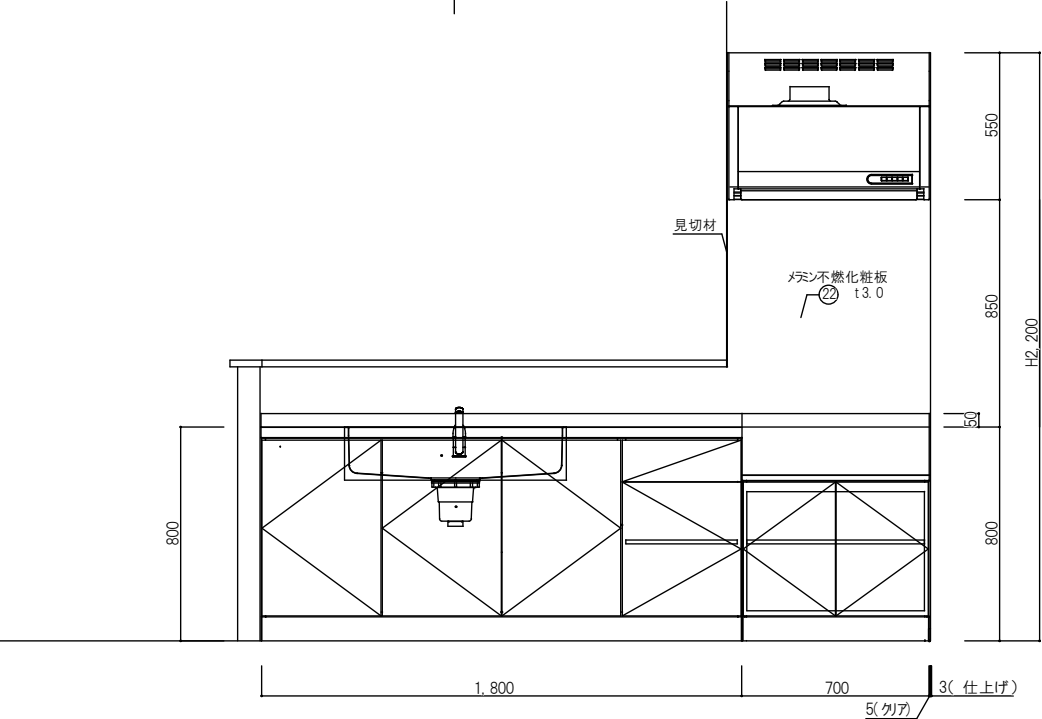
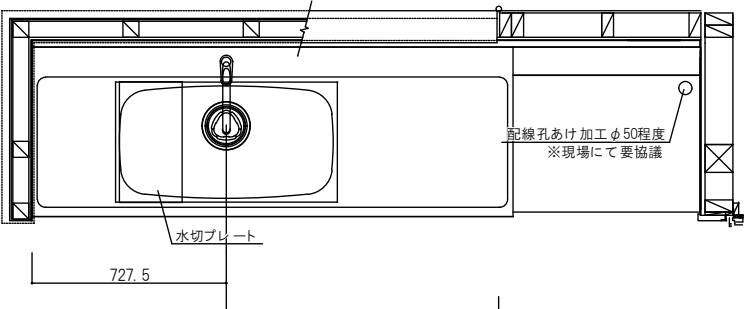
<M型-BL> 【 参考】

品名	仕様		F ☆☆☆☆ 仕様
天板	材質	SUS430	
ワークトップ	シンク種類	Yシンク SUS443J1	
下台	扉	特殊化粧シート 貼パーティクルボード 扉	
	丁番	スライド 丁番(標準品)	
	本体	化粧合板、化粧ボード	
	巾木	化粧シート 巻材	
	底板	化粧板(本体同色)	
	部品	1 段引出(木製)	
レンジフード	包丁差し	D X N 包丁差し	
	側面板	SUS430	
	機種	VUS-BL	
	風量	標準㉔U+FF80㉔U+FF72㉔U+FF80㉔U+FF9F	
加熱機器	排気仕様	排気風圧	
	プラグ形状	2極接地型	
加熱機器	加熱機器	(別途)	
水栓	水栓種類	K X S 8 7 1 J - 1 - T (逆止弁は付属していません)	
シーリング		(建築工事)	
仕様確認項目	扉の色	未定	
	扉種類	M型扉	
	本体の色	ホワイト T W色	
	本体の前木口色	※見え掛かり 部本体同色	
	巾木の色	ダークブラウン(No . 5 3 色)	
	引手	GN 引手	
	フード 前面パネルの色	未定	
シンク小物		水切り プレート SF	

設備工事	給水・給湯の配管工事及び水栓金具との接続工事(止水栓別途)
	排水配管及び排水ト ラップとの接続工事
	メーカー支給の塩ビ 排水蓋取付工事
	点検作業後のキッチンキャビネット 点検口蓋取付(復旧) 工事
	ガス配管及びガス管用コック取付工事(コックは付属していません)
	ダクト 工事及びレンジフード 接続工事(最終エルボはフード 施工後に取り 付けて下さい)
	最終まで固定されますとアタッチメント が取付けできません
建築工事	壁仕上げ工事
	コーキング工事
	コンロ 台天板孔あけ加工工事
	レンジフード 取付用下地の造作取付工事
	建築との取り 合い工事
電気工事	レンジフード 用電源及びコンセント 取付工事

コンセント (電気工事)

レンジフード	㊤ 2 極接地型コンセント
--------	---------------



左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

注) 姿図は右玄関PLANにて作成

キ ャ ッ チ ン 詳 細 図

SCALE A2 1:10 A3 1:14

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

DATE

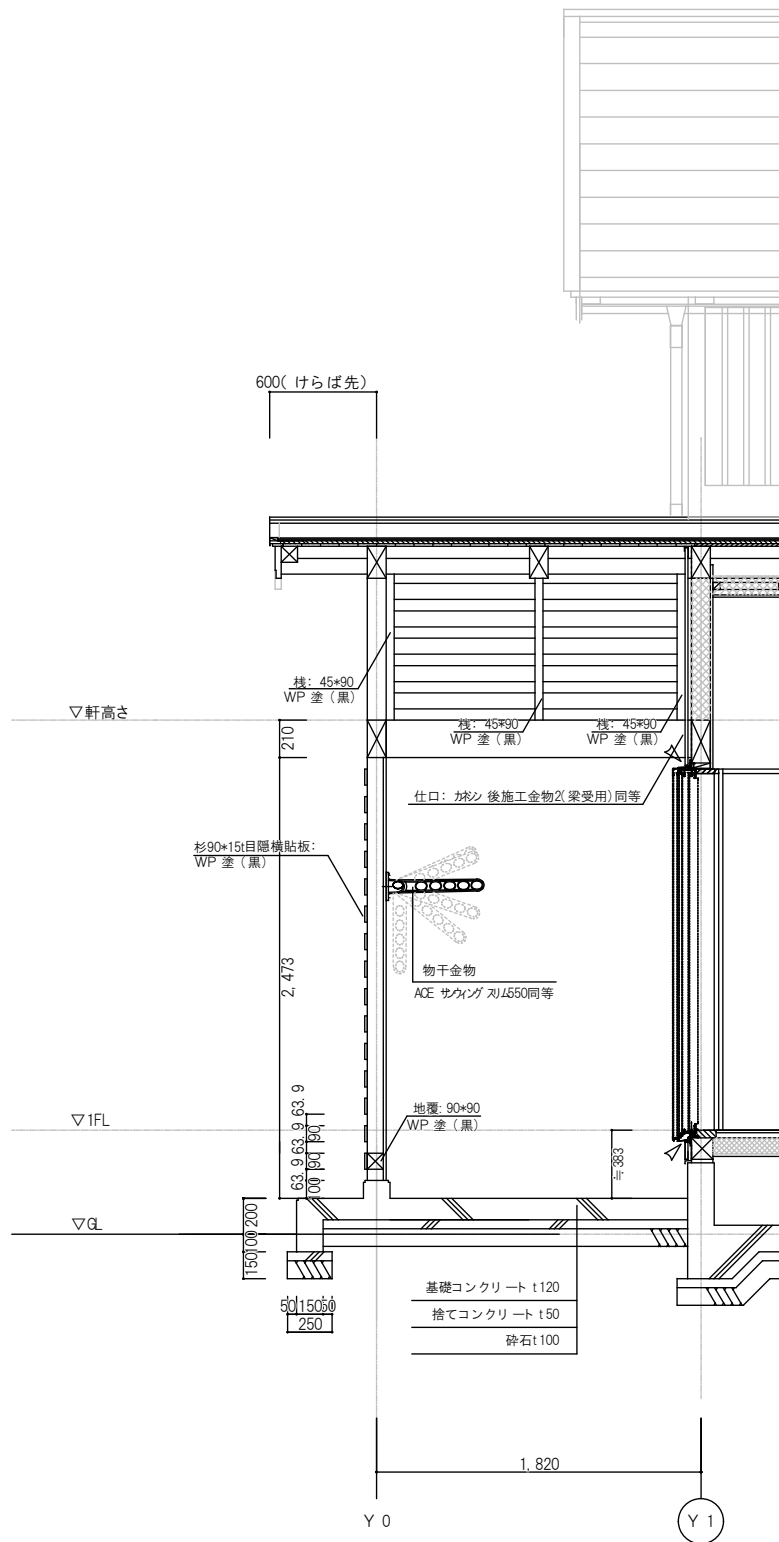
DATE

A - 34

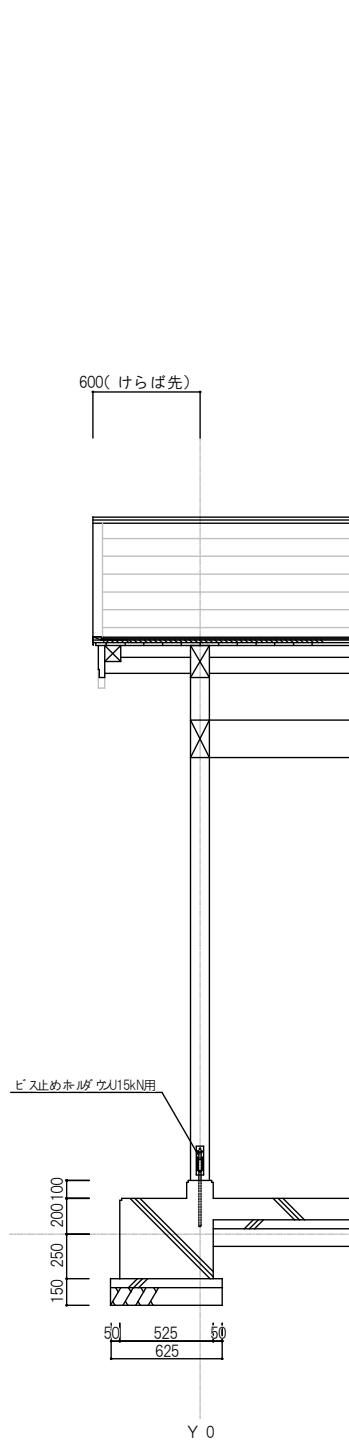
CHECKED BY

DRAWN BY

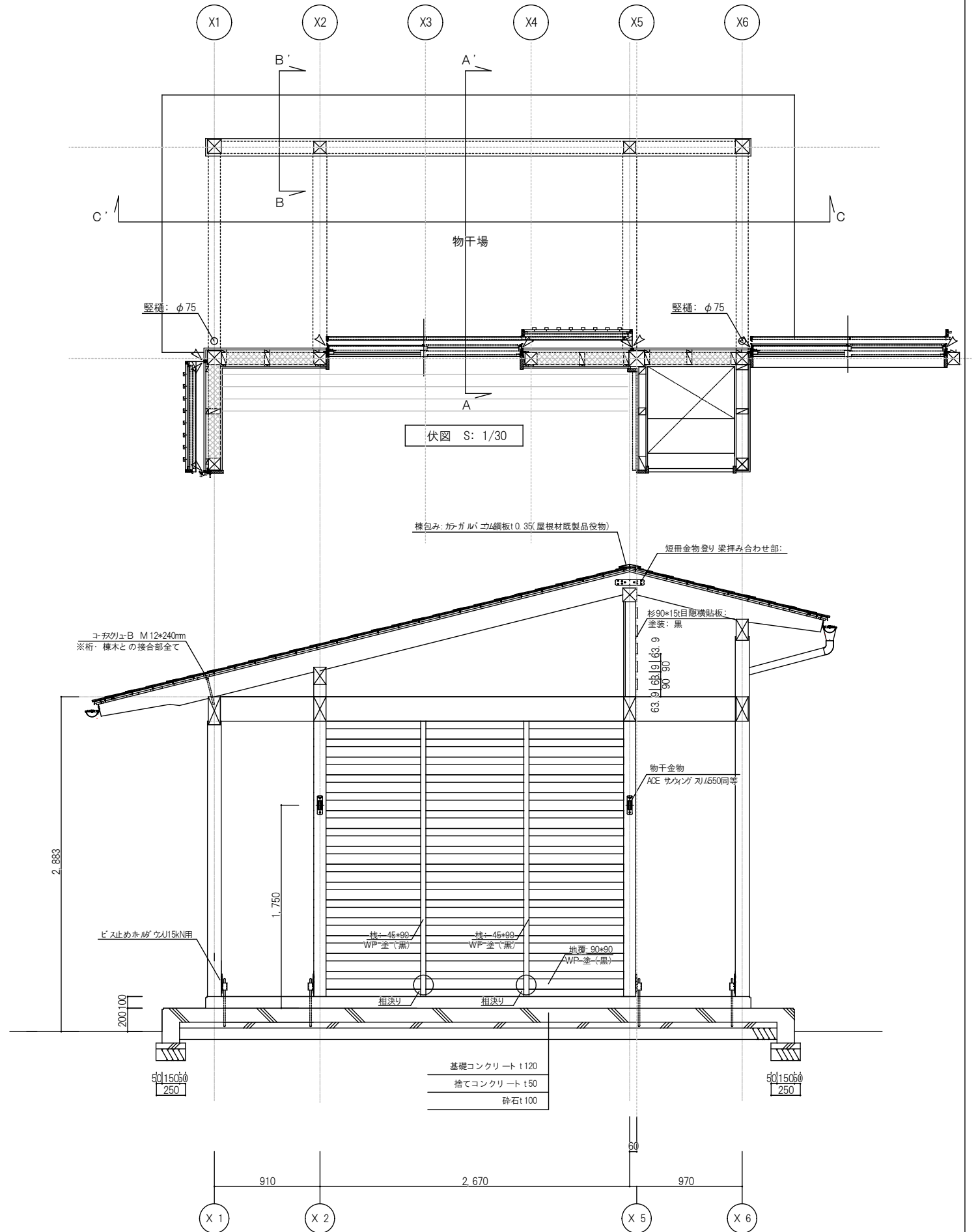
SHEET NO.



A-A'断面図 S: 1/30



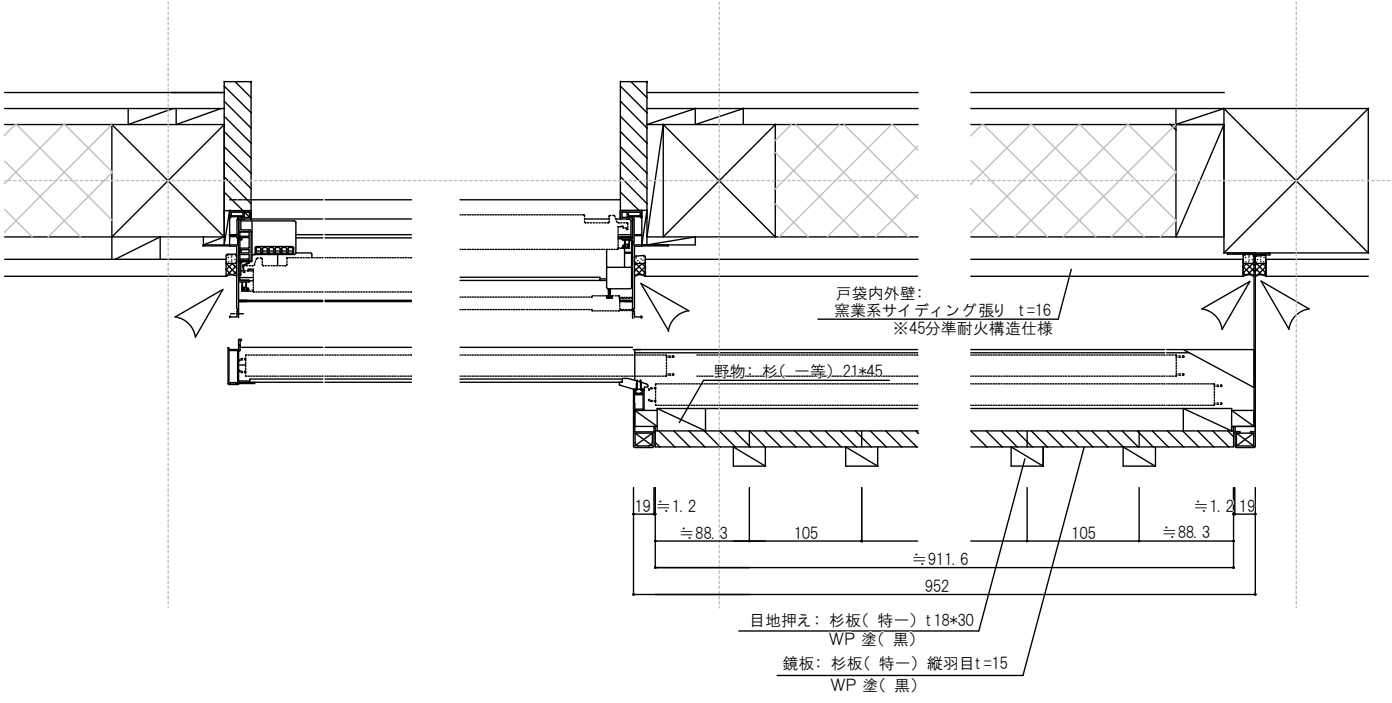
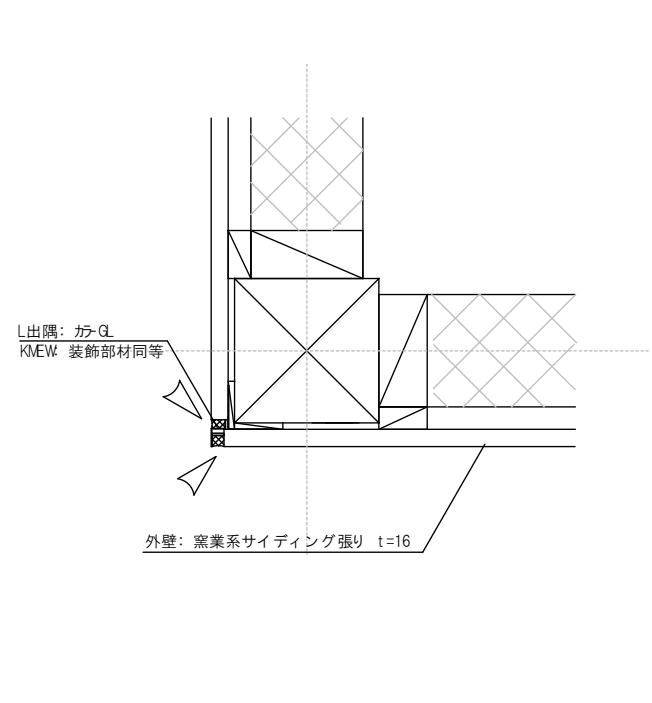
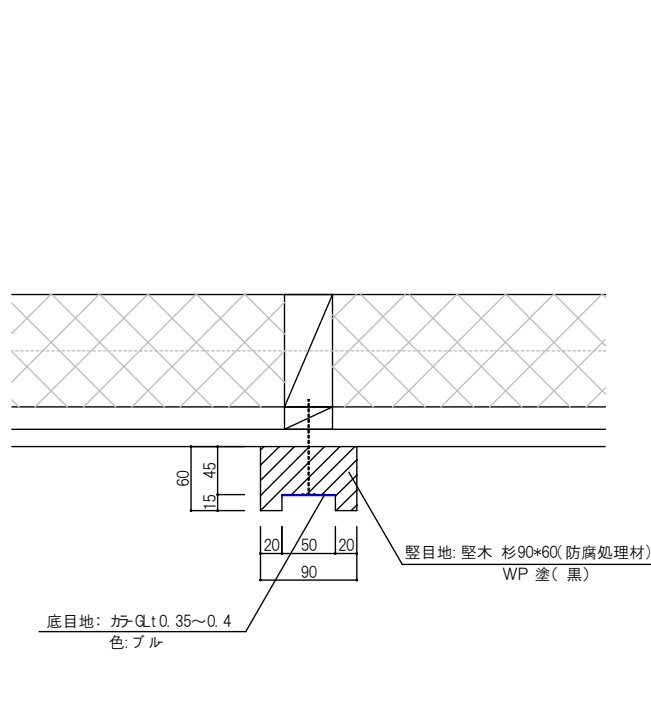
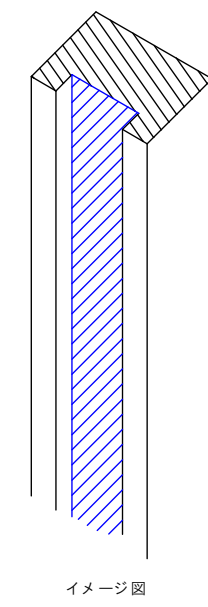
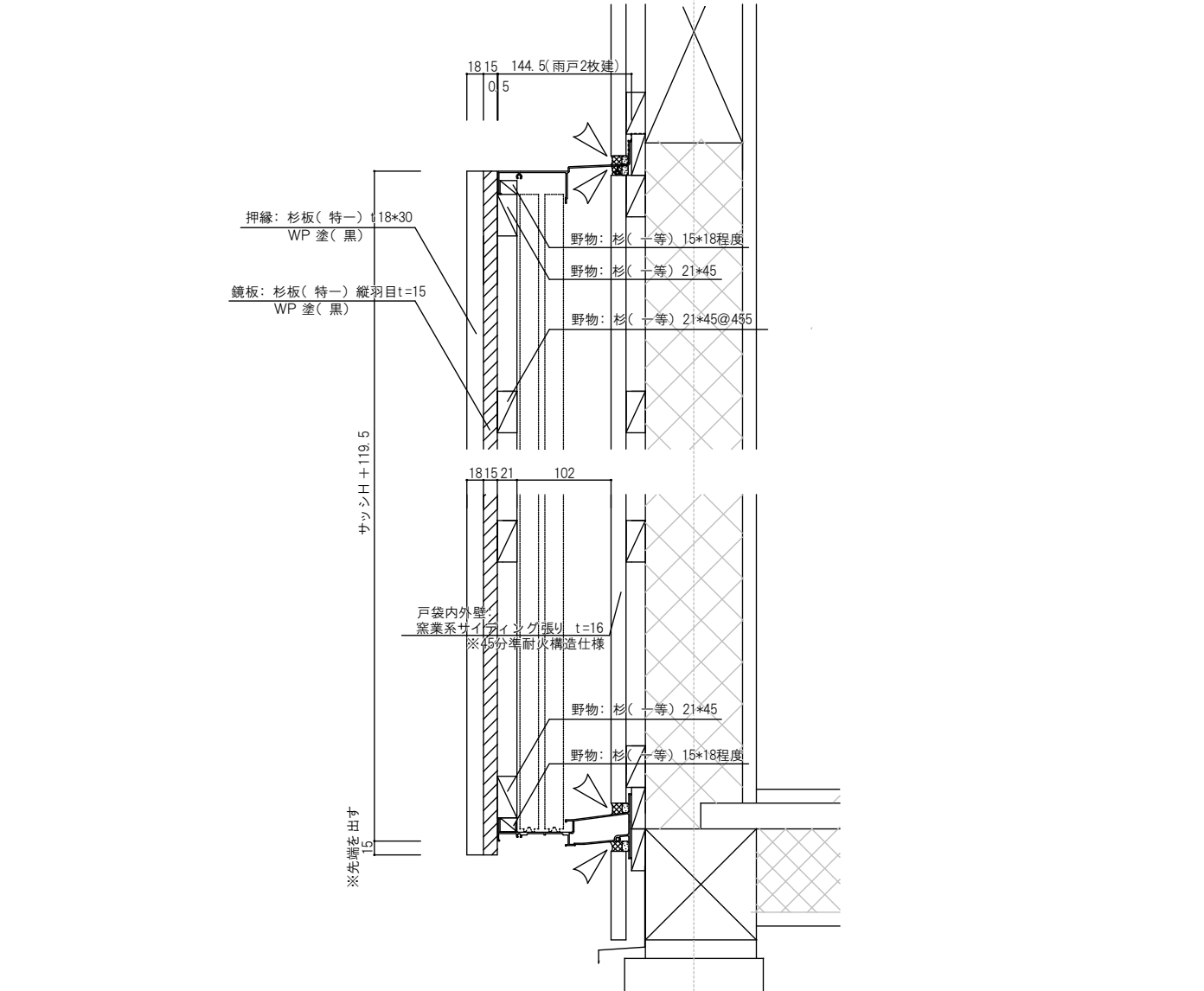
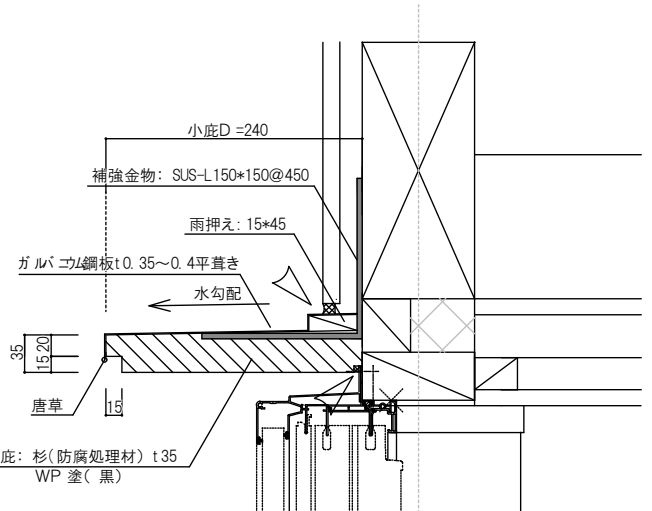
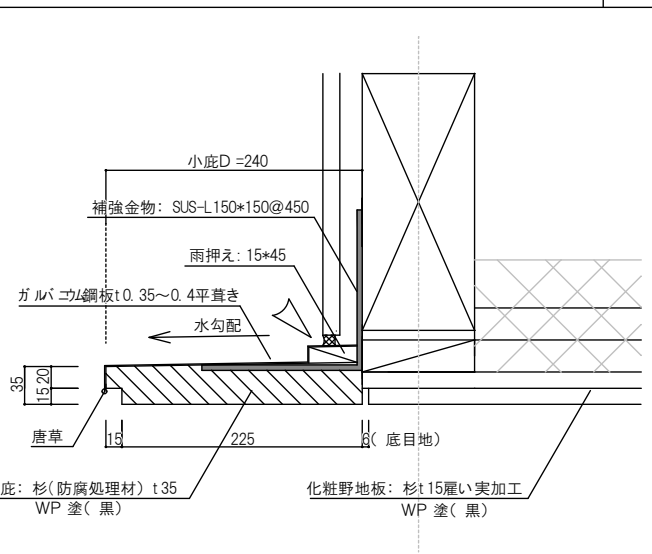
B-B'断面図 S: 1/30



C-C'断面図 S: 1/30

左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)

2階建てタイプ	物干場詳細図		SCALE	A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所		DATE	DATE	A-35 SHEET NO.
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 B工区				SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		CHECKED BY	DRAWN BY	

アルミサッシ 雨戸戸袋詳細図		S=1/5		外壁出隅詳細図		S=1/5		縦目地詳細図		S=1/5	
											
アルミサッシ 雨戸戸袋断面詳細図				S=1/5		小庇断面詳細図		S=1/5		 イメージ図	
											
2階建てタイプ		部分詳細図		SCALE A2 1:5 A3 1:7		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		DATE CHECKED BY DRAWN BY		A - 36 SHEET NO.	

部分詳細図

SCALE A2 1: 5 A3 1: 7

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株式会社 上田建築事務所

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

DATE

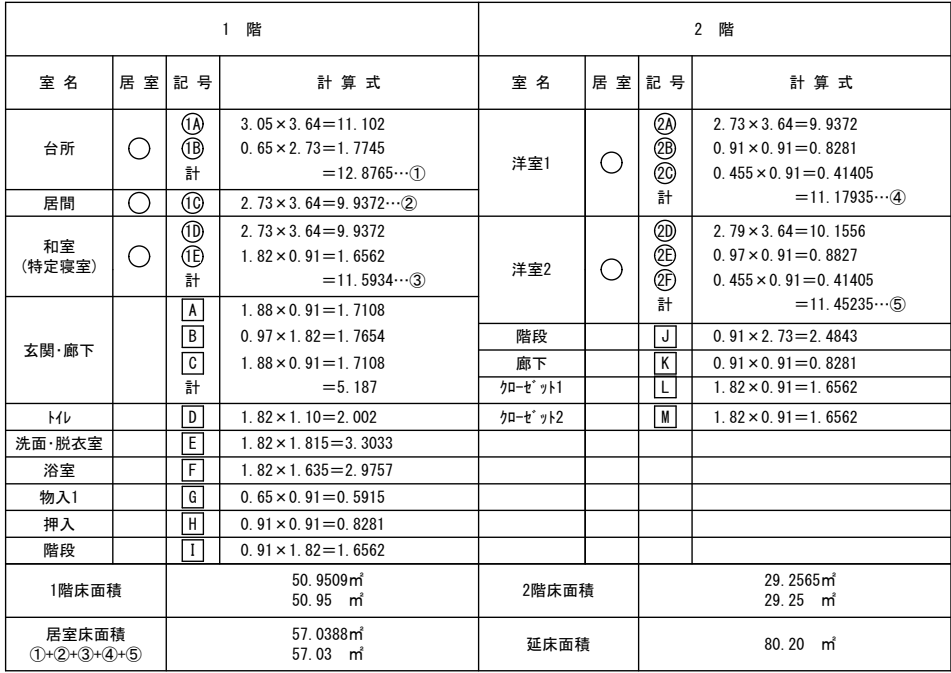
DATE

CHECKED BY

DRAWN BY

A - 36

SHEET NO.



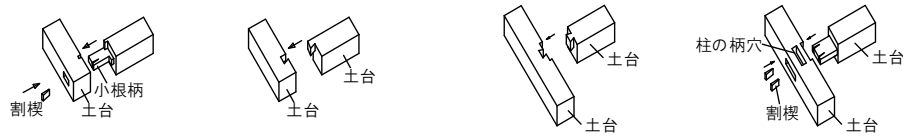
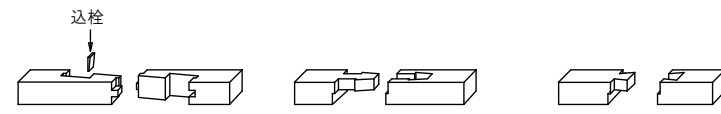
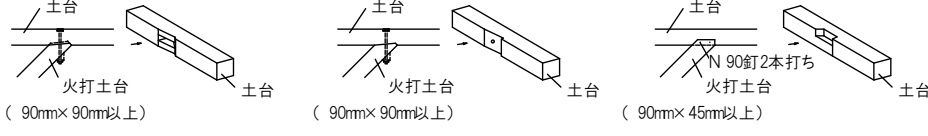
室名	床面積		必要面積 (㎡)	有効面積 (㎡)	判定
洋室1	10.76㎡	採光	$10.76 \times 1/7 = 1.53$	$1.10 \times 1.69 + 0.90 \times 1.69 + 0.77 \times 0.73 = 3.94$	OK
		換気	$10.76 \times 1/20 = 0.53$	$1.10 \times 1.69 \times 1/2 + 0.90 \times 1.69 \times 1/2 + 0.77 \times 0.73 \times 1/1 = 2.25$	OK
洋室2	11.03㎡	採光	$11.03 \times 1/7 = 1.57$	$1.10 \times 1.69 + 0.90 \times 1.69 + 0.77 \times 0.73 = 3.94$	OK
		換気	$11.03 \times 1/20 = 0.55$	$1.10 \times 1.69 \times 1/2 + 0.90 \times 1.69 \times 1/2 + 0.77 \times 0.73 \times 1/1 = 2.25$	OK

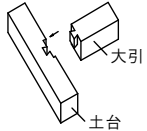
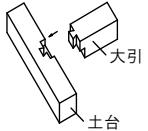
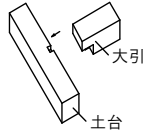
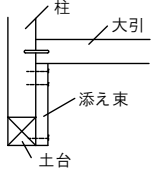
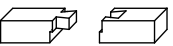
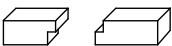
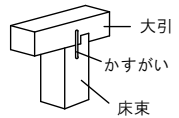
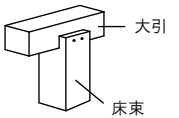
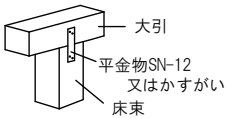
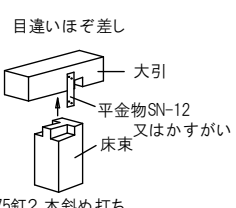
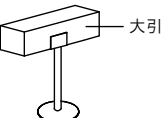
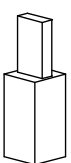
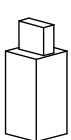
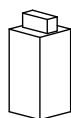
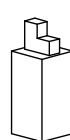
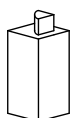
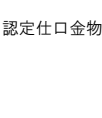
用途地域	α	β	D (m)
商業地域・用途無指定区域	10	1	

室名	床面積 (㎡) ①	割合 ②	建具					遮蔽物		垂直距離 h (m) ⑤-④	水平距離 d (m)	道路 公園等 緩や幅 (m)	採光補正係数 A=d/h × α-β				採光有効 面積 (㎡) ③ × A	採光有効 面積 (㎡) 合計		必要面積 (㎡) ① × ②	判定
			記号	W (m)	H (m)	開口面積 (㎡) ③	中心高 (m) ④ (GL+)	名称	高さ (m) ⑤ (GL+)				計算値	縁側	天窓	採用値 A					
台所・居間	22.81㎡	1/7	AD2	0.64	2.03	1.2992	1.598	1階屋根	2.763	1.165	0.392	—	3.028326	—	—	3.00	3.89	26.84	>	3.25	OK
			AW4	0.64	0.77	1.2992	2.243	1階屋根	3.470	1.227	0.250	—	1.833740	—	—	1.83	2.37				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	2.763	1.165	0.392	—	3.028326	—	—	3.00	10.29				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	3.338	1.740	3.600	—	18.620689	—	—	3.00	10.29				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	6.442	4.844	5.280	—	9.810074	—	—	3.00	10.29				
和室	11.59㎡	1/7	AW2	1.69	1.10	1.859	2.183	2階屋根	5.282	3.099	1.799	—	5.224588	—	—	3.00	5.57	15.86	>	1.65	OK
			AW2	1.69	1.10	1.859	2.183	2階屋根	6.442	1.826	5.280	—	26.024096	—	—	3.00	5.57				
洋室1	10.76㎡	1/7	AW2	1.69	1.10	1.859	4.616	2階屋根	5.282	0.566	4.032	—	64.113074	—	—	3.00	4.56	11.81	>	1.53	OK
			AW3	1.69	0.90	1.521	4.716	2階屋根	5.282	0.456	1.799	—	35.506578	—	—	3.00	1.68				
			AW6	0.73	0.77	0.5621	4.826	2階屋根	5.282	0.456	1.799	—	35.506578	—	—	3.00	1.68				
洋室2	10.76㎡	1/7	AW2	1.69	1.10	1.859	4.616	2階屋根	5.282	0.566	4.032	—	64.113074	—	—	3.00	4.56	7.24	>	1.57	OK
			AW3	1.69	0.90	1.521	4.716	2階屋根	5.282	0.456	1.799	—	35.506578	—	—	3.00	1.68				
			AW6	0.73	0.77	0.5621	4.826	2階屋根	5.282	0.456	1.799	—	35.506578	—	—	3.00	1.68				

室名	床面積 (㎡) ①	割合 ②	建具					遮蔽物		垂直距離 h (m) ⑤-④	水平距離 d (m)	道路 公園等 緩和幅 (m)	採光補正係数 A=d/h×α-β				採光有効 面積 (㎡) ③×A	採光有効 面積 (㎡) 合計		必要面積 (㎡) ①×②	判定
			記号	W (m)	H (m)	開口面積 (㎡) ③	中心高 (m) ④ (GL+)	名称	高さ (m) ⑤ (GL+)				計算値	縁側	天窓	採用値 A					
台所・居間	22.81㎡	1/7	AD2	0.64	2.03	1.2992	1.598	1階屋根	2.763	1.165	0.092	—	0.710729	—	—	0.71	0.92	16.01	>	3.25	OK
			AW4	0.64	0.77	1.2992	2.243	1階屋根	3.470	1.227	0.250	—	1.833740	—	—	1.83	2.37				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	2.763	1.165	0.092	—	0.710729	—	—	0.71	2.43				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	3.338	1.740	3.900	—	20.172413	—	—	3.00	10.29				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	6.442	4.844	3.900	—	7.246077	—	—	3.00	10.29				
和室	11.59㎡	1/7	AW2	1.69	1.10	1.859	2.183	2階屋根	5.282	3.099	1.780	—	5.169409	—	—	3.00	5.57	15.86	>	1.65	OK
			AW2	1.69	1.10	1.859	2.183	2階屋根	6.442	1.826	5.580	—	27.502738	—	—	3.00	5.57				
洋室1	10.76㎡	1/7	AW2	1.69	1.10	1.859	4.616	2階屋根	6.442	1.826	5.580	—	27.502738	—	—	3.00	5.57	11.81	>	1.53	OK
			AW3	1.69	0.90	1.521	4.716	2階屋根	5.282	0.566	3.732	—	59.342756	—	—	3.00	4.56				
			AW6	0.73	0.77	0.5621	4.826	2階屋根	5.282	0.456	1.780	—	35.131578	—	—	3.00	1.68				
洋室2	10.76㎡	1/7	AW2	1.69	1.10	1.859	4.616	2階屋根	6.442	1.826	0.110	—	0.542168	—	—	0.54	1.00	7.24	>	1.57	OK
			AW3	1.69	0.90	1.521	4.716	2階屋根	5.282	0.566	3.732	—	59.342756	—	—	3.00	4.56				
			AW6	0.73	0.77	0.5621	4.826	2階屋根	5.282	0.456	1.780	—	35.131578	—	—	3.00	1.68				

特記仕様書（木工事）軸組工法

一般事項	本工事における構造の骨組（架構体）、下地骨組、造作、仕上げの木工事に適用する。 特記事項は 廊の付いたものを適用する。	部 位																			
木材の品質	1. 素材及び製材の品質は、日本農林規格（ＪＡＳ）の規定がある場合は、すべてこの規格に適合したものとする。 2. 構造材に用いる製材の品質は、構造用製材のＪＡＳに適合したものまたは製材のＪＡＳで定める１等以上とする。 3. 見掛かりの造作用柱、板用製材の品質は、製材のＪＡＳで定める上小節以上のものとし、心持材の場合は背割りを行ったものとする。 4. 目視等級区分の針葉樹構造用製材規格については以下の通りＪＡＳによる。 甲種構造材（構造用Ⅰ） 甲種構造材（構造用Ⅱ） 乙種構造材 （短辺が9cm未満の横物） （短辺が9cm以上の横物） （柱材など） □ 一級 □ 二級 □ 三級 □ 一級 □ 二級 □ 三級 □ 一級 □ 二級 □ 三級 5．仕口を固める楔、栓は堅木とする。又雇い材は骨組材と同材以上または堅木とする。 6．構造用に用いる集成材は、構造用集成材のＪＡＳに適合若しは化粧ばり集成材のＪＡＳに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。 □ 構造部材は一部、集成材を使用する。梁（ E105-F300） 梁（ E120-F330） 7．各種ボード 類 （１）合板の品質は、構造用合板若しくは普通合板等のＪＡＳに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。 （２）構造用パネルの品質は、構造用パネルのＪＡＳに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。 （３）ハード ボード、硬質木片セメント 板、シージングボード、石膏ボード、及びラスシートの品質は それぞれの日本工業規格（ＪＩＳ）に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。 （４）パーティクルボード、MDF（ミディアム・デンシティ・ファイバーボード）の品質は それぞれの日本工業規格（ＪＩＳ）に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。	材 種 ■ ひのき □ ひば □ くり □ べいひば □ こうやまき □ 保存処理製材 □ 土台用加圧式防腐処理木材 □ その他(米ト ガ)	工 法 1，断面寸法は柱と同じ寸法以上とし１０５mm×１０５mmを標準とする。 ただし、多雪区域内（「建築基準法施行令第86条第2項ただし書の規定より特定行政庁が指定する区域」以下同じ）においては １０５mm×１０５mm以上とする。 2，継手は、柱及び床下換気孔の位置は避ける。																		
		仕 口 □ □ ■ □ □ その他() 襟輪小根柄差し 片蟻掛け 大入れ蟻掛け 大入れ柄差し  継 手 □ ■ □ □ □ 金輪継ぎ 腰掛鎌継ぎ 腰掛あり継ぎ その他() 																			
乾 燥	1．木材の工事現場搬入時の含水率は下記による。 2．針葉樹材についてはＪＡＳ区分に準じ、以下の通りとする。 □ 乾燥材 D25 ■ 乾燥材 D20 □ 乾燥材 D15 ※ 特記なき場合は乾燥材D25（含水率25％以下）とする。 3．天然乾燥材については、乾燥材D25（含水率25％）を目標とし、係員の承諾を得る。	火打土台	材 種 □ ひのき □ べいまつ □ ひば □ べいひば □ べいつが □ 火打金物 □ すぎ																		
指定寸法	1．木材の寸法については、ＪＡＳに準じて、材長の不足は認めない。断面寸法については下記による。 <table><tr><td></td><td colspan="2">ＪＡＳによる乾燥材</td><td colspan="3">未乾燥材</td></tr><tr><td>材の短辺及び長辺</td><td>90mm以上</td><td>90mm未満</td><td>90mm以上</td><td>36mm以上90mm未満</td><td>36mm未満</td></tr><tr><td>表示寸法と許容誤差</td><td>±1.5mm</td><td>±1.0mm</td><td>+3.0～0mm</td><td>+2.0～0mm</td><td>+1.0～0mm</td></tr></table>		ＪＡＳによる乾燥材		未乾燥材			材の短辺及び長辺	90mm以上	90mm未満	90mm以上	36mm以上90mm未満	36mm未満	表示寸法と許容誤差	±1.5mm	±1.0mm	+3.0～0mm	+2.0～0mm	+1.0～0mm	工 法 火打土台は次のいずれかによる。 1. 木材の火打土台とする場合は、次による。 イ. 断面寸法は45mm×90mm以上とする。 2. 鋼製火打とする場合は、特記による。 3. 火打土台を省略する場合は、下記による。 イ. 床下地板の品質は、構造用合板のＪＡＳに適合するもので種類は1類とし厚さ12mm以上、パーティクルボードの ＪＩＳに適合するもので種類は13Pまたは13M以上とし厚さ15mm以上、又は構造用パネルのＪＡＳに適合するものとする。 ロ. 床下地板の張り方は、床下地板の長手方向を根太と直交させ、且つ千鳥張りとし土台及び大引に20mm以上のせて釘打ちとする。 床下地板は根太等の受け材上で突付継ぎとする。 ハ. 床下地材の釘打ちは床下地材の4周辺をN50釘を用い釘打ち間隔150mm以下で、根太、大引、土台及び受け材に平打ちして固定する。	仕 口 □ □ □ 傾ぎ大入れほぞ差し 傾ぎ胴付きホルト締め 傾ぎ入れ  （90mm×90mm以上） （90mm×90mm以上） （90mm×45mm以上）
	ＪＡＳによる乾燥材		未乾燥材																		
材の短辺及び長辺	90mm以上	90mm未満	90mm以上	36mm以上90mm未満	36mm未満																
表示寸法と許容誤差	±1.5mm	±1.0mm	+3.0～0mm	+2.0～0mm	+1.0～0mm																
材料検査	1．構造材については、係員の検査を受けた後施工するものとする。 2．その他の材についてはその都度係員の承諾を得るものとする。																				
諸金物	土台と基礎や軸組相互の端部などの構造耐力上主要な部分である継手・仕口などは接合金物等を使用し効率よく緊結する。 接合金物は品質及び耐力等の性能が明らかで良質なものを選択する。（Zマーク表示金物）及びZマーク表示金物同等認定品以上とする。																				
防腐、防虫処理	1．防腐剤は、JISK2439（クレオソート油、加工タール・タールピッチ）によるクレオソート油とする。 2．外部下地板等の面は地盤面より高さ1.0mまでと、台所、浴室等、湿気のある場所の軸組及び下地材が木質の場合も防腐剤塗とする。 3． <u>辺材が含まれる木材は、どの樹種においても、防腐・防蟻措置を行うことが望ましい。</u> 4． <u>土台に接する外壁の下端には水切りを設ける。</u>																				
防蟻処理	□ 行わない ■ 行なう（ ）																				

特記仕様書（木工事）軸組工法					
部 位		部 位			
床 組 大 引	材 種 ☒ ひのき ☐ ひば ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ すぎ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ からまつ ☐ その他(集成材) 工 法 1, 断面寸法は105mm×105mmを標準とする。 2, 継手は、床束芯から150mm内外持ち出し、N 75釘2本打ちとする。 仕 口 ☐ 大入れ蟻掛け ☐ 腰掛け蟻 ☐ 乗せ掛け ☐ 柱 ☐ その他      註 上記仕口はいずれもN 75釘2本斜め打ちとする。		継 手 ☐ 腰掛あり 継ぎ ☐ 相欠き 継ぎ ☐ その他   		
	床 束	材 種 ☐ ひのき ☐ ひば ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ すぎ ☐ あかまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☒ 鋼製束 ☐ 合成樹脂製束 工 法 1, 断面寸法は90mm×90mmを標準とする。 2, 継手は、上部仕口は、補強金物にて緊結する。 3, 鋼製・合成樹脂製等の束とする場合は、各製造所の仕様による。 仕 口 ☐ 道切り ぼぞ差し ☐ びんた 延ばし ☐ 突付け ☐ 目違い ぼぞ差し ☒ 鋼製束      N 75釘2 本斜め打ち N 65釘2 本平打ち N 75釘2 本斜め打ち N 75釘2 本斜め打ち		間 柱	
根 太		材 種 ☐ ひのき ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ アピトン ☐ その他(集成材) ☐ すぎ 工 法 1, 断面寸法は45mm×55mmを標準とする。 ただし、2 階床の床梁間隔が900mm内外の場合は45mm×60mm以上とし、また2 階梁間隔又は1 階大引間隔がそれぞれ1.800mm内外の場合は45mm×105mm間隔を標準とする。 2, 根太間隔は、畳床の場合は450mm内外とし、その他の場合は300mm内外とする。		材 種 ☒ ひのき ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ からまつ ☐ あかまつ ☐ その他(WPKD) 工 法 1, 横架材との仕口は、上部ぼぞ差し下部突付けとし、下部はN 75釘2本を斜め打ちする。 上下とも大入れ、N 75釘を斜め打ちする。 2, 筋かい当たりは、間柱を欠き、N 75釘2本を平打ちする。 3, 通し貫当たりは、添付てN 65釘2本を平打ちする。 仕 口 ☐ 長 ぼ ぞ ☒ 平 ぼ ぞ ☐ 短 ぼ ぞ ☐ 小根ぼぞ ☐ 扇 ぼ ぞ ☐ 認定仕口金物      	

特記仕様書（木工事）軸組工法

部 位		部 位
2階床梁 胴 差 け た	材 種 ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ くろまつ ☐ からまつ ☐ くろまつ ☐ あかまつ ☐ つが ☐ 対称異等級構成集成材(E105F300.)強度等級 ☒ ひのき ☐ すぎ 工 法 1. 断面寸法は、荷重の状態、スパン、梁間隔等を勘案して構造計算等により 適切なものの特記する。 2. 継手は梁及び筋違いを受ける柱間を避け、柱より 150mm内外持ち出した位置に設ける。 3. 横架材の中央部分付近の下側に耐力上支障のある欠込みをしてはならない。 4. 柱又は、横架材との仕口部分は補強金物にて緊結する。 仕 口	

1. 面材による耐力壁は、面材の種類により 釘の種類・間隔が異なるので、告示1100号に適合していることを確認する。

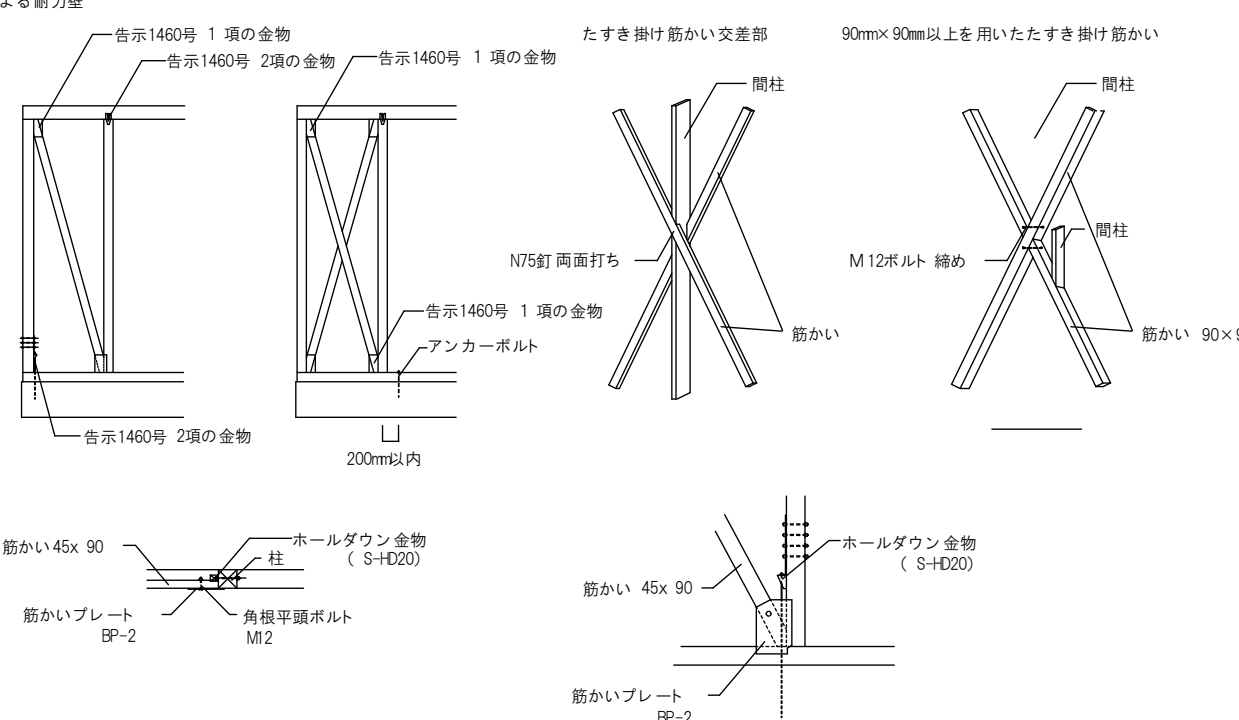
2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り 告示1460号による金物等により 補強する。

3. 構造用面材は横張り又は縦張りとする場合で、やむをえず、梁、柱等以外で継ぐ場合は、断面は45mm×100mm以上とする。

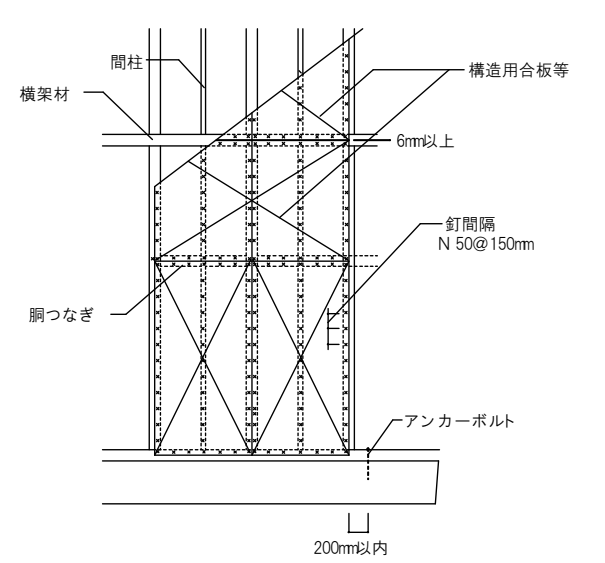
4. 構造用合板については、屋外に面する壁、及び常時湿潤状態になる恐れのある壁には「特類」を使用し、「1類」は室内に使用する。

5. 1階及び2階部の上下同位置に構造用面材の耐力壁を設ける場合は、胴差部において、構造用面材相互間に、6mm以上のあきを設ける。

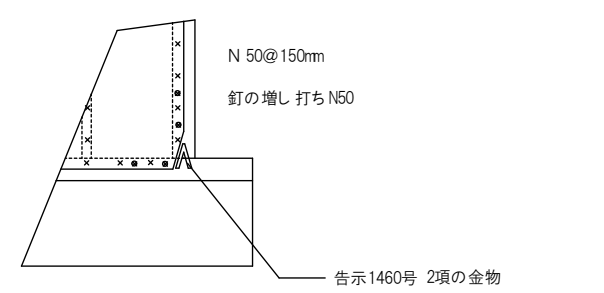
筋かいによる耐力壁

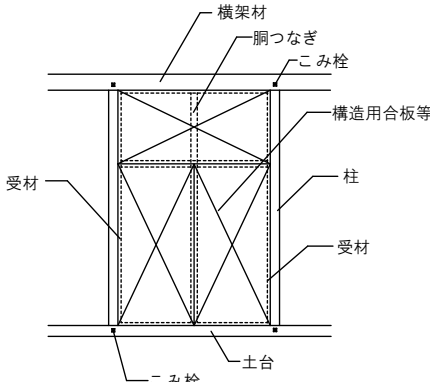
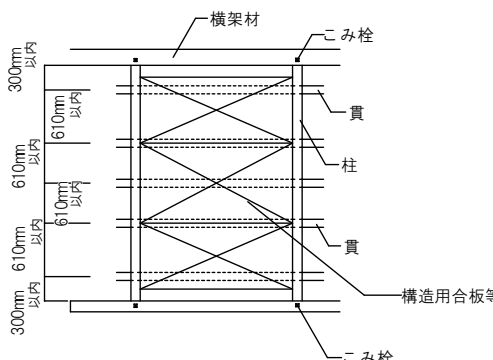
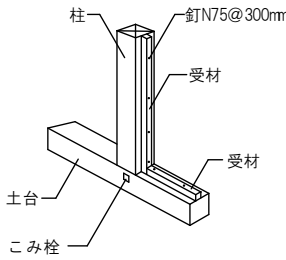
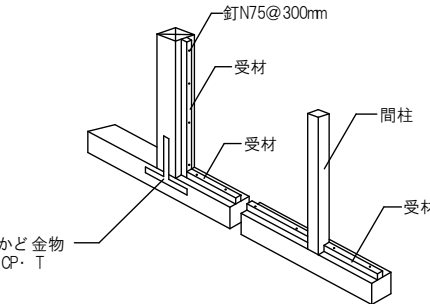
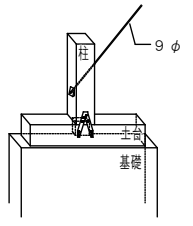
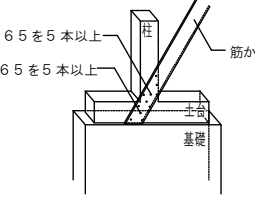
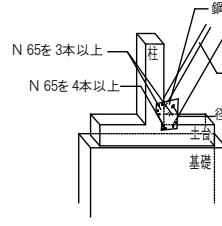
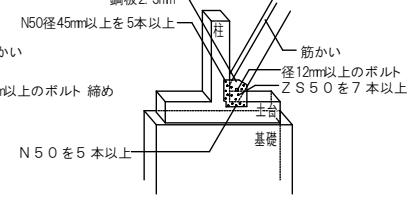
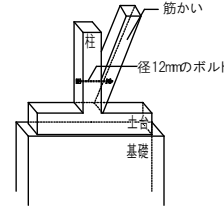


大壁造の面材耐力壁

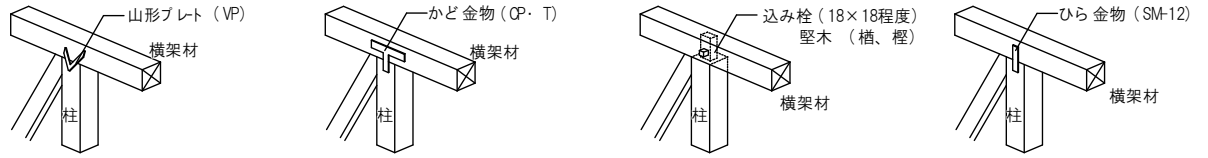
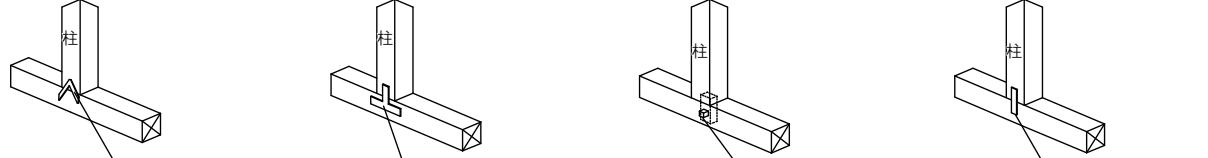
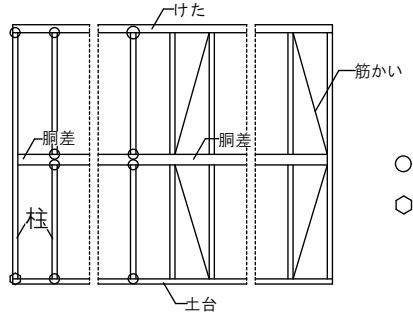
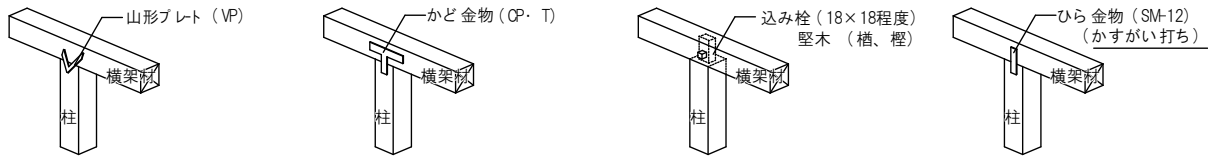
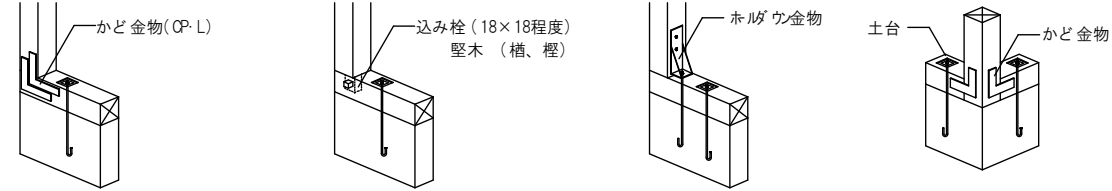
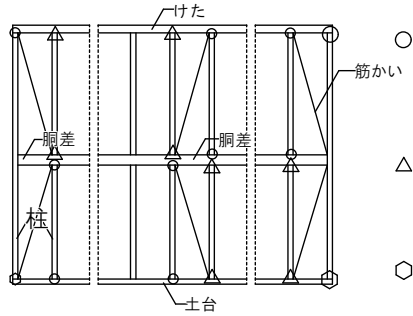
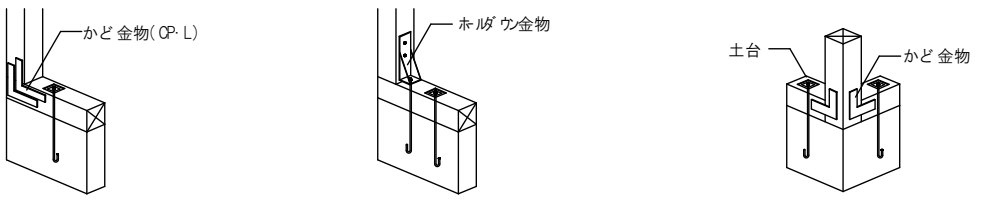
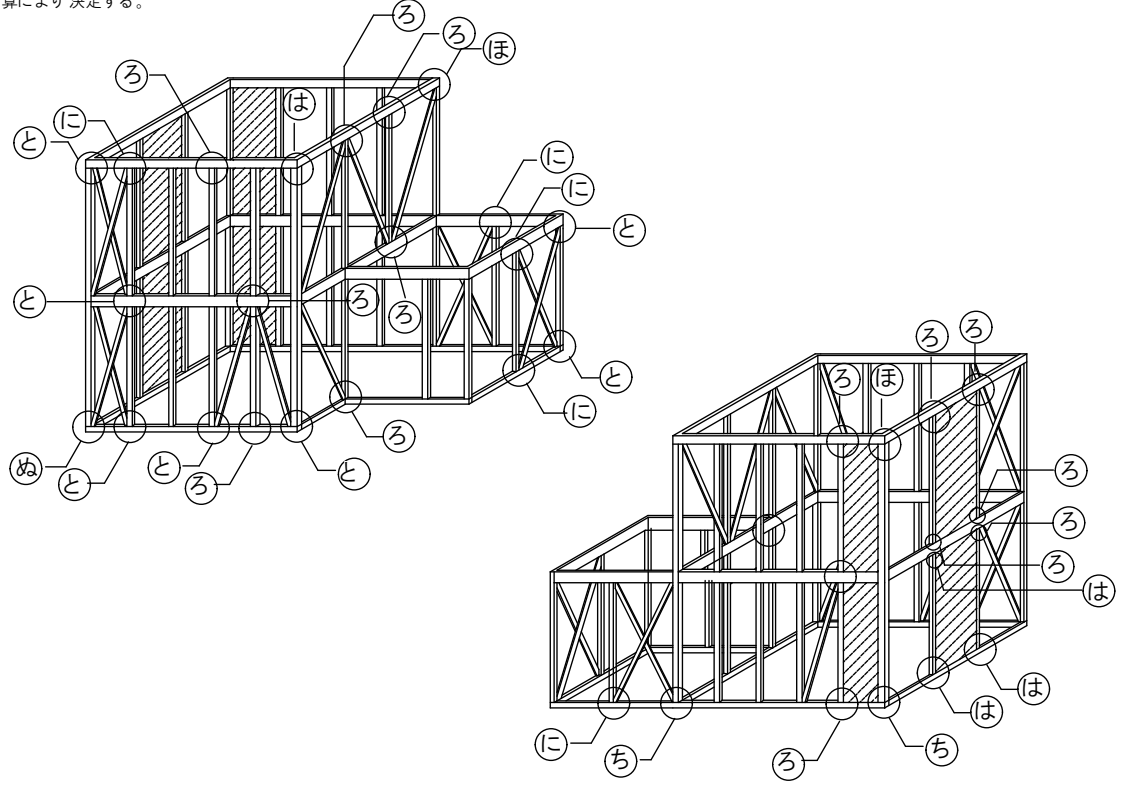


大壁造の面材耐力壁において、面材の四隅を切り欠いて山形プレートを柱と横架材に直接釘打ちする場合は下図のように近傍に釘の増し打ちをする。

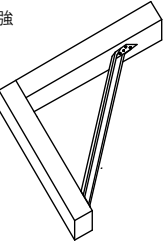
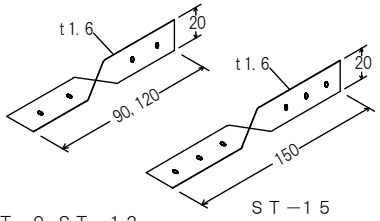
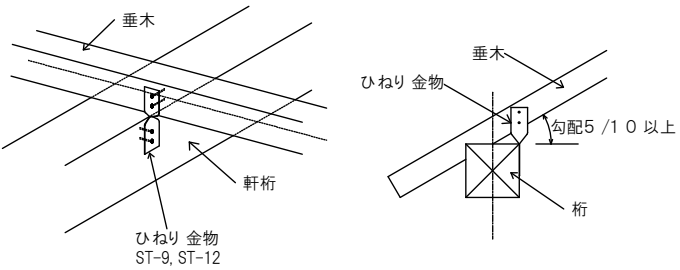
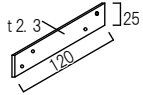
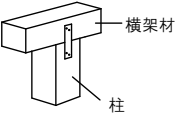
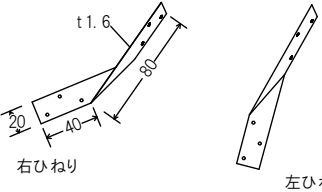
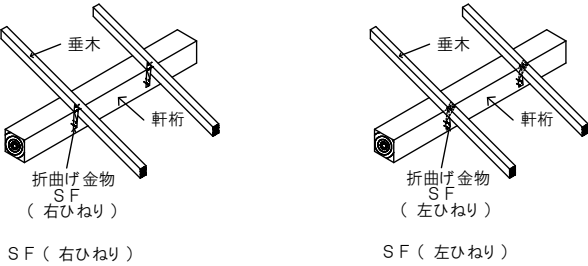
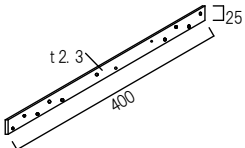
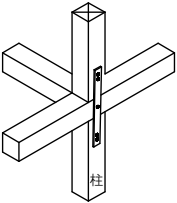
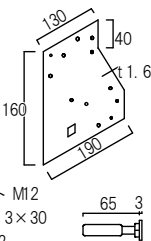
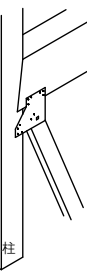
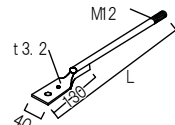
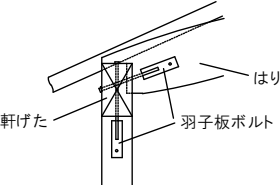
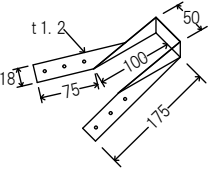
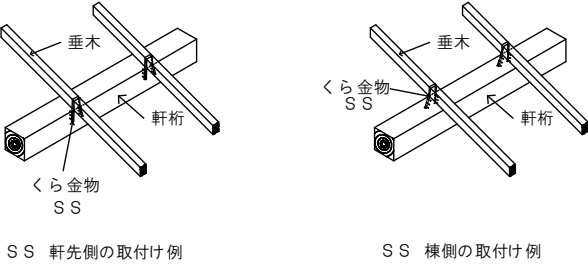
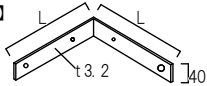
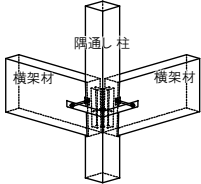
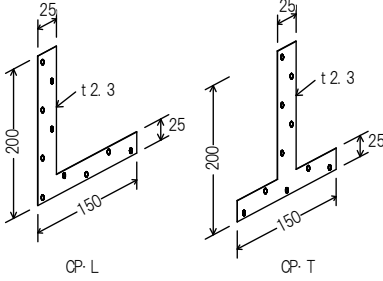
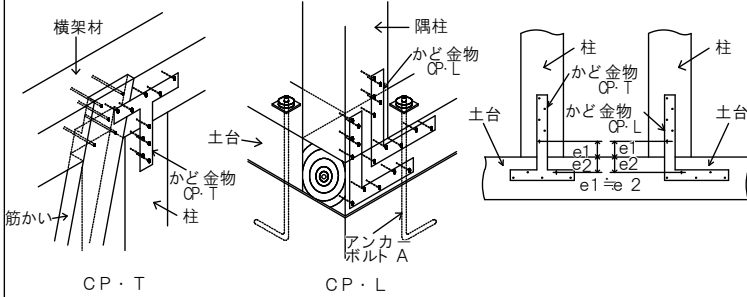


特 記 仕 様 書 （ 木 工 事 ） 軸 組 工 法			
部 位		部 位	
耐力壁	真壁造の面材耐力壁 1. 面材による耐力壁は、面材の種類により 釘の種類・間隔が異なるので、告示1897号に <u>適合している</u> ことを確認する。 2. 柱と 横架材の接合部は、特記なき限り 告示1460号による金物等により補強する。 3. <u>構造用面材のホルムアルデヒド`の発散量に関する品質については、特記による。</u> （ 受材タイプ） 1. 受材は30mmx 40mm以上とする。 2. 受材は、柱及び梁、桁、土台、その他の横架材にN75以上の釘を30c m以下の間隔で平打ちとする。 3. 構造用面材は、受け材並びに間柱及び胴つなぎ等に留めつける。 4. 構造用面材を受材以外で継ぐ場合は、間柱又は胴つなぎ等の断面は45mmx 65mm以上とする。 （ 貫タイプ） 1. 貫は15mmx 90mm以上とする。 2. 貫は5本以上設ける。 3. 最上段の貫とその直上の横架材との間隔及び最下段の貫とその直下の横架材との間隔は、おおむね30cm以下とし、 その他の貫の間隔は61cm以下とする。 4. 貫を柱に差し 通す場合は、両面からくさび締め又は釘打ちとする。 5. 貫の継手は、おおむね柱心で突付けとする。 6. 柱との仕口は、柱の径の1/2程度差し込みくさび締め又は釘打ちとする。 7. 構造用面材は、貫に確実に留めつける。 8. 構造用面材を継ぐ場合は、貫上で行なう。	（ 受材タイプ） （ 貫タイプ）       	接合金物 筋かい端部の接合 （告示 1460号1項） イ. 径9 mmの鉄筋 柱又は、横架材（柱や土台）貫通し、三角座金を介してナット 締め、 鋼板添え板を用い 柱又は横架材にJ I S 規定鉄丸釘C N 9 0 を8 本以上打ち付けたもの。 ロ. 1 . 5 cm×9 cmの木材の筋かい 柱及び横架材を 欠き込み、柱及び横架材の双方にJ I S 規定鉄丸釘N 6 5 を5 本以上 平打ちしたもの。 ハ. 3 cm×9 cmの木材の筋かい 厚さ1 . 6 mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径1 2 mm以上のボルト 及び 釘3 本平打ち、柱に対して釘3 本平打ち、横架材に対して釘4 本平打ちしたもの。 ニ 4 . 5 cm×9 cmの木材の筋かい 厚さ2 . 3 mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径1 2 mm以上のボルト 及び 長さ5 0 mm以上のスクリー-釘7 本平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ5 0 mm径4 5 mm以上の スクリー-釘5 本平打ちしたもの。 ホ. 9 cm×9 cmの木材の筋かい 柱又は横架材に、J I S 強度区分4 . 6 の径1 2 mmのボルト を用いて一面せん断接合とすること。

特記仕様書（木工事） 軸組工法

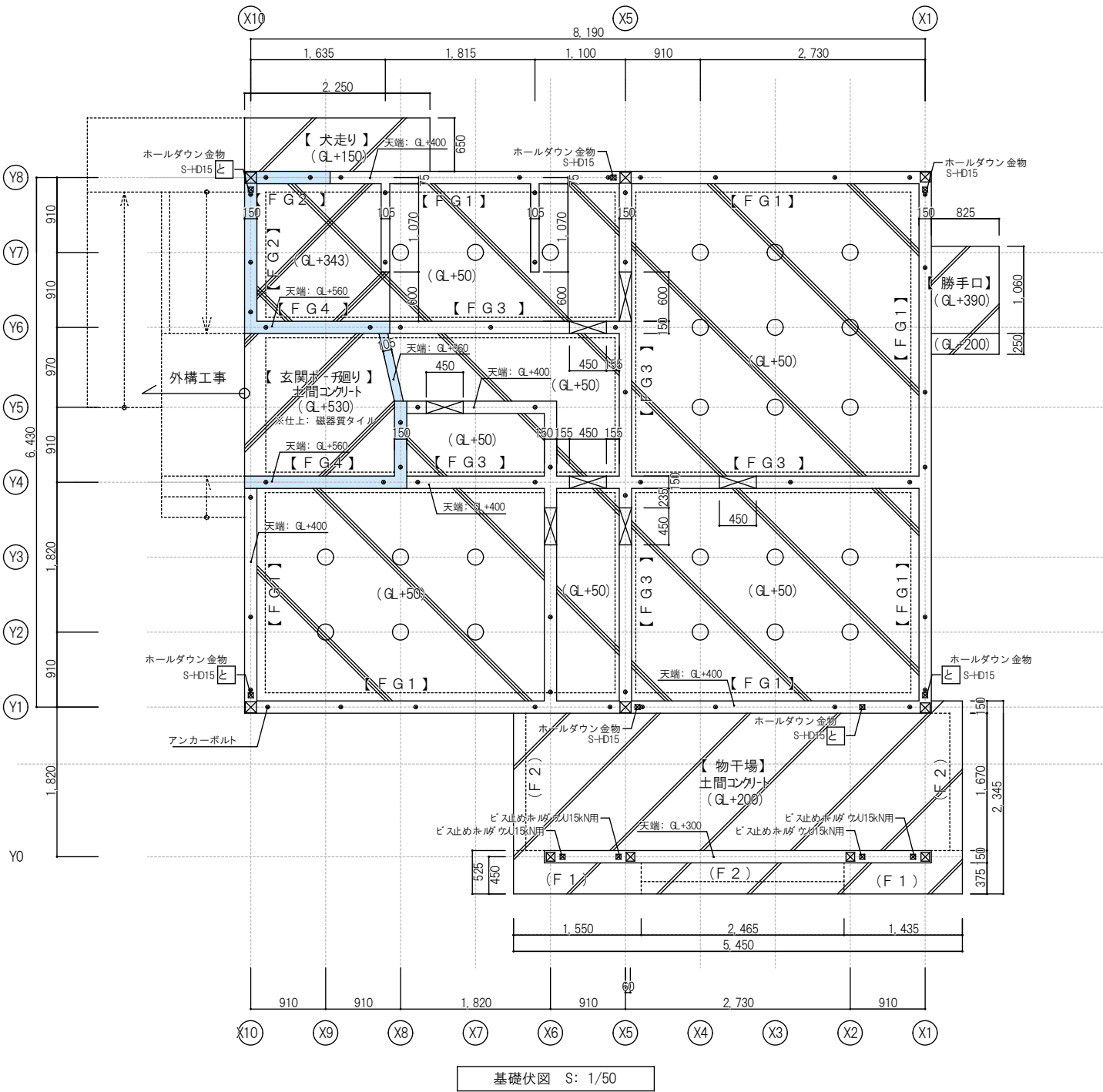
部 位		部 位	
接合金物	接合金物使用条件 接合金物の取付・施工は、平成12年建設省告示代1460号を順守し施工する。 接合金物は、Zマーク表示金物、又はZマーク表示金物同等認定品とする。 筋かい接合金物は、建設省告示1460号対応金物の内より筋かい寸法に合わせ、納まりを考慮し最良のものを使用する。	柱の両端部と 横架材の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱）	 イ．柱短ほぞをし、山形プレート（VP）当て釘打ち ロ．短柱ほぞ差しかど金物 当て釘打ち ハ．長ほぞ差し込みせん打ち ニ．短柱ほぞ差しひら金物 当て釘打ち  イ．柱短ほぞをし、山形プレート（VP）当て釘打ち ロ．短柱ほぞ差しかど金物 当て釘打ち ハ．長ほぞ差し込みせん打ち ニ．短柱ほぞ差しひら金物 当て釘打ち
柱と横架材	仕口の分類（筋かいが取り付かない柱の場合）  ○：筋かいの取り付かない柱と横架材の仕口位置 ○：筋かいの取り付かない隅柱と横架材の仕口位置 柱の端部と横架材の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱は除く）  イ．柱短ほぞをし、山形プレート（VP）当て釘打ち ロ．短柱ほぞ差しかど金物 当て釘打ち ハ．長ほぞ差し込みせん打ち ニ．短柱ほぞ差しひら金物 当て釘打ち 隅柱と土台の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱は除く）  イ．短ほぞ差しかど金物 2枚当て釘打ち ロ．長ほぞ差し込み せん釘打ち ハ．ホルダウ金物による緊結 ニ．落としありかど金物2枚 当て釘打ち 仕口の分類（筋かいが取り付く柱の場合）  ○：筋かいの上端部が取り付く柱と横架材の仕口位置 △：筋かいの下端部が取り付く柱と横架材の仕口位置 ○：筋かいの取り付く隅柱と土台の仕口位置 1 階管柱と2 階の柱の緊結 外周部の主要な隅角部の柱及び構造計算による引き抜き応力大きい2 階の柱は、1 階の管柱と接合金物（ホールドダウン金物）で緊結する。	隅柱と土台の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱）	 イ．短ほぞ差しかど金物 2枚当て釘打ち ロ．ホルダウ金物による緊結 ハ．落としありかど金物2枚 当て釘打ち
接合金物		柱頭・柱脚の仕口の接合（告示1460号2項） ■ 構造計算により決定する。	

(い)	短ほぞ差し かすがい打ち	(0.0k N)	(ろ)	長ほぞ差し 込み栓打ち かど金物CP・L (ZN65-5)	(3.4k N)	(は)	はしらどめリトルコーナー(TB65-6) 山形プレート 金物VP (ZN90-8)	(5.1k N)	(に)	羽子板ボルト (M12) スリムプレート (TB65D-4・TB100-4)	(7.5k N)
(ほ)	羽子板ボルト (M12+ZS50) 短ざく 金物 (M12+ZS50)	(8.5k N)	(へ)	ホールダウンコーナー (TB65-6・TB100-4)	(10.0k N)	(と)	ビス止めホールダウンU 金物 U15	(15.0k N)	(ち)	ビス止めホールダウンU 金物 U20	(20.0k N)
(り)	ビス止めホールダウンU 金物 U25	(25.0k N)	(ぬ)	ビス止めホールダウンU 金物 U35	(35.0k N)	筋かいプレート			タル木どめ金物		

特記仕様書（木工事）軸組工法							
部 位	接 合 金 物			部 位	接 合 金 物		
金 物	種類・記号	形状・寸法(単位mm) 使用接合具	用途・使い方	金 物	種類・記号	形状・寸法(単位mm) 使用接合具	用途・使い方
	火打金物 HB	【寸法・形状】 ◎使用接合具 平くぎZF55 小型角座金V2. 3×30 六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金V4. 5×40	◎用途 床組及び小屋組の隅角部の補強 		ひねり金物 ST (右ひねりのみ)	【寸法・形状】 ST-9, ST-12 ◎使用接合部 太めくぎ ZN40 	【用途】たるきと軒げた、または、もやとの接合 【使い方】 
	ひら金物 SM-12	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎ ZN65 	◎用途 かすがいと同様の用途 		折曲げ金物 SF (右ひねり及び左ひねり)	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ ZN40 	【用途】ひねり金物と同様の用途 【使い方】 
	ひら金物 SM-40	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎ ZN65 	◎用途 管柱の連結等 		筋かいプレート BP	【寸法・形状】 ◎使用接合具 角根平頭ボルト M12 小型角座金V2. 3×30 六角ナット M12 太めくぎ ZN65 	◎用途 筋かいを柱と横架材に同時に接合角根平頭ボルト M12 
	羽子板ボルト SB・E	【寸法・形状】 ◎使用接合具 六角ボルト M12 L=280・310・340 六角ナット M12 370・400・430 角座金V4. 5×40 スクリーク ZS50 	◎用途 小屋ばりと軒桁 軒桁と柱、胴差と通し柱の連結 		くら金物 SS	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ ZN40 	【用途】ひねり金物と同様の用途 【使い方】 
	かね折り金物 SA	【寸法・形状】 ◎使用接合具 L=210・240・270 六角ボルト M12 300・345 六角ナット M12 角座金V4. 5×40 スクリーク ZS50 	◎用途 通し柱と胴差の取合 		かど金物 CP・L CP・T	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ ZN65 	【用途】引張りをうける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 

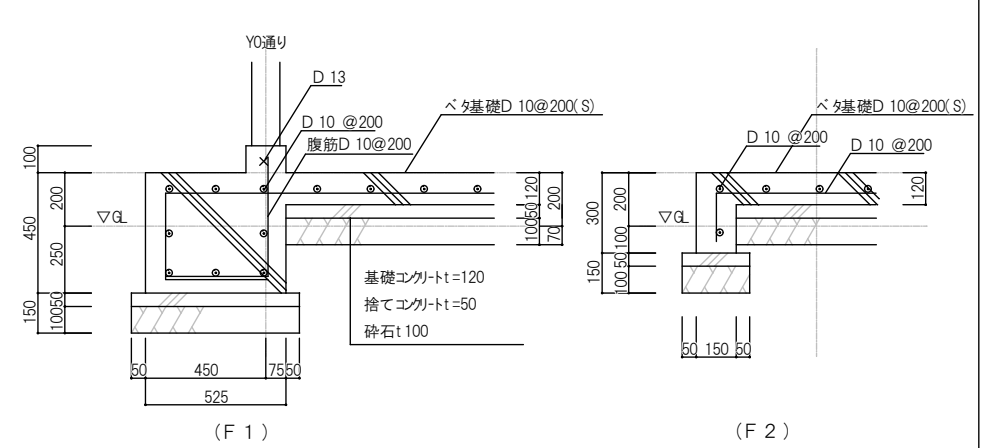
特 記 仕 様 書 （ 木 工 事 ） 軸 組 工 法									
部 位						部 位			
小屋梁	材 種	はり（丸太） ☐ べいまつ ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ その他（ ☐ ） はり（その他） ☐ 構造用集成材 ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ からまつ ☐ ☒ その他（すぎ）				小屋組	継手及び仕口の参考例		
	工 法	1， 末口150mm以上の丸太の継手は、受材上で台持継ぎとし、下木に太柄2本を 植え込み、 2， 六角ボルト（M12）2本締めとする。受け材当り は渡り あごとし、手違いかすがい打ちとする。 3， 末口150mm以下の丸太の継手は、受け材上でやりちがいとし、六角ボルト（M12）2本締めとする。 4， 受け材当り は渡り あごとし、手違いかすがい打ちとする。 5， 軒桁又は敷桁との仕口は、かぶと 蟻掛け又は渡り あごとし、羽子板ボルト 締めとする。					小屋ばりの継手 （台持継ぎ） （かぶとあり） （渡りあご）		
小屋束	材 種	☒ すぎ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ べいまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☐ ☐ その他（ひのき）				登り 梁	小屋ばりと軒げたとの仕口		
	工 法	上部・下部の仕口は、短柄差しとし、かすがい両面打ちとする。					（大入れあり 掛け） （注）羽子板ボルト については、施工性を 考えて、軒げたとはり、軒げたと柱 を一定間隔ごとに交互に緊結する。		
棟木・母屋	材 種	☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ からまつ ☐ ☒ すぎ ☐ ☐ その他（ひのき）				棟木・母屋	登り 梁とコチスクリューボルト の施工例		
	工 法	垂木当りの欠き込みを考慮して適切な断面寸法とし、継手は束の位置を避け、持ち出し 腰掛け鎌継ぎとする。					登り 梁 コチスクリューボルト 横架材		
桁行すじかい ・ 振れ止め	材 種	☒ すぎ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ べいまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☐ ☐ その他（ ☐ ）					【 登り 梁：105*180】コーチスクリューボルト M12*240mm留め 【 登り 梁：105*150】コーチスクリューボルト M12*210mm留めとする		
	工 法	束に添えつけ、N50釘2本打ちとする。 振れ止めの断面寸法は貫程度とする。					むな木 桁行筋違い N 50釘2 本を平打ち 小屋づか 振れ止め 小屋はり 小屋はり		
登り 梁	材 種	☐ ひのき ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ ☒ すぎ ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ からまつ ☐ ☐ その他（ ☐ ）					振れ止めの断面寸法は30×90程度とする。		
	工 法	1， 継手は乱に配置し、母屋上端でそぎ継ぎとし、ボルト 打ちとする。							

	木造特記仕様書-8	SCALE	-	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE	B - 08
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区			株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所	CHECKED BY	DRAWN BY	

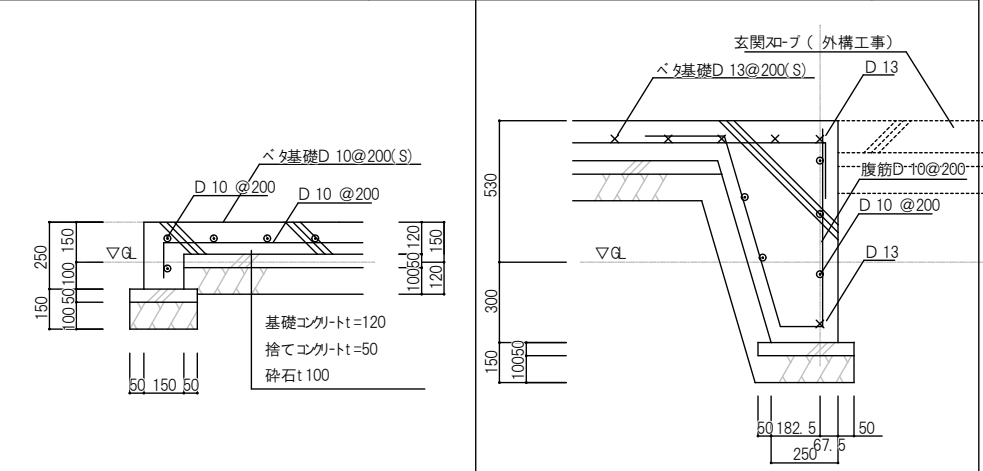


基礎伏図 凡例		特記事項	
	本体 ベタ基礎 厚さ 150 ベタスラ配筋 D13@200 シングルクロス	1. 捨コンクリート	Fc=18N/mm ² SL=15cm以下
	付帯 ベタ基礎 厚さ 120 ベタスラ配筋 D10@200 シングルクロス	2. 基礎コンクリート	Fc=21N/mm ² SL=18cm以下
	浴室部分 ベタ基礎 厚さ150の上 ベタ基礎嵩上げ 厚さ100 溶接金網 100*100*φ6	3. 土間コンクリート	Fc=21N/mm ² SL=15cm以下
	フーチング	4. 鉄筋	SD295A D10~D13
	鋼製床束 記載なき床束@900以内	5. アカボルト	M12 L=450(亜鉛めっき品), スクリューワザ使用 図示なき場合: 筋違下部, 土台継手より120寄り, ボルト間@900以下
	高基礎範囲を示す FG2 参照		
	アンカーボルト M12 L=400	6. 基礎パッキン	キバックス W=120 一部気密パッキン(玄関・浴室廻り)
	ホールダウン金物	7. 防湿	内部ベタ基礎全域 ポリエチレンフィルム t0.15 敷き込み
		8. 防蟻処理	土壌/木部床組薬剤処理 GL+1.0m迄

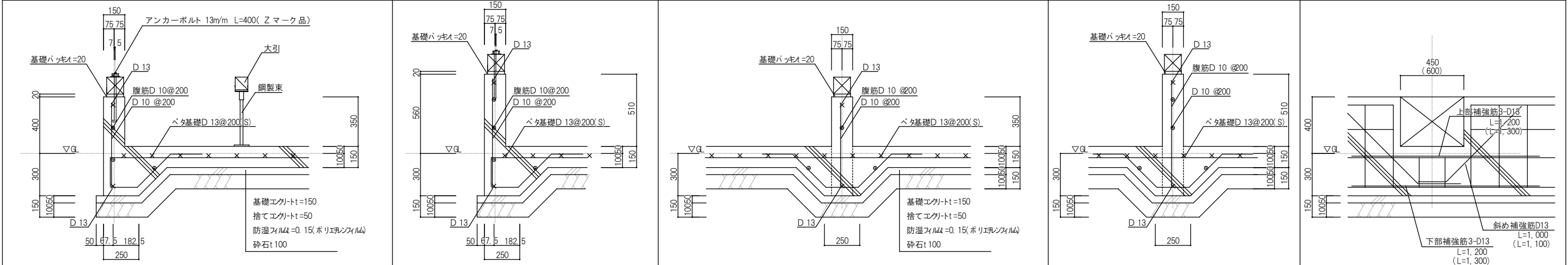
【物干場】断面詳細 S=1/20

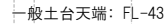


【犬走り】【勝手口】 S=1/20 【玄関ポーチ廻り】断面詳細 S=1/20



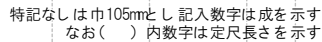
【FG1】 S=1/20 【FG2】 S=1/20 【FG3】 S=1/20 【FG4】 S=1/20 人通口 断面詳細 S=1/20





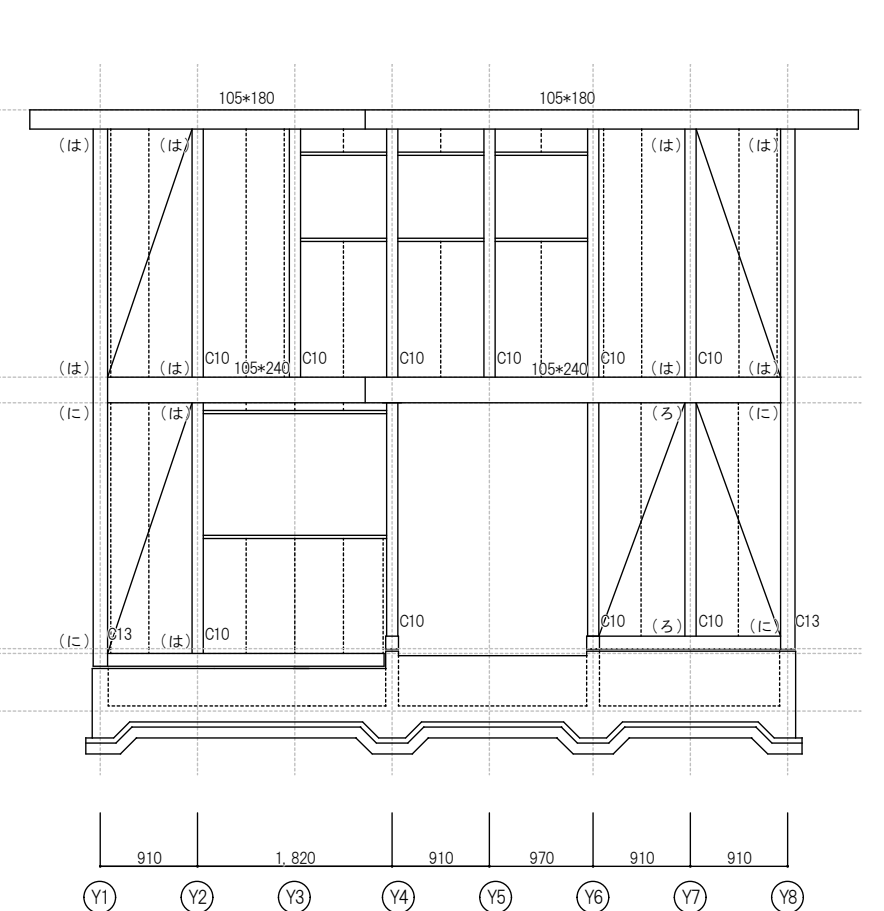
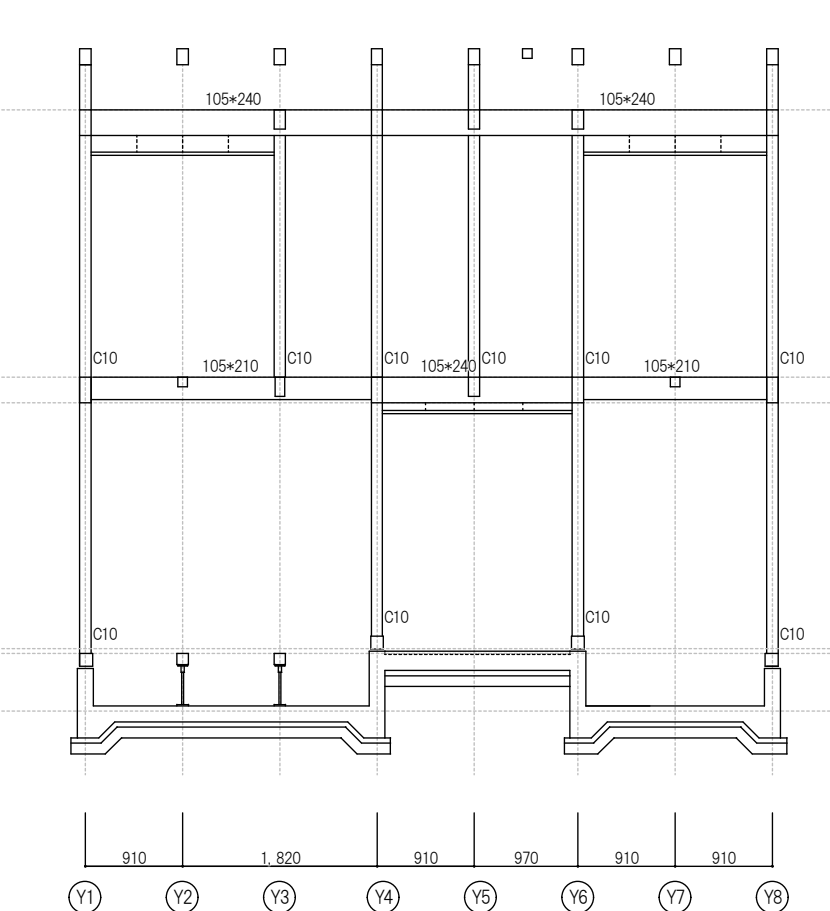
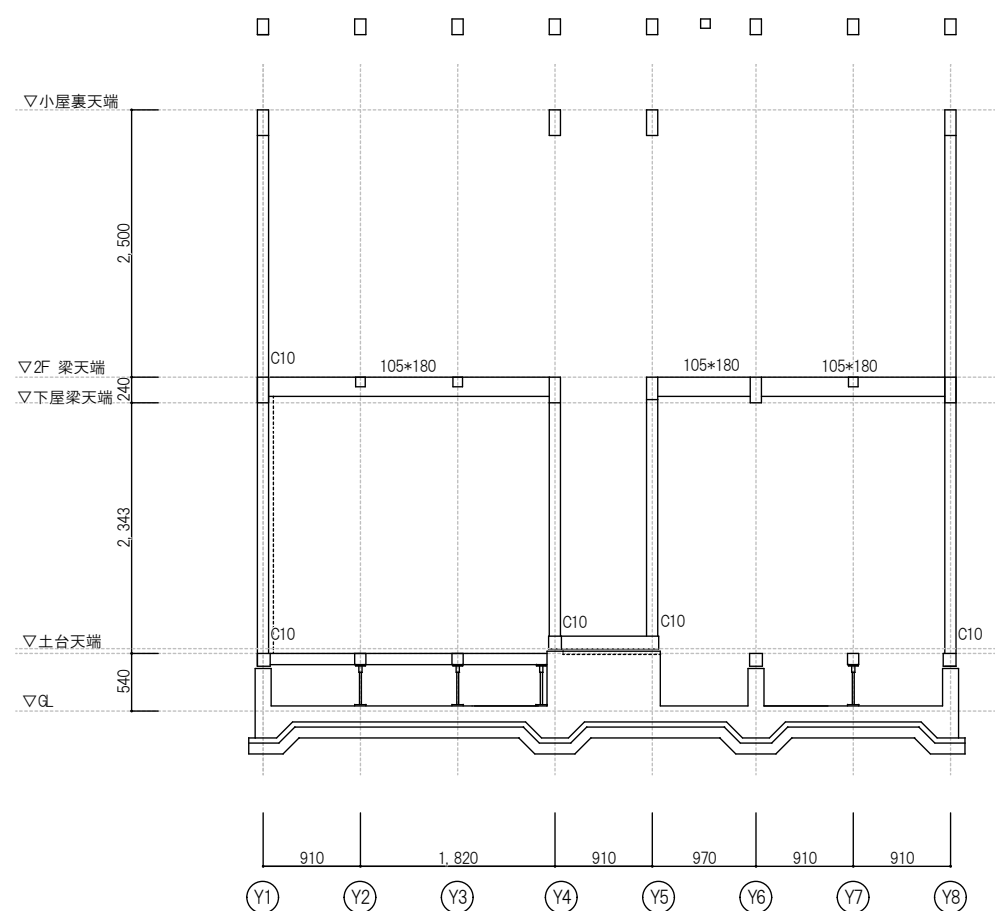
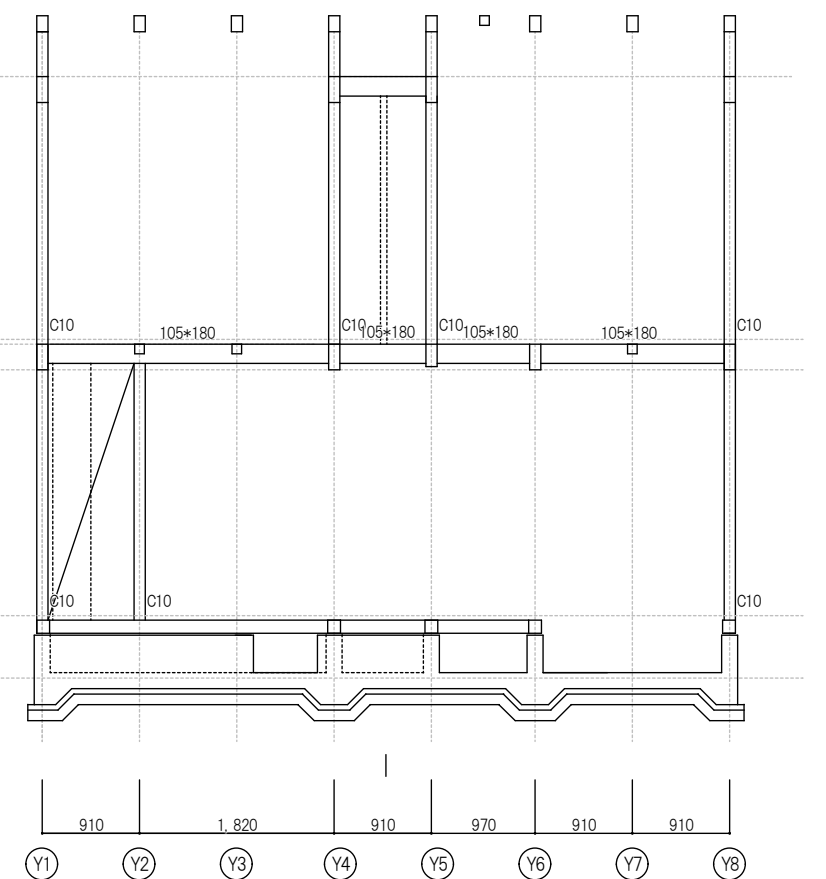
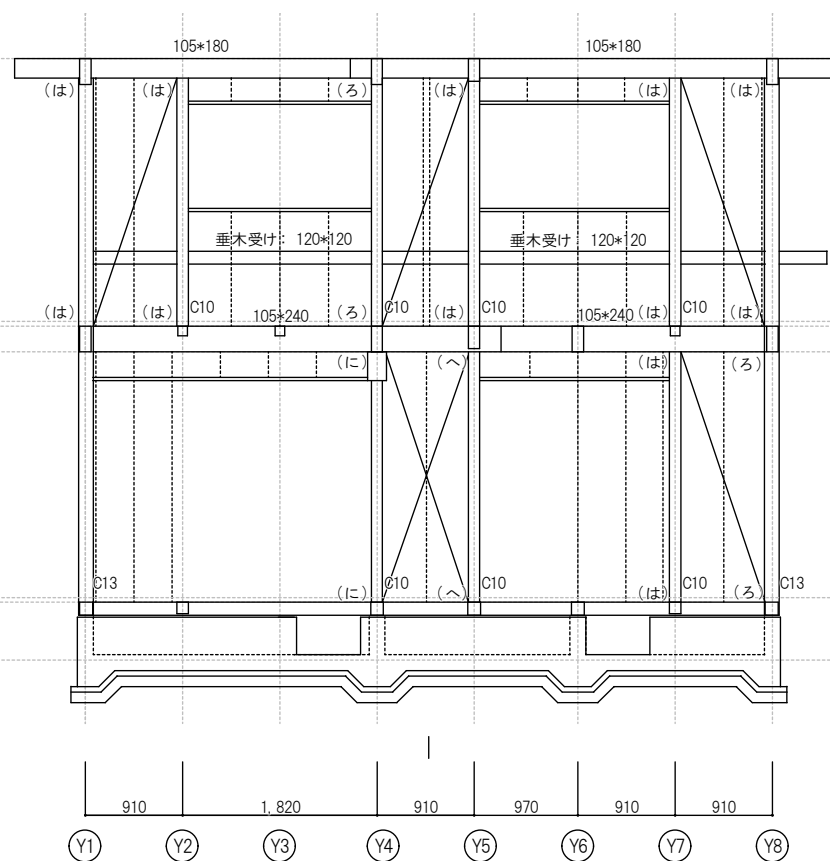
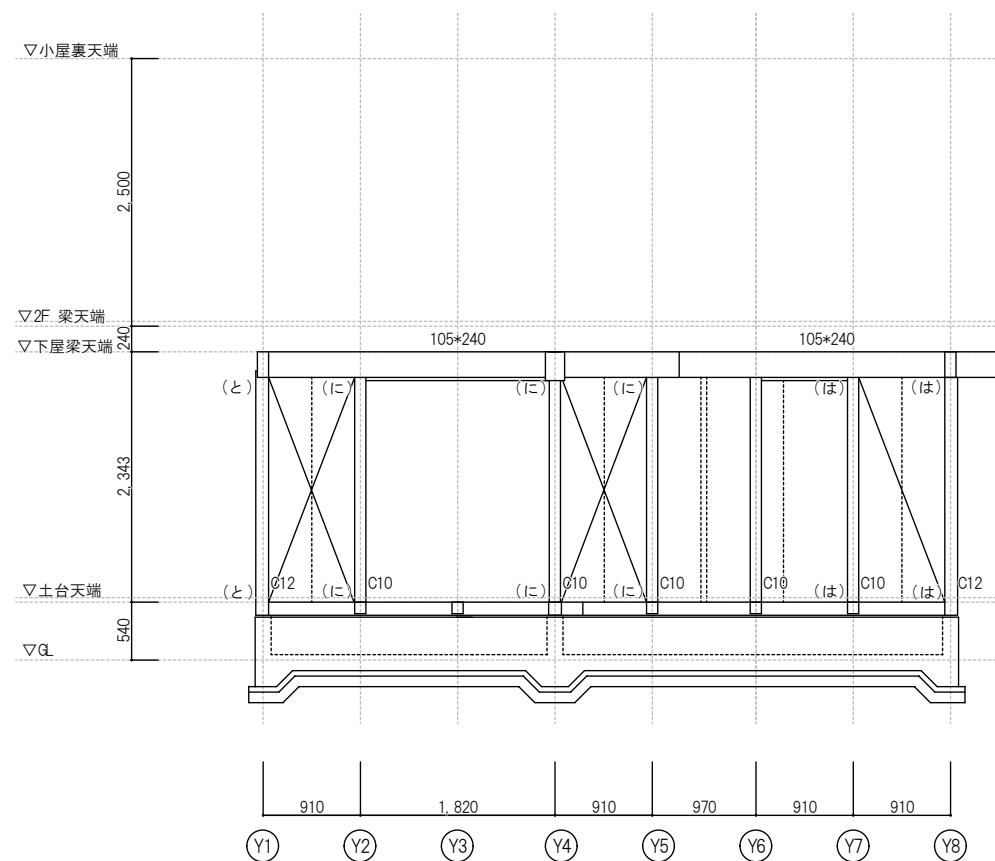
特記なしは巾105mmとし記入数字は成を示す
なお()内数字は定尺長さを示す

SHEET NO.



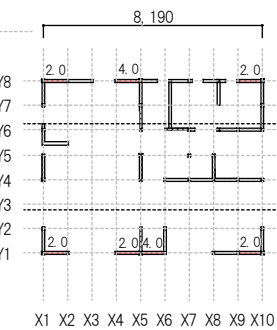
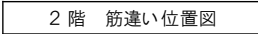
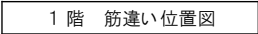
特記なしは巾105mmとし記入数字は成を示す
なお()内数字は定尺長さを示す

「黒潮町産材」使用について	
構造材及び下地材は原則黒潮町有林より生産された木材を使用することとし、原木が黒潮町産材であることを明確に証する資料（産地証明等）を提示すること。 ただし、5m以上の長尺構造材（通し柱、登り梁）及び内部造作材は例外とする。	
柱脚・柱頭の仕口の仕様	
※ ☐ ～ ☒ は、建築基準法 告示第1460号による	
登り梁の接合方法は、特記なき場合	
☑ 登り梁：105×180 コーテスクリューボルト M12×240mm 留め	
☑ 登り梁：105×150 コーテスクリューボルト M12×210mm 留めとする	

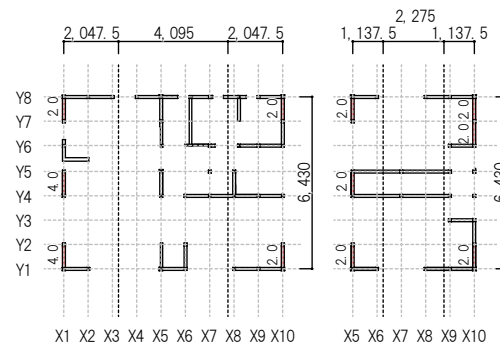


左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)	軸組図-1	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE	B-12
注) 姿図は右玄関PLANにて作成	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 B工区	株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.	
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			



【 2階 X方 向 】



【 2階 Y方 向 】

必要壁量の計算	階数	地震力に対する必要壁量（ｃｍ）		風圧力に対する必要壁量（ｃｍ）		必要壁量（ｃｍ）			X方 向		Y方 向										
		X方向（はり間）、Y方向（けた行）		X方向（けた行方向）		Y方向（はり間方向）			X方 向	Y方 向	側端部分（上）		側端部分（下）		側端部分（左）		側端部分（右）				
	1階部分	床面積 50.95×29×1.25＝1846.93・・・①		見付面積 38.21×50＝1910.50・・・②		見付面積 27.16×50＝1358.00・・・③		①、②より 大きい値採用 1910.50c m	①、③より 大きい値採用 1846.93c m	存在壁量 （ｃｍ）	1F	91×4.0×1+ 91×2.0×2＝728		91×4.0×1+ 91×2.0×3＝546		91×4.0×2+ 91×2.0×1＝910		91×2.0×3＝546			
									2F		91×2.0×3＝546		91×2.0×2＝364		91×2.0×3＝546		91×2.0×2＝364				
2階部分	床面積 28.42×15×1.25＝532.875・・・①		見付面積 17.79×50＝889.50・・・②		見付面積 8.83×50＝441.50・・・③		①、②より 大きい値採用 889.50c m	①、③より 大きい値採用 532.875c m	床面積 （㎡）	1F	8.19×1.6075＝13.165425		8.19×1.6075＝13.165425		6.43×2.0475＝13.165425		6.43×2.0475＝13.165425				
										2F	4.55×1.6075＝7.314125		4.55×1.6075＝7.314125		6.43×1.1375＝7.314125		6.43×1.1375＝7.314125				
設計壁量の計算	階数	耐力壁の種類	倍率	有効壁量（ｃｍ）		判定															
				X方向（はり間）		Y方向（けた行）														X方 向	Y方 向
	1階部分	筋交い 45×90(たすき掛け)		4.0	91×3×4.0＝1092		91×3×4.0＝1092		2002c m > 1910.50c m ∴安全	2184c m > 1846.93c m ∴安全	必要壁量 （ｃｍ）	1F	13.17(床面積)×29＝381.93		13.17(床面積)×29＝381.93		13.17(床面積)×15＝197.55		13.17(床面積)×29＝381.93		
		筋交い 45×90(片方)		2.0	91×5×2.0＝910		91×6×2.0＝1092					2F	7.32(床面積)×15＝109.8		7.32(床面積)×15＝109.8		7.32(床面積)×15＝109.8		7.32(床面積)×15＝109.8		
		合 計			2002		2184					壁量 充足率	1F	546/381.93＝1.429		546/381.93＝1.429		910/197.55＝4.606		546/381.93＝1.429	
													2F	546/109.8＝4.972		364/109.8＝3.315		546/109.8＝4.972		364/109.8＝3.315	
	2階部分	筋交い 45×90(たすき掛け)		4.0	91×3×4.0＝1092		91×3×4.0＝1092		910c m > 889.50c m ∴安全	910c m > 532.875c m ∴安全	壁率比	両方共に1を超えているのでOK		両方共に1を超えているのでOK		両方共に1を超えているのでOK		両方共に1を超えているのでOK			
筋交い 45×90(片方)		2.0	91×5×2.0＝910		91×5×2.0＝910																
合 計					910		910														
耐震等級2（1.25倍）適用								壁量算定表		SCALE -		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号				DATE - -		DATE - -		B - 14	
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)								SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 B工区				株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所				CHECKED BY		DRAWN BY		SHEET NO.	
注）図は右玄関PLANにて作成												SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史									



【 宅内 】 工 事 仕 上 凡 例		
①	単粒度砕石t=60 S-13(6号砕石) 程度	85. 5㎡
②	駐車スペース コンクリート金銀押えt=120	84. 1㎡
③	アプローチ コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	8. 2㎡
④	スロープ・手摺φ32 コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	
⑤	階段 コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	
⑥	玄関ポーチ 磁器質タイル50角、モザイク下地	

【 付 帯 】 工 事 仕 上 凡 例		
a	アスファルト 舗装t=50 A-5-15	239㎡
b	ラック引き 溶融式区画線M150	36. 0m
c	落蓋式U字形側溝 1種300A	60. 0m
d	側溝蓋 方形ト蓋 1種300A W=500	111組
e	側溝蓋 鋼製クレーン車道用ゴム付(騒音防止)	6組
f	マンホーフス H=1, 000 コンクリート独立基礎(市販品)	74. 0m
g	マンホーフス H=900 I 型建築(現場施工) W=150	61. 2m

特 記 事 項	
	住宅本体工事範囲を示す。
	本工事範囲外を示す。
	本工事範囲外を示す。

